

◎経済上の連携に関する日本国とブルネイ・ダルサラーム国との間の協定

(略称) ブルネイとの経済連携協定

平成十九年六月十八日	東京で署名
平成二十年五月十六日	国会承認
平成二十年七月一日	効力発生のための通告の閣議決定
平成二十年七月一日	東京で効力発生のための通告の外交上の公文の交換
平成二十年七月四日	公布及び告示 (条約第六号及び外務省告示第三九〇号)
平成二十年七月三十一日	効力発生

目次	ページ
前文	一五七
第一章 総則	一五八
第一条 目的	一五八
第二条 一般的定義	一五八
第三条 透明性	一五九
第四条 行政上の措置に関連する手続	一六〇
第五条 審査及び上訴	一六一
第六条 秘密の情報	一六二

第 七 条 租税……………	一六二
第 八 条 一般的例外及び安全保障のための例外……………	一六二
第 九 条 他の協定との関係……………	一六三
第 十 条 実施取極……………	一六四
第 十一 条 合同委員会……………	一六四
第 十二 条 両締約国間の連絡……………	一六四
第二章 物品の貿易……………	一六五
第 十三 条 定義……………	一六五
第 十四 条 物品の分類……………	一六六
第 十五 条 内国民待遇……………	一六六
第 十六 条 関税の撤廃……………	一六六
第 十七 条 関税上の評価……………	一六七
第 十八 条 輸出税……………	一六七
第 十九 条 輸出補助金……………	一六七
第 二十 条 非関税措置……………	一六八
第 二十一 条 二国間セーフガード措置……………	一六八
第 二十二 条 国際収支の擁護のための制限……………	一七三
第三章 原産地規則……………	一七三
第 二十三 条 定義……………	一七三
第 二十四 条 原産品……………	一七六
第 二十五 条 累積……………	一七九
第 二十六 条 僅少の非原産材料……………	一八〇

第二十七条	原産資格を与えることとならない作業	一八〇
第二十八条	積送基準	一八〇
第二十九条	展示会	一八一
第三十条	組み立ててないか又は分解してある産品	一八一
第三十一条	代替性のある産品及び材料	一八二
第三十二条	間接材料	一八二
第三十三条	附属品、予備部品及び工具	一八二
第三十四条	小売用の包装材料及び包装容器	一八三
第三十五条	船積み用のこん包材料及びこん包容器	一八三
第三十六条	関税上の特惠待遇の要求	一八四
第三十七条	原産地証明書	一八五
第三十八条	事前教示	一八六
第三十九条	輸出に関する義務	一八七
第四十条	原産地証明書に基づく確認の要請	一八七
第四十一条	原産品であるか否かについての確認のための訪問	一八八
第四十二条	原産品であるか否かについての決定及び関税上の特惠待遇に係る決定	一九〇
第四十三条	秘密性	一九一
第四十四条	虚偽申告に対する罰則及び措置	一九一
第四十五条	運用上の手続規則	一九二
第四十六条	雑則	一九二
第四十七条	原産地規則に関する小委員会	一九二
第四章	税関手続	一九三

第四十八条	適用範囲及び目的	一九三
第四十九条	定義	一九四
第五十条	透明性	一九四
第五十一条	通関	一九四
第五十二条	通過物品	一九五
第五十三条	協力及び情報の交換	一九五
第五十四条	税関手続に関する小委員会	一九五
第五章	投資	一九六
第五十五条	適用範囲	一九六
第五十六条	定義	一九七
第五十七条	内国民待遇	二〇〇
第五十八条	最恵国待遇	二〇〇
第五十九条	待遇に関する最低基準	二〇〇
第六十条	裁判所の裁判を受ける権利	二〇〇
第六十一条	特定措置の履行要求の禁止	二〇一
第六十二条	留保及び例外	二〇一
第六十三条	収用及び補償	二〇四
第六十四条	争乱からの保護	二〇五
第六十五条	資金の移転	二〇五
第六十六条	代位	二〇六
第六十七条	一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決	二〇七
第六十八条	一時的なセーフガード措置	二一一

第六十九条	信用秩序の維持のための措置	二二二
第七十条	利益の否認	二二二
第七十一条	環境に関する措置	二二三
第七十二条	投資に関する小委員会	二二三
第六章	サービスの貿易	二二四
第七十三条	適用範囲	二二四
第七十四条	定義	二二五
第七十五条	市場アクセス	二二〇
第七十六条	内国民待遇	二二一
第七十七条	追加的な約束	二二二
第七十八条	特定の約束に係る表	二二二
第七十九条	最恵国待遇	二二二
第八十条	資格、技術上の基準及び免許	二二三
第八十一条	相互承認	二二三
第八十二条	透明性	二二四
第八十三条	独占及び排他的なサービス提供者	二二五
第八十四条	支払及び資金の移転	二二五
第八十五条	国際収支の擁護のための制限	二二六
第八十六条	利益の否認	二二七
第八十七条	サービスの貿易に関する小委員会	二二七
第八十八条	約束の見直し	二二八
第七章	エネルギー	二二八

第八十九条	基本原則	二二八
第九十条	定義	二二八
第九十一条	輸入及び輸出の制限	二二九
第九十二条	エネルギー規制措置	二二九
第九十三条	環境上の側面	二三〇
第九十四条	協力	二三一
第九十五条	エネルギーに関する小委員会	二三一
第八章	ビジネス環境の整備	二三二
第九十六条	基本原則	二三二
第九十七条	知的財産	二三二
第九十八条	政府調達	二三三
第九十九条	ビジネス環境の整備に関する小委員会	二三三
第一百条	第十章の規定の不適用	二三四
第九章	協力	二三五
第一百一条	基本原則	二三五
第一百二条	協力の分野	二三五
第一百三条	協力の範囲及び形態	二三六
第一百四条	協力の費用	二三六
第一百五条	協力に関する小委員会	二三六
第一百六条	次章の規定の不適用	二三七
第十章	紛争解決	二三七
第一百七条	適用範囲	二三七

第 百 八 条	協議……………	二三八
第 百 九 条	あつせん、調停又は仲介……………	二三八
第 百 十 条	仲裁裁判所の設置……………	二三九
第 百 十 一 条	仲裁裁判所の任務……………	二四〇
第 百 十 二 条	仲裁裁判手続……………	二四一
第 百 十 三 条	仲裁裁判手続の停止及び終了……………	二四二
第 百 十 四 条	裁定の実施……………	二四三
第 百 十 五 条	期間の変更……………	二四五
第 百 十 六 条	費用……………	二四五
第十一章 最終規定……………		二四五
第 百 十 七 条	目次及び見出し……………	二四五
第 百 十 八 条	附属書及び注釈……………	二四五
第 百 十 九 条	一般的な見直し……………	二四五
第 百 二 十 条	改正……………	二四五
第 百 二 十 一 条	効力発生……………	二四六
第 百 二 十 二 条	終了……………	二四六
末 文……………		二四六
附属書一(第二章関係)	第十六条に関する表……………	二四七
附属書二(第三章関係)	品目別規則……………	六六六
附属書三(第三章関係)	原産地証明書の必要的記載事項……………	六八六
附属書四(第五章関係)	現行の措置に関する留保……………	六八七
附属書五(第五章関係)	将来の措置に関する留保……………	六九〇

附属書六（第六章関係） 金融サービス	六九二
附属書七（第六章関係） 第七十八条に関する特定の約束に係る表	六九七
附属書八（第六章関係） 第七十九条に関する最恵国待遇の免除に係る表	七八七
○経済上の連携に関する日本国とブルネイ・ダルサラーム国との間の協定第十条に基づく日本国政府とブルネイ・ダルサラーム国政府との間の実施取極	七九一

目次

経済上の連携に関する日本国とブルネイ・ダルサラーム国との間の協定

目次

前文

第一章 総則

第一条 目的

第二条 一般的定義

第三条 透明性

第四条 行政上の措置に関連する手続

第五条 審査及び上訴

第六条 秘密の情報

第七条 租税

第八条 一般的例外及び安全保障のための例外

第九条 他の協定との関係

第十条 実施取極

第十一条 合同委員会

第十二条 両締約国間の連絡

第二章 物品の貿易

第十三条 定義

第十四条 物品の分類

第十五条 内国民待遇

第十六条 関税の撤廃

第十七条 関税上の評価

第十八条 輸出税

第十九条 輸出補助金

第二十条 非関税措置

第二十一条 二国間セーフガード措置

ブルネイとの経済連携協定

AGREEMENT BETWEEN
JAPAN AND BRUNEI DARUSSALAM
FOR AN ECONOMIC PARTNERSHIP

Table of Contents

Preamble

Chapter 1

Article 1

Article 2

Article 3

Article 4

Article 5

Article 6

Article 7

Article 8

Article 9

Article 10

Article 11

Article 12

Chapter 2

Article 13

Article 14

Article 15

Article 16

Article 17

Article 18

Article 19

Article 20

Article 21

General Provisions

Objectives

General Definitions

Transparency

Administrative Procedures

Review and Appeal

Confidential Information

Taxation

General and Security Exceptions

Relation to Other Agreements

Implementing Agreement

Joint Committee

Communications

Trade in Goods

Definitions

Classification of Goods

National Treatment

Elimination of Customs Duties

Customs Valuation

Export Duties

Export Subsidies

Non-tariff Measures

Bilateral Safeguard Measures

ブルネイとの経済連携協定

第二十二条 国際収支の擁護のための制限

第三章 原産地規則

第二十三条 定義

第二十四条 原産品

第二十五条 累積

第二十六条 僅少の非原産材料

第二十七条 原産資格を与えることとならない作業

第二十八条 積送基準

第二十九条 展示会

第三十条 組み立ててないか又は分解してある産品

第三十一条 代替性のある産品及び材料

第三十二条 間接材料

第三十三条 附属品、予備部品及び工具

第三十四条 小売用の包装材料及び包装容器

第三十五条 船積み用のこん包材料及びこん包容器

第三十六条 関税上の特惠待遇の要求

第三十七条 原産地証明書

第三十八条 事前教示

第三十九条 輸出に関する義務

第四十条 原産地証明書に基づく確認の要請

第四十一条 原産品であるか否かについての確認のための訪問

第四十二条 原産品であるか否かについての決定及び関税上の特惠待遇に係る決定

第四十三条 秘密性

第四十四条 虚偽申告に対する罰則及び措置

Article 22	Restrictions to Safeguard the Balance of Payments
Chapter 3	Rules of Origin
Article 23	Definitions
Article 24	Originating Goods
Article 25	Accumulation
Article 26	De Minimis
Article 27	Non-qualifying Operations
Article 28	Consignment Criteria
Article 29	Exhibitions
Article 30	Unassembled or Disassembled Goods
Article 31	Fungible Goods and Materials
Article 32	Indirect Materials
Article 33	Accessories, Spare Parts and Tools
Article 34	Packaging Materials and Containers for Retail Sale
Article 35	Packing Materials and Containers for Shipment
Article 36	Claim for Preferential Tariff Treatment
Article 37	Certificate of Origin
Article 38	Advance Rulings
Article 39	Obligations regarding Exportations
Article 40	Request for Checking of Certificate of Origin
Article 41	Verification Visit
Article 42	Determination of Origin and Preferential Tariff Treatment
Article 43	Confidentiality
Article 44	Penalties and Measures against False Declaration

第四十五条	運用上の手続規則
第四十六条	雑則
第四十七条	原産地規則に関する小委員会
第四章	税関手続
第四十八条	適用範囲及び目的
第四十九条	定義
第五十条	透明性
第五十一条	通関
第五十二条	通過物品
第五十三条	協力及び情報の交換
第五十四条	税関手続に関する小委員会
第五章	投資
第五十五条	適用範囲
第五十六条	定義
第五十七条	内国民待遇
第五十八条	最恵国待遇
第五十九条	待遇に関する最低基準
第六十条	裁判所の裁判を受ける権利
第六十一条	特定措置の履行要求の禁止
第六十二条	留保及び例外
第六十三条	収用及び補償
第六十四条	争乱からの保護
第六十五条	資金の移転
第六十六条	代位
第六十七条	一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決
第六十八条	一時的なセーフガード措置

ブルネイとの経済連携協定

Article 45	Operational Procedures
Article 46	Miscellaneous
Article 47	Sub-Committee on Rules of Origin
Chapter 4	Customs Procedures
Article 48	Scope and Objectives
Article 49	Definition
Article 50	Transparency
Article 51	Customs Clearance
Article 52	Goods in Transit
Article 53	Cooperation and Exchange of Information
Article 54	Sub-Committee on Customs Procedures
Chapter 5	Investment
Article 55	Scope
Article 56	Definitions
Article 57	National Treatment
Article 58	Most-Favoured-Nation Treatment
Article 59	Minimum Standard of Treatment
Article 60	Access to the Courts of Justice
Article 61	Prohibition of Performance Requirements
Article 62	Reservations and Exceptions
Article 63	Expropriation and Compensation
Article 64	Protection from Strife
Article 65	Transfers
Article 66	Subrogation
Article 67	Settlement of Investment Disputes between a Party and an Investor of the Other Party
Article 68	Temporary Safeguard Measures

ブルネイとの経済連携協定

第六十九条	信用秩序の維持のための措置
第七十条	利益の否認
第七十一条	環境に関する措置
第七十二条	投資に関する小委員会
第六章	サービスの貿易
第七十三条	適用範囲
第七十四条	定義
第七十五条	市場アクセス
第七十六条	内国民待遇
第七十七条	追加的な約束
第七十八条	特定の約束に係る表
第七十九条	最恵国待遇
第八十条	資格、技術上の基準及び免許
第八十一条	相互承認
第八十二条	透明性
第八十三条	独占及び排他的なサービス提供者
第八十四条	支払及び資金の移転
第八十五条	国際収支の擁護のための制限
第八十六条	利益の否認
第八十七条	サービスの貿易に関する小委員会
第八十八条	約束の見直し
第七章	エネルギー
第八十九条	基本原則
第九十条	定義
第九十一条	輸入及び輸出の制限

目次

Article 69	Prudential Measures
Article 70	Denial of Benefits
Article 71	Environmental Measures
Article 72	Sub-Committee on Investment
Chapter 6	Trade in Services
Article 73	Scope
Article 74	Definitions
Article 75	Market Access
Article 76	National Treatment
Article 77	Additional Commitments
Article 78	Schedule of Specific Commitments
Article 79	Most-Favoured-Nation Treatment
Article 80	Qualifications, Technical Standards and Licensing
Article 81	Mutual Recognition
Article 82	Transparency
Article 83	Monopolies and Exclusive Service Suppliers
Article 84	Payments and Transfers
Article 85	Restrictions to Safeguard the Balance of Payments
Article 86	Denial of Benefits
Article 87	Sub-Committee on Trade in Services
Article 88	Review of Commitments
Chapter 7	Energy
Article 89	Basic Principle
Article 90	Definitions
Article 91	Import and Export Restrictions

第九十二条	エネルギー規制措置
第九十三条	環境上の側面
第九十四条	協力
第九十五条	エネルギーに関する小委員会
第八章	ビジネス環境の整備
第九十六条	基本原則
第九十七条	知的財産
第九十八条	政府調達
第九十九条	ビジネス環境の整備に関する小委員会
第一百条	第十章の規定の不適用
第九章	協力
第一百一条	基本原則
第一百二条	協力の分野
第一百三条	協力の範囲及び形態
第一百四条	協力の費用
第一百五条	協力に関する小委員会
第一百六条	次章の規定の不適用
第十章	紛争解決
第一百七条	適用範囲
第一百八条	協議
第一百九条	あつせん、調停又は仲介
第一百十条	仲裁裁判所の設置
第一百十一条	仲裁裁判所の任務
第一百十二条	仲裁裁判手続
第一百十三条	仲裁裁判手続の停止及び終了
第一百十四条	裁定の実施

Article 92	Energy Regulatory Measures
Article 93	Environmental Aspects
Article 94	Cooperation
Article 95	Sub-Committee on Energy
Chapter 8	Improvement of Business Environment
Article 96	Basic Principles
Article 97	Intellectual Property
Article 98	Government Procurement
Article 99	Sub-Committee on Improvement of Business Environment
Article 100	Non-Application of Chapter 10
Chapter 9	Cooperation
Article 101	Basic Principles
Article 102	Fields of Cooperation
Article 103	Areas and Forms of Cooperation
Article 104	Costs of Cooperation
Article 105	Sub-Committee on Cooperation
Article 106	Non-Application of Chapter 10
Chapter 10	Dispute Settlement
Article 107	Scope
Article 108	Consultations
Article 109	Good Offices, Conciliation or Mediation
Article 110	Establishment of Arbitral Tribunals
Article 111	Functions of Arbitral Tribunals
Article 112	Proceedings of Arbitral Tribunals
Article 113	Suspension and Termination of Proceedings
Article 114	Implementation of Award

ブルネイとの経済連携協定

第百十五条	期間の変更	Article 115	Modification of Time Periods
第百十六条	費用	Article 116	Expenses
第十一章	最終規定	Chapter 11	Final Provisions
第百十七条	目次及び見出し	Article 117	Table of Contents and Headings
第百十八条	附属書及び注釈	Article 118	Annexes and Notes
第百十九条	一般的な見直し	Article 119	General Review
第百二十条	改正	Article 120	Amendment
第百二十一条	効力発生	Article 121	Entry into Force
第百二十二条	終了	Article 122	Termination
附属書一(第二章関係)	第十六条に関する表	Annex 1 referred to in Chapter 2	Schedules in relation to Article 16
附属書二(第三章関係)	品目別規則	Annex 2 referred to in Chapter 3	Product Specific Rules
附属書三(第三章関係)	原産地証明書の必要的記載事項	Annex 3 referred to in Chapter 3	Minimum Data Requirement for Certificate of Origin
附属書四(第五章関係)	現行の措置に関する留保	Annex 4 referred to in Chapter 5	Reservations for Existing Measures
附属書五(第五章関係)	将来の措置に関する留保	Annex 5 referred to in Chapter 5	Reservations for Future Measures
附属書六(第六章関係)	金融サービス	Annex 6 referred to in Chapter 6	Financial Services
附属書七(第六章関係)	第七十八条に関する特定の約束に係る表	Annex 7 referred to in Chapter 6	Schedules of Specific Commitments in relation to Article 78
附属書八(第六章関係)	第七十九条に関する最恵国待遇の免除に係る表	Annex 8 referred to in Chapter 6	Lists of Most-Favoured-Nation Treatment Exemptions in relation to Article 79

前文

日本国及びブルネイ・ダルサラーム国は、

互恵的な協力及び共通の地域的利益を通じて発展を遂げてきた良好な友好関係並びに強固な経済的及び政治的きずなに触発され、

貿易及び投資の自由化及び円滑化並びに協力を通じて互恵的な経済上の連携を構築することにより両国の関係を高めることを決意し、

国際化及び技術の進歩によってもたらされる活発なかつ急速に変化する国際環境が、様々な経済上及び戦略上の課題及び機会を両締約国に提示していることを認識し、

経済上の連携が協力の推進に向けた有益な枠組みを提供し、この協定において合意された様々な分野における両締約国の共通の利益に役立ち、並びに経済効率の向上並びに貿易、投資及び人的資源の発展をもたらすことを再確認し、

経済上の連携が一層拡大された新たな市場を創設し、並びに両締約国の市場の魅力及び活力を高めるであろうことを認識し、

経済的開発、社会的開発及び環境保護が相互に依存しており、かつ、持続可能な開発に関する相互に補強し合う構成要素であること並びに経済上の連携が持続可能な開発を促進する上で重要な役割を果たすことができることを認識し、

千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定の附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第二十四条及び附属書一Bサービスの貿易に関する一般協定第五条を想起し、

この協定が両締約国間の関係において新たな時代を開くものとなるであろうことを確信し、

両締約国間の経済上の連携のための法的枠組みを設定することを決意して、

次のとおり協定した。

Preamble

Japan and Brunei Darussalam,

Inspired by the warm friendship and strong economic and political ties, which have developed through mutually beneficial cooperation and shared regional interests;

Determined to enhance their relationship by forging mutually beneficial economic partnership through liberalisation and facilitation of trade and investment, and cooperation;

Recognising that a dynamic and rapidly changing global environment brought about by globalisation and technological progress presents various economic and strategic challenges and opportunities to the Parties;

Reaffirming that the economic partnership will provide a useful framework for enhanced cooperation and serve the common interests of the Parties in various fields as agreed in this Agreement and lead to the improvement of economic efficiency and the development of trade, investment and human resources;

Recognising that the economic partnership would create larger and new market, and enhance the attractiveness and vibrancy of their markets;

Recognising that economic development, social development and environmental protection are interdependent and mutually reinforcing components of sustainable development and that the economic partnership can play an important role in promoting sustainable development;

Recalling Article XXIV of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 and Article V of the General Agreement on Trade in Services in Annex 1A and Annex 1B, respectively, to the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, April 15, 1994;

Convinced that this Agreement would open a new era for the relationship between the Parties; and

Determined to establish a legal framework for an economic partnership between the Parties;

HAVE AGREED as follows:

ブルネイとの経済連携協定

第一章 総則

第一条 目的

この協定の目的は、次のとおりとする。

- (a) 両締約国間の物品及びサービスの貿易を自由化し、及び円滑化すること。
- (b) 両締約国における投資の機会を増大させ、投資財産及び投資活動の保護を強化すること。
- (c) 両締約国間の更なる協力及びビジネス環境の更なる整備のための枠組みを設定すること。
- (d) この協定の実施及び適用並びに紛争解決のための効果的な手続を創設すること。

第二条 一般的定義

この協定の適用上、

- (a) 「区域」とは、

(i) ブルネイ・ダルサラーム国については、ブルネイ・ダルサラーム国の領域（その領海を含み、当該領域の上空に及ぶ。）であって、ブルネイ・ダルサラーム国が主権を行使するもの並びにブルネイ・ダルサラーム国の法令により指定した、又は今後指定することのあるブルネイ・ダルサラーム国の領海の外側に位置する海域（海底及びその下を含む。）であって、ブルネイ・ダルサラーム国が国際法に基づき主権的権利及び管轄権を行使するものをいう。

(ii) 日本国については、日本国の領域並びにその領海の外側に位置する区域（海底及びその下を含む。）であって、日本国が国際法及び日本国の法令に基づき主権的権利又は管轄権を行使するすべてのものをいう。

Chapter 1
General Provisions

Article 1
Objectives

The objectives of this Agreement are to:

- (a) liberalise and facilitate trade in goods and services between the Parties;
- (b) increase investment opportunities and strengthen protection for investments and investment activities in the Parties;
- (c) establish a framework for further bilateral cooperation and improvement of business environment; and
- (d) create effective procedures for the implementation and application of this Agreement and for the resolution of disputes.

Article 2
General Definitions

For the purposes of this Agreement:

- (a) “Area” means:

(i) with respect to Brunei Darussalam, the territory of Brunei Darussalam including its territorial sea, extending to the airspace above such territory, over which it exercises sovereignty, and the maritime area beyond its territorial sea, including seabed and subsoil, which has been or may hereafter be designated under the laws of Brunei Darussalam, over which it exercises its sovereign rights and jurisdiction in accordance with international law; and

(ii) with respect to Japan, the territory of Japan, and all the area beyond its territorial sea, including the seabed and subsoil thereof, over which Japan exercises sovereign rights or jurisdiction in accordance with international law and the laws and regulations of Japan;

注釈 この(a)の規定は、国際法に基づく両締約国の権利及び義務（千九百八十二年十二月十日にモンテゴ・ペイで作成された海洋法に関する国際連合条約に基づく権利及び義務を含む。）に影響を及ぼすものではない。

(b) 「税関当局」とは、各締約国又は第三国の法令に従い、関税に関する法令の運用及び執行について責任を負う当局をいう。日本国については財務省をいい、ブルネイ・ダルサラーム国については関税、消費税庁をいう。

(c) 「サービス貿易一般協定」とは、千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定附属書一Bサービスの貿易に関する一般協定（その改正を含む。）をいう。

(d) 「千九百九十四年のガット」とは、千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定（その改正を含む。）をいう。この協定の適用上、千九百九十四年のガットの条項を引用する場合には、その解釈に係る注釈を含む。

(e) 「統一システム」とは、商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約（その改正を含む。）附属書に定める商品の名称及び分類についての統一システムであつて、両締約国によりそれぞれの国内法の下で採用され、及び実施されるものをいう。

(f) 「両締約国」とは、日本国及びブルネイ・ダルサラーム国をいい、「締約国」とは、日本国又はブルネイ・ダルサラーム国をいう。

(g) 「世界貿易機関設立協定」とは、千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定（その改正を含む。）をいう。

第三条 透明性

1 各締約国は、法令、一般に適用される司法上の決定及び自国が締結している国際協定であつて、この協定の対象となる事項に関連し、又は影響を及ぼすものを公に利用可能なものとする。

ブルネイとの経済連携協定

Note: Nothing in this subparagraph shall affect the rights and obligations of the Parties under international law, including those under the United Nations Convention on the Law of the Sea, done at Montego Bay, December 10, 1982.

(b) "customs authority" means the authority that, according to the legislation of each Party or non-Parties, is responsible for the administration and enforcement of customs laws and regulations. In the case of Japan, the Ministry of Finance, and in the case of Brunei Darussalam, the Royal Customs and Excise Department;

(c) "GATS" means the General Agreement on Trade in Services in Annex 1B to the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, April 15, 1994, as may be amended;

(d) "GATT 1994" means the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, April 15, 1994, as may be amended. For the purposes of this Agreement, references to articles in the GATT 1994 include the interpretative notes;

(e) "Harmonized System" or "HS" means the Harmonized Commodity Description and Coding System set out in the Annex to the International Convention on the Harmonized Commodity Description and Coding System, as may be amended, and adopted and implemented by the Parties in their respective laws;

(f) "Parties" means Japan and Brunei Darussalam and "Party" means either Japan or Brunei Darussalam; and

(g) "WTO Agreement" means the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, April 15, 1994, as may be amended.

Article 3 Transparency

1. Each Party shall make publicly available its laws, regulations and judicial decisions of general application as well as international agreements to which the Party is a party, that pertain to, or affect any matter covered by this Agreement.

ブルネイとの経済連携協定

- 2 各締約国は、1に規定する法令について責任を有する権限のある当局の名称及び住所を容易に公に利用可能なものとする。
- 3 一方の締約国は、他方の締約国の要請があった場合には、1に規定する事項に關して、合理的な期間内に、英語で、当該他方の締約国の個別の質問に応じ、及び当該他方の締約国に情報を提供する。

第四条 行政上の措置に關連する手続

- 1 締約国政府の権限のある当局は、この協定の実施及び運用に關連し、又は影響を及ぼす行政上の決定を行う場合には、自国の關係法令に従つて、次の事項を行う。
- (a) 3に規定する定められた標準的な期間を考慮して、自国の法令に基づき完全であると認められる申請が提出された後合理的な期間内に、当該申請に關する決定を申請者に通知すること。
- (b) 申請者の要請があつた場合には、申請の処理状況に關する情報を合理的な期間内に提供すること。
- 2 締約国政府の権限のある当局は、自国の關係法令に従つて、提出された申請に対して行う行政上の決定の基準を定めるものとし、また、次の事項を行う。
- (a) そのような基準をできる限り具体的なものとすること。
- (b) そのような基準を、それが自国政府にとって行政上特別の支障を来すことがない限り、公に利用可能なものとすること。
- 3 締約国政府の権限のある当局は、自国の關係法令に従つて、次の事項を行うよう努める。
- (a) 自己による申請の受理と提出された申請に対して行う行政上の決定との間の標準的な期間を定めること。

2. Each Party shall make easily available to the public, the names and addresses of the competent authorities responsible for laws and regulations referred to in paragraph 1.

3. Each Party shall, upon the request by the other Party, within a reasonable period of time, respond to specific questions from, and provide information to, the other Party in the English language with respect to matters referred to in paragraph 1.

Article 4
Administrative Procedures

1. Where administrative decisions which pertain to or affect the implementation and operation of this Agreement are taken by the competent authorities of the Government of a Party, the competent authorities shall, in accordance with the applicable laws and regulations of the Party:

- (a) inform the applicant of the decision within a reasonable period of time after the submission of the application considered complete under the laws and regulations of the Party, taking into account the established standard period of time referred to in paragraph 3; and

- (b) provide, within a reasonable period of time, information concerning the status of the application, at the request of the applicant.

2. The competent authorities of the Government of a Party shall, in accordance with the applicable laws and regulations of the Party, establish standards for taking administrative decisions in response to submitted applications. The competent authorities shall:

- (a) make such standards as specific as possible; and
- (b) make such standards publicly available except when it would extraordinarily raise administrative difficulties for the Government of the Party.

3. The competent authorities of the Government of a Party shall, in accordance with the applicable laws and regulations of the Party, endeavour to:

- (a) establish standard periods of time between the receipt of applications by the competent authorities and the administrative decisions taken in response to submitted applications; and

- (b) 標準的な期間が定められたときは、当該期間を公に利用可能なものとする¹。
- 4 締約国政府の権限のある当局は、ある者の利益に悪影響を及ぼす最終的な決定を行う前に、時間的にかつ措置の性格上許容され、及び公共の利益に反することとならないときは、² 自国の関係法令に従って、当該者に対し次の通知及び機会を与える。
- (a) 適当な通知（当該措置の性格、当該措置の根拠となる法令の条項及び当該措置の原因となる事実の記載を含む。）
- (b) 当該措置の対象となる者の立場を裏付ける事実及び主張を提示するための適当な機会

第五条 審査及び上訴

- 1 各締約国は、この協定の対象となる事項に関する自国政府による行為について、速やかな審査及び正当とされる場合には適当な救済が行われるために、司法裁判所若しくは行政裁判所又はそれらの訴訟手続を維持する。これらの裁判所又は訴訟手続は、公平なものとする。
- 2 各締約国は、当該裁判所又は訴訟手続において、訴訟の当事者に対し次の事項を要求する権利が与えられることを確保する。
- (a) 訴訟の当事者それぞれの立場を裏付ける主張を行い、又は自己の立場を防御するための適当な機会が与えられること。
- (b) 証拠及び提出された意見に基づく決定が行われること。
- 3 各締約国は、自国の関係法令によって定められる上訴又は更なる審査の手続に従うことを条件として、問題となっている自国政府による行為に関し、² (b) の決定が関係当局によって実施されることを確保する。

- (b) make publicly available such periods of time, if established.

4. The competent authorities of the Government of a Party shall, in accordance with the applicable laws and regulations of the Party, prior to any final decision which adversely affects the interests of a person, provide that person with:

- (a) a reasonable notice, including a description of the nature of the measure, specific provisions upon which such measure will be based, and the facts which may be a cause of taking such measure; and
- (b) a reasonable opportunity to present facts and arguments in support of position of such person, provided that time, nature of the measure and public interest permit.

Article 5
Review and Appeal

1. Each Party shall maintain judicial or administrative tribunals or procedures for the purpose of prompt review and, where justified, appropriate remedies for actions taken by its Government regarding matters covered by this Agreement. Such tribunals or procedures shall be impartial.

2. Each Party shall ensure that the parties in any such tribunals or procedures are provided with the right to:

- (a) a reasonable opportunity to support or defend their respective positions; and
- (b) a decision based on the evidence and submissions of record.

3. Each Party shall ensure, subject to appeal or further review as provided for in its applicable laws and regulations, that such decision is implemented by the relevant authorities with respect to the action at issue which is taken by its Government.

第六条 秘密の情報

1 一方の締約国は、自国の法令に従い、他方の締約国がこの協定に従って秘密のものとして提供した情報の秘密性を保持する。当該情報は、定められた目的のためにのみ使用されるものとし、情報を提供した締約国の明示的な同意を得ないで開示してはならない。

2 この協定のいかなる規定も、締約国に対し、秘密の情報であつて、その開示が次のいずれかに該当することとなるものの提供を要求するものと解してはならない。

- (a) 公共の利益に反すること。
- (b) 自国の法令の実施を妨げること。
- (c) 公私の特定の企業の正当な商業上の利益を害すること。

3 両締約国は、この協定が終了する場合においても、この条の規定が引き続き適用されることと同意する。

第七条 租税

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、この協定の規定は、租税に係る課税措置については適用しない。

2 第三条及び前条の規定は、この協定の規定が租税に係る課税措置に適用される限度において、当該課税措置について適用する。

第八条 一般的例外及び安全保障のための例外

1 次章から第五章（第六十四条を除く。）まで及び第七章の規定の適用上、千九百九十四年のガット第二十条の規定は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成す。

2 第五章（第六十四条を除く。）及び第六章の規定の適用上、サービス貿易一般協定第十四条の規定は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成す。

3 この協定（第六十四条を除く。）のいかなる規定も、次のいずれかの事項を定めるものと解してはならない。

Article 6
Confidential Information

1. Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, maintain the confidentiality of information provided in confidence by the other Party pursuant to this Agreement. Such information shall be used only for the purposes specified, and shall not be otherwise disclosed without the specific permission of the Party providing the information.

2. Nothing in this Agreement shall be construed to require a Party to provide confidential information, the disclosure of which would:

- (a) be contrary to the public interest;
- (b) impede enforcement of its laws and regulations; or
- (c) prejudice legitimate commercial interests of particular enterprises, public or private.

3. In the event of the termination of this Agreement, the Parties agree that the provision of this Article shall continue to apply.

Article 7
Taxation

1. Unless otherwise provided for in this Agreement, the provisions of this Agreement shall not apply to any taxation measures.

2. Articles 3 and 6 shall apply to taxation measures, to the extent that the provisions of this Agreement are applicable to such taxation measures.

Article 8
General and Security Exceptions

1. For the purposes of Chapters 2,3,4,5 other than Article 64, and 7, Article XX of the GATT 1994 is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.

2. For the purposes of Chapter 5 other than Article 64, and Chapter 6, Article XIV of the GATS is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.

3. Nothing in this Agreement other than Article 64, shall be construed:

- (a) 締約国に対し、その開示が自国の安全保障上の重大な利益に反すると当該締約国が認める情報の提供を要求すること。
- (b) 締約国が自国の安全保障上の重大な利益の保護のために必要であると認める次のいずれかの措置をとることを妨げること。
- (i) 武器、弾薬及び軍需品並びに軍事施設に供給するため直接又は間接に行われるその他の貨物及び原料の生産、供給又は取引並びに軍事施設のため直接又は間接に行われるサービスの提供に関する措置
- (ii) 戦争、武力紛争その他国内的又は国際的な緊急時にとる措置
- (iii) 核分裂性物質若しくは核融合性物質又はこれらの生産原料である物質に関する措置
- (c) 締約国が国際の平和及び安全の維持のため国際連合憲章に基づく義務に従って措置をとることを妨げること。
- 4 一方の締約国がこの条の規定に基づいて措置をとる場合には、当該一方の締約国は、当該措置をとる前に、又はその後でできる限り速やかに、他方の締約国に対し当該措置の概要を通報するよう妥当な努力を払う。

第九条 他の協定との関係

- 1 両締約国は、世界貿易機関設立協定又は両締約国が締結しているその他の協定に基づく権利及び義務を再確認する。
- 2 この協定と世界貿易機関設立協定又は両締約国が締結しているその他の協定とが抵触する場合には、両締約国は、国際法の一般原則を考慮しつつ、相互に満足すべき解決を得るために直ちに相互に協議する。

- (a) to require a Party to furnish any information, the disclosure of which it considers contrary to its essential security interests;
- (b) to prevent a Party from taking any action which it considers necessary for the protection of its essential security interests:
- (i) relating to the production or supply of, or traffic in, arms, ammunition and implements of war and to such production or supply of, or traffic in, other goods and materials, or such supply of services, as is carried on directly or indirectly for the purpose of supplying or provisioning a military establishment;
- (ii) taken in time of war, or armed conflict, or other domestic or international emergency; or
- (iii) relating to fissionable and fusible materials or the materials from which they are derived; or
- (c) to prevent a Party from taking any action in pursuance of its obligations under the United Nations Charter for the maintenance of international peace and security.
4. In cases where a Party takes any measure or action pursuant to this Article, the Party shall make reasonable effort to notify the other Party of the description of such measure or action either before the measure or action is taken or as soon as possible thereafter.

Article 9

Relation to Other Agreements

1. The Parties reaffirm their rights and obligations under the WTO Agreement or any other agreements to which both Parties are parties.
2. In the event of any inconsistency between this Agreement and the WTO Agreement or any other agreements to which both Parties are parties, the Parties shall immediately consult with each other with a view to finding a mutually satisfactory solution, taking into consideration general principles of international law.

ブルネイとの経済連携協定

第十条 実施取極

両締約国政府は、この協定を実施するための詳細及び手続を定める別の取極（以下「実施取極」という。）を締結する。

第十一条 合同委員会

合同委員会

1 この協定に基づき合同委員会を設置する。

2 合同委員会は、次の事項を任務とする。

(a) この協定の実施及び運用について見直し及び監視を行うこと。

(b) この協定の改正について検討し、及び両締約国に勧告すること。

(c) この協定に基づいて設置されるすべての小委員会の作業を監督し、及び調整すること。

(d) 次のものを採択すること。

(i) 第三章に規定する運用上の手続規則

(ii) 必要な決定

(e) 両締約国が合意するその他の任務を遂行すること。

3 (a) 合同委員会は、両締約国の代表者から成る。

(b) 合同委員会は、小委員会を設置し、自己の任務の遂行を委任することができ、

4 合同委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。

第十二条 両締約国間の連絡

各締約国は、この協定に関するすべての事項について両締約国間の連絡を円滑にするため、照会所を指定する。

Article 10
Implementing Agreement

The Governments of the Parties shall conclude a separate agreement setting forth the details and procedures for the implementation of this Agreement (hereinafter referred to in this Agreement as "the Implementing Agreement").

Article 11
Joint Committee

1. A Joint Committee shall be established under this Agreement.

2. The functions of the Joint Committee shall be:

(a) reviewing and monitoring the implementation and operation of this Agreement;

(b) considering and recommending to the Parties any amendments to this Agreement;

(c) supervising and coordinating the work of all Sub-Committees established under this Agreement;

(d) adopting:

(i) Operational Procedures referred to in Chapter 3; and

(ii) any necessary decisions; and

(e) carrying out other functions as the Parties may agree.

3. The Joint Committee:

(a) shall be composed of representatives of the Parties; and

(b) may establish and delegate its responsibilities to Sub-Committees.

4. The Joint Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

Article 12
Communications

Each Party shall designate an enquiry point to facilitate communications between the Parties on any matter relating to this Agreement.

第二章 物品の貿易

第十三条 定義

この章の規定の適用上、

- (a) 「二国間セーフガード措置」とは、第二十一条2に規定する「二国間セーフガード措置をいう。
- (b) 「関税」とは、產品の輸入に関連して課される関税、輸入税その他あらゆる種類の課徴金（あらゆる形態の付加税及び加重税を含む。）をいう。ただし、次のものを含まない。
- (i) 締約國の產品であつて、当該輸入產品と同種のものの、直接に競合するもの若しくは代替可能なものに対し、又は当該輸入產品の全部若しくは一部がそれから製造され、若しくは生産されている產品に對して、千九百九十四年のガット第三条2の規定に適合して課される内國税に相當する課徴金
- (ii) 締約國の法令により、かつ、千九百九十四年のガット第六条、世界貿易機關設立協定附屬書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第六条の実施に関する協定（その改正を含む。）及び世界貿易機關設立協定附屬書一A補助金及び相殺措置に関する協定（その改正を含む。）の規定に適合して課されるダンピング防止税又は相殺関税
- (iii) 提供された役務の費用に応じた手数料その他の課徴金
- (c) 「物品の課税価額」とは、従価による関税の賦課のための輸入物品の価額をいう。
- (d) 「国内産業」とは、締約国内で活動する同種の若しくは直接に競合する產品の生産者の全体又はこれらの生産者のうち当該產品の生産高の合計が当該產品の国内総生産高の相当な部分を占めている生産者をいう。

Chapter 2
Trade in Goods

Article 13
Definitions

For the purposes of this Chapter:

- (a) "bilateral safeguard measure" means a bilateral safeguard measure provided for in paragraph 2 of Article 21;
- (b) "customs duty" means any customs or import duty and a charge of any kind, including any form of surtax or surcharge, imposed in connection with the importation of a good, but does not include any:
- (i) charge equivalent to an internal tax imposed consistently with the provisions of paragraph 2 of Article III of the GATT 1994, in respect of the like goods or, directly competitive or substitutable goods of the Party or in respect of goods from which the imported goods have been manufactured or produced in whole or in part;
- (ii) anti-dumping or countervailing duty applied pursuant to a Party's law and applied consistently with the provisions of Article VI of the GATT 1994, the Agreement on Implementation of Article VI of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994, as may be amended, and the Agreement on Subsidies and Countervailing Measures in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended; or
- (iii) fees or other charges commensurate with the cost of services rendered;
- (c) "customs value of goods" means the value of goods for the purposes of levying ad valorem customs duties on imported goods;
- (d) "domestic industry" means the producers as a whole of the like or directly competitive goods operating in a Party, or those whose collective output of the like or directly competitive goods constitutes a major proportion of the total domestic production of those goods;

(e) 「輸出補助金」とは、世界貿易機関設立協定附属書－A 農業に関する協定（その改正を含む。）（以下この章において「農業協定」という。）（第九条 1(a) から (f) までに掲げる輸出補助金をいう。）

(f) 「原産品」とは、次章の規定に従って原産品とされる産品をいう。

(g) 「暫定的な二国間セーフガード措置」とは、第二十一条 9(a) に規定する暫定的な二国間セーフガード措置をいう。

(h) 「重大な損害」とは、国内産業の状態の著しい全般的な悪化をいう。

(i) 「重大な損害のおそれ」とは、事実に基づき、明らかに差し迫った重大な損害と認められるものをい
い、申立て、推測又は希薄な可能性のみに基づくものは含まない。

第十四条 物品の分類

両締約国間で取引される物品の分類は、統一システムに適合したものとする。

第十五条 内国民待遇

一方の締約国は、千九百九十四年のガット第三条の規定の例により、他方の締約国の産品に対して内国民待遇を与えるものとし、このため、同条の規定は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成すこととなる。

第十六条 関税の撤廃

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、一方の締約国は、他方の締約国の原産品について、附属書一の自国の表に従って、関税を撤廃する。

2 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、いずれの一方の締約国も、他方の締約国の原産品について、附属書一の自国の表に従って適用される税率より関税を引き上げてはならない。

(e) “export subsidies” means export subsidies listed in subparagraphs 1(a), (b), (c), (d), (e) and (f) of Article 9 of the Agreement on Agriculture in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended (hereinafter referred to in this Chapter as “the Agreement on Agriculture”);

(f) “originating good” means a good which qualifies as an originating good under the provisions of Chapter 3;

(g) “provisional bilateral safeguard measure” means a provisional bilateral safeguard measure provided for in subparagraph 9(a) of Article 21;

(h) “serious injury” means a significant overall impairment in the position of a domestic industry; and

(i) “threat of serious injury” means serious injury that, on the basis of facts and not merely on allegation, conjecture or remote possibility, is clearly imminent.

Article 14
Classification of Goods

The classification of goods in trade between the Parties shall be in conformity with the Harmonized System.

Article 15
National Treatment

Each Party shall accord national treatment to the goods of the other Party in accordance with Article III of the GATT 1994 which, to this end, is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.

Article 16
Elimination of Customs Duties

1. Except as otherwise provided for in this Agreement, each Party shall eliminate its customs duties on originating goods of the other Party in accordance with its Schedule in Annex 1.

2. Except as otherwise provided for in this Agreement, neither Party shall increase any customs duty on originating goods of the other Party from the rate to be applied in accordance with its Schedule in Annex 1.

物品の分類

内国民待遇

関税の撤廃

3 両締約国は、いずれかの締約国の要請に基づき、附属書一の表において交渉の対象として指定した原産品に関する市場アクセスの条件の改善その他の事項について、当該表に定める条件に従って交渉する。

4 特定の産品に関する自国の実行最恵国税率を撤廃し、又は引き下げた結果として、当該実行最恵国税率が、当該産品と同じ関税品目に分類される原産品について1の規定に従って適用される税率に等しくなり、又はこれより低くなる場合には、一方の締約国は、他方の締約国に対し、その撤廃又は引下げを遅滞なく通知する。

5 特定の産品に関する自国の実行最恵国税率が、当該産品と同じ関税品目に分類される原産品について1の規定に従って適用される税率より低い場合には、各締約国は、当該原産品について、その低い税率を適用する。

第十七条 関税上の評価

世界貿易機関設立協定附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第七条の実施に関する協定（その改正を含む。）（以下「関税評価協定」という。）第一部の規定は、両締約国間で取引される物品の課税価額の決定について準用する。

第十八条 輸出税

いずれの一方の締約国も、自国から他方の締約国に輸出される産品について、いかなる輸出税も新設してはならない。

第十九条 輸出補助金

いずれの締約国も、農業協定附属書一に掲げる農産品について、いかなる輸出補助金も新設してはならない。

3. Upon the request of either Party, the Parties shall negotiate on issues such as improving market access conditions on originating goods designated for negotiation in the Schedules in Annex 1, in accordance with the terms and conditions set out in such Schedules.

4. If, as a result of the elimination or reduction of its most-favoured-nation applied rate of customs duty on a particular good, the most-favoured-nation applied rate becomes equal to, or lower than, the rate of customs duty to be applied in accordance with paragraph 1 on the originating good which is classified under the same tariff line as that particular good, each Party shall notify the other Party of such elimination or reduction without delay.

5. In cases where its most-favoured-nation applied rate of customs duty on a particular good is lower than the rate of customs duty to be applied in accordance with paragraph 1 on the originating good which is classified under the same tariff line as that particular good, each Party shall apply the lower rate with respect to that originating good.

Article 17 Customs Valuation

For the purposes of determining the customs value of goods traded between the Parties, provisions of Part I of the Agreement on Implementation of Article VII of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended (hereinafter referred to in this Agreement as "the Agreement on Customs Valuation"), shall apply *mutatis mutandis*.

Article 18 Export Duties

Neither Party shall introduce any export duties on goods exported from the Party to the other Party.

Article 19 Export Subsidies

Neither Party shall introduce any export subsidies on any agricultural good which is listed in Annex 1 to the Agreement on Agriculture.

関税上の 評価

輸出税

輸出補助 金

ブルネイとの経済連携協定

第二十条 非関税措置

非関税措置

1 一方の締約国は、他方の締約国の製品の輸入について又は他方の締約国に仕向けられる製品の輸出若しくは輸出のための販売について、世界貿易機関設立協定に基づく自国の義務に適合しないいかなる非関税措置も新設し、又は維持してはならない。

2 各締約国は、世界貿易機関設立協定に基づく自国の義務に反しない自国の非関税措置の透明性を高めるものとする。

第二十一条 二国間セーフガード措置

1 一方の締約国は、第十六条の規定に従って他方の締約国の原産品の関税を撤廃し、又は引き下げた結果として、当該原産品が絶対量において増加した数量で自国に輸入されている場合において、当該増加した数量が自国の国内産業に対する重大な損害又は重大な損害のおそれを引き起こす重要な原因となっているときは、この条の規定に従うことを条件として、自国の国内産業に対する重大な損害を防止し、又は救済し、かつ、調整を容易にするために必要な最小限度の範囲において、二国間セーフガード措置をとることができる。

2 締約国は、二国間セーフガード措置として次のいずれかの措置をとることができる。

- (a) この章の規定に基づく関税の段階的な引下げの対象となる当該原産品の関税の更なる引下げを停止すること。
- (b) 次の税率のうちいずれか低い方を超えない水準まで当該原産品の関税を引き上げること。
 - (i) 二国間セーフガード措置をとる時点における実行最恵国税率
 - (ii) この協定の効力発生の日の前日における実行最恵国税率

Article 20 Non-tariff Measures

1. Each Party shall not introduce or maintain any non-tariff measures on the importation of any good of the other Party or on the exportation or sale for export of any good destined for the other Party which are inconsistent with its obligations under the WTO Agreement.

2. Each Party shall promote the transparency of its non-tariff measures which are not inconsistent with its obligations under the WTO Agreement.

Article 21 Bilateral Safeguard Measures

1. Subject to the provisions of this Article, each Party may take a bilateral safeguard measure, to the minimum extent necessary to prevent or remedy the serious injury to a domestic industry of that Party and to facilitate adjustment, if an originating good of the other Party, as a result of the elimination or reduction of a customs duty in accordance with Article 16, is being imported into the former Party in such increased quantities, in absolute terms, and under such conditions that the imports of that originating good constitute a substantial cause of serious injury, or threat of serious injury, to a domestic industry of the former Party.

2. A Party may, as a bilateral safeguard measure:

- (a) suspend the further reduction of any rate of customs duty on the originating good provided for in this Chapter; or
- (b) increase the rate of customs duty on the originating good to a level not to exceed the lesser of:
 - (i) the most-favoured-nation applied rate of customs duty in effect at the time when the bilateral safeguard measure is taken; and
 - (ii) the most-favoured-nation applied rate of customs duty in effect on the day immediately preceding the date of entry into force of this Agreement.

3 (a) 締約国は、世界貿易機関設立協定附属書一 A セーフガードに関する協定（その改正を含む。）（以下この条において「セーフガード協定」という。）第三条及び第四条 2 (c) に定める手続と同様の手続に従い、自国の権限のある当局が調査を行った後においてのみ二国間セーフガード措置をとることができ

(b) (a) に規定する調査については、いかなる場合においても、その開始の日の後一年以内に完了させなければならない。

(c) 原産品の輸入の増加が国内産業に重大な損害を与えているかいないか、又は与えるおそれがあるかないかをこの条に基づいて決定するための (a) に規定する調査においては、当該調査を行う締約国の権限のある当局は、当該国内産業の状態に関係を有するすべての要因であって、客観的なかつ数値化されたもの、特に当該原産品の輸入の絶対量における増加率及び増加量、輸入の増加した当該原産品の国内市場占拠率並びに販売、生産、生産性、操業度、損益及び雇用についての水準の変化を評価する。

(d) 原産品の輸入の増加が国内産業に重大な損害を与えているとの、又は与えるおそれがあるとの決定は、(a) に規定する調査が、当該原産品の輸入の増加と重大な損害又はそのおそれとの間に因果関係が存在することを客観的な証拠に基づいて立証しない限り、行つてはならない。当該原産品の輸入の増加以外の要因が同時に国内産業に損害を与えている場合には、その要因による損害の責めを当該原産品の輸入の増加に帰してはならない。

4 次の条件及び制限は、二国間セーフガード措置について適用する。

(a) 一方の締約国は、次の場合には、他方の締約国に対し直ちに書面による通報を行う。

ブルネイとの経済連携協定

3. (a) A Party may take a bilateral safeguard measure only after an investigation has been carried out by the competent authorities of that Party in accordance with the same procedures as those provided for in Article 3 and subparagraph 2(c) of Article 4 of the Agreement on Safeguards in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended (hereinafter referred to in this Article as "the Agreement on Safeguards").

(b) The investigation referred to in subparagraph (a) shall in all cases be completed within one year following its date of initiation.

(c) In the investigation referred to in subparagraph (a) to determine whether increased imports of an originating good have caused or are threatening to cause serious injury to a domestic industry under the terms of this Article, the competent authorities of a Party who carry out the investigation shall evaluate all relevant factors of an objective and quantifiable nature having a bearing on the situation of that domestic industry, in particular, the rate and amount of the increase in imports of the originating good in absolute terms, the share of the domestic market taken by the increased imports of the originating good, and the changes in the level of sales, production, productivity, capacity utilisation, profits and losses, and employment.

(d) The determination that increased imports of an originating good have caused or are threatening to cause serious injury to a domestic industry shall not be made unless the investigation referred to in subparagraph (a) demonstrates, on the basis of objective evidence, the existence of the causal link between increased imports of the originating good and serious injury or threat of serious injury. When factors other than the increased imports of the originating good are causing injury to the domestic industry at the same time, such injury shall not be attributed to the increased imports of the originating good.

4. The following conditions and limitations shall apply with regard to a bilateral safeguard measure:

(a) A Party shall immediately deliver a written notice to the other Party upon:

ブルネイとの経済連携協定

- (i) 重大な損害又は重大な損害のおそれ及びこれらの理由に関する3(a)に規定する調査を開始する場合
- (ii) 二国間セーフガード措置をとり、又は延長する決定を行う場合
- (b) (a)に規定する書面による通報を行う一方の締約国は、すべての関連する情報を他方の締約国に提供する。この情報には、次の事項を含める。
 - (i) (a)(i)の場合における書面による通報については、調査の開始の理由、調査の対象となる原産品の正確な説明及び当該原産品が分類される統一システムの号、調査の対象となる期間並びに調査の開始の日付
 - (ii) (a)(ii)の場合における書面による通報については、原産品の輸入の増加により引き起こされた重大な損害又は重大な損害のおそれがあることについての証拠、とらうとする二国間セーフガード措置の対象となる原産品の正確な説明及び当該原産品が分類される統一システムの号、当該二国間セーフガード措置の正確な説明並びに当該二国間セーフガード措置を導入しようとする日付及び予定適用期間
- (c) 二国間セーフガード措置をとらうとし、又は延長しようとする一方の締約国は、3(a)に規定する調査から得られる情報を検討し、当該二国間セーフガード措置に関し意見を交換し、及び5に規定する補償について合意に達するため、他方の締約国と事前の協議を行うための十分な機会を与える。

- (i) initiating an investigation referred to in subparagraph 3(a) relating to serious injury, or threat of serious injury, and the reasons for it; and
- (ii) taking a decision to apply or extend a bilateral safeguard measure.
- (b) The Party making the written notice referred to in subparagraph (a), shall provide the other Party with all pertinent information, which shall include:
 - (i) in the written notice referred to in subparagraph (a)(i), the reason for the initiation of the investigation, a precise description of the originating good subject to the investigation and its subheading of the Harmonized System, the period subject to the investigation and the date of initiation of the investigation; and
 - (ii) in the written notice referred to in subparagraph (a)(ii), evidence of serious injury or threat of serious injury caused by the increased imports of the originating good, a precise description of the originating good subject to the proposed bilateral safeguard measure and its subheading of the Harmonized System, a precise description of the bilateral safeguard measure, and the proposed date of the introduction and expected duration of the bilateral safeguard measure.
- (c) A Party proposing to apply or extend a bilateral safeguard measure shall provide adequate opportunity for prior consultation with the other Party with a view to reviewing the information arising from the investigation referred to in subparagraph 3(a), exchanging views on the bilateral safeguard measure and reaching an agreement on compensation set out in paragraph 5.

(d) 二国間セーフガード措置は、重大な損害を防止し、又は救済し、かつ、調整を容易にするために必要な限度及び期間を超えて維持されてはならず、また、その適用期間は、三年を超えてはならない。ただし、極めて例外的な状況においては、二国間セーフガード措置の適用期間を延長することができ、延長を含めた合計期間は、四年を超えないものとする。二国間セーフガード措置の予定適用期間が一年を超える場合において、調整を容易にするため、当該二国間セーフガード措置を維持している締約国は、その適用期間中一定の間隔で当該二国間セーフガード措置を漸進的に緩和する。

(e) 二国間セーフガード措置の対象とされた原産品の輸入については、当該二国間セーフガード措置がとられた期間と等しい期間又は一年のうちいずれか長い期間が経過するまで、二国間セーフガード措置を再度とってはならない。

(f) 二国間セーフガード措置の適用期間の終了後における関税率は、当該二国間セーフガード措置がとられなかったとしたならば適用したであろう税率とする。

5 (a) 二国間セーフガード措置をとろうとし、又は延長しようとする一方の締約国は、他方の締約国に対し、当該二国間セーフガード措置の結果生ずると予想される関税の増大分と実質的に等価値の対応を関税について講ずることを約束することにより、相互に合意される貿易上の補償の適切な方法を提供する。

(b) 両締約国が4(c)に規定する協議の開始の後三十日以内に補償について合意することができない場合には、その原産品について当該二国間セーフガード措置がとられる締約国は、この協定に基づく関税に関する議許であって、当該二国間セーフガード措置と実質的に等価値のものの適用を停止することができ、議許の適用を停止する権利を有する当該締約国は、実質的に同等の効果を達成するために必要な最小限度の期間に限り、これを行使用することができる。

(d) No bilateral safeguard measure shall be maintained except to the extent and for such time as may be necessary to prevent or remedy serious injury and to facilitate adjustment, provided that such time shall not exceed a period of three years. However, in very exceptional circumstances, a bilateral safeguard measure may be extended, provided that the total period of the bilateral safeguard measure, including such extensions, shall not exceed four years. In order to facilitate adjustment in a situation where the expected duration of a bilateral safeguard measure is over one year, the Party maintaining the bilateral safeguard measure shall progressively liberalise the bilateral safeguard measure at regular intervals during the period of application.

(e) No bilateral safeguard measure shall be applied again to the import of a particular originating good which has been subject to such a bilateral safeguard measure, for a period of time equal to the duration of the previous bilateral safeguard measure or one year, whichever is longer.

(f) Upon the termination of a bilateral safeguard measure, the rate of customs duty shall be the rate which would have been in effect but for the bilateral safeguard measure.

(a) A Party proposing to apply or extend a bilateral safeguard measure shall provide to the other Party mutually agreed adequate means of trade compensation in the form of concessions of customs duties whose levels are substantially equivalent to the value of the additional customs duties expected to result from the bilateral safeguard measure.

(b) If the Parties are unable to agree on the compensation within 30 days after the commencement of the consultation pursuant to subparagraph 4(c), the Party against whose originating good the bilateral safeguard measure is taken shall be free to suspend the application of concessions of customs duties under this Agreement, which are substantially equivalent to the bilateral safeguard measure. The Party exercising the right of suspension may suspend the application of concessions of customs duties only for the minimum period necessary to achieve the substantially equivalent effects.

ブルネイとの経済連携協定

一七二

6 この章のいかなる規定も、一方の締約国が、次のいずれかの規定に従い他方の締約国の原産品に対してセーフガード措置をとることを妨げるものではない。

(a) 千九百九十四年のガット第十九条及びセーフガード協定の規定

(b) 農業協定第五条の規定

7 各締約国は、二国間セーフガード措置に関する法令の運用が、一貫した、公平な、かつ、合理的なものであることを確保する。

8 各締約国は、二国間セーフガード措置に関し、公平な、時宜を得た、透明性のある、かつ、効果的な手続を採用し、又は維持する。

9 (a) 遅延すれば回復し難い損害を引き起こすような危機的な事態が存在する場合には、一方の締約国は、他方の締約国の原産品の輸入の増加が国内産業に対する重大な損害を引き起こしていること又は引き起こすおそれがあることについての明白な証拠があるという仮の決定に基づき、2 (a)又は(b)に規定する措置の形態をとる暫定的な二国間セーフガード措置をとることができる。

(b) 一方の締約国は、暫定的な二国間セーフガード措置をとる前に、他方の締約国に対し書面による通報を行う。暫定的な二国間セーフガード措置の適用については、これがとられた後速やかに両締約国間の協議を開始する。

(c) 暫定的な二国間セーフガード措置の期間は、二百日を超えてはならない。その期間中、3に定める関連する要件が満たされるものとする。暫定的な二国間セーフガード措置の期間は、4 (d)に規定する期間に算入される。

6. Nothing in this Chapter shall prevent a Party from applying safeguard measures to an originating good of the other Party in accordance with:

(a) Article XIX of the GATT 1994 and the Agreement on Safeguards; or

(b) Article 5 of the Agreement on Agriculture.

7. Each Party shall ensure the consistent, impartial and reasonable administration of its laws and regulations relating to bilateral safeguard measure.

8. Each Party shall adopt or maintain equitable, timely, transparent and effective procedures relating to bilateral safeguard measure.

9. (a) In critical circumstances, where delay would cause damage which it would be difficult to repair, a Party may take a provisional bilateral safeguard measure, which shall take the form of the measure set out in subparagraph 2(a) or (b) pursuant to a preliminary determination that there is clear evidence that increased imports of an originating good of the other Party have caused or are threatening to cause serious injury to a domestic industry.

(b) A Party shall deliver a written notice to the other Party prior to applying a provisional bilateral safeguard measure. Consultations between the Parties on the application of the provisional bilateral safeguard measure shall be initiated immediately after the provisional bilateral safeguard measure is taken.

(c) The duration of a provisional bilateral safeguard measure shall not exceed 200 days. During that period, the pertinent requirements of paragraph 3 shall be met. The duration of the provisional bilateral safeguard measure shall be counted as a part of the period referred to in subparagraph 4(d).

(d) 4 (f)、7 及び 8 の規定は、暫定的な二国間セーフガード措置について準用する。暫定的な二国間セーフガード措置の結果として課された関税は、その後行われる 3 (a) に規定する調査により原産品の輸入の増加が国内産業に対する重大な損害を引き起こしているとの、又は引き起こすおそれがあるとの決定が行われない場合には、払い戻される。

10 4 (a) 及び 9 (b) に規定する書面による通報その他の両締約国間の連絡は、英語で行う。

11 両締約国は、この協定の効力発生の日から五年を経過した後、必要に応じ、この条の規定について見直しを行う。

第二十二条 国際収支の擁護のための制限

1 この章のいかなる規定も、締約国が国際収支上の目的のために措置をとることを妨げるものと解してはならない。当該措置をとる締約国は、千九百九十四年のガット第十二条及び世界貿易機関設立協定附属書 A 千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定の国際収支に係る規定に関する了解（その改正を含む。）に規定する条件に従うものとする。

2 この章のいかなる規定も、締約国が国際通貨基金協定（その改正を含む。以下同じ。）に基づく為替管理又は為替制限を実施することを妨げるものではない。

第三章 原産地規則

第二十三条 定義

この章の規定の適用上、
(a) 「権限のある政府当局」とは、原産地証明書の発給について、又はその発給を行う団体の指定について責任を負う当局をいう。日本国については経済産業省をいい、ブルネイ・ダルサラーム国については外務貿易省をいう。

ブルネイとの経済連携協定

(d) Subparagraph 4(f) and paragraphs 7 and 8 shall be applied *mutatis mutandis* to a provisional bilateral safeguard measure. The customs duty imposed as a result of a provisional bilateral safeguard measure shall be refunded if the subsequent investigation referred to in subparagraph 3(a) does not determine that increased imports of an originating good of the other Party have caused or threatened to cause serious injury to a domestic industry.

10. A written notice referred to in subparagraphs 4(a) and 9(b) and any other communication between the Parties shall be done in the English language.
11. The Parties shall review the provisions of this Article, if necessary, after five years of the date of entry into force of this Agreement.

Article 22

Restrictions to Safeguard the Balance of Payments

1. Nothing in this Chapter shall be construed to prevent a Party from taking any measure for balance-of-payments purposes. A Party taking such measure shall do so in accordance with the conditions established under Article XII of the GATT 1994 and the Understanding on the Balance-of-Payments Provisions of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended.

2. Nothing in this Chapter shall preclude the use by a Party of exchange controls or exchange restrictions in accordance with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended.

Chapter 3
Rules of Origin

Article 23
Definitions

For the purposes of this Chapter:

(a) "competent governmental authority" means the authority that is responsible for the issuing of a certificate of origin or for the designation of certification entities or bodies. In the case of Japan, the Ministry of Economy, Trade and Industry, and in the case of Brunei Darussalam, the Ministry of Foreign Affairs and Trade;

ブルネイとの経済連携協定

- (b) 「輸出者」とは、輸出締約国に所在する者であつて、当該輸出締約国から産品を輸出するものをいう。
- (c) 「当該締約国の工船」又は「当該締約国の船舶」とは、それぞれ、次のすべての条件を満たす工船又は船舶をいう。
- (i) 当該締約国において登録されていること。
 - (ii) 当該締約国の旗を掲げて航行すること。
 - (iii) 両締約国の国民又は法人（いずれかの締約国に本店を有する法人であつて、代表者、役員会の長及び当該役員会の構成員の過半数が両締約国の国民であり、かつ、(A)両締約国の国民若しくは法人が五十パーセント以上の持分を所有しているもの又は(B)両締約国の国民若しくは法人が、東南アジア諸国連合の加盟国である第三国の国民若しくは法人とともに、七十五パーセント以上の持分を所有しているものに限る。）が五十パーセント以上の持分を所有していること。
- (d) 船長、上級乗組員及び乗組員の総数の七十五パーセント以上が両締約国又は東南アジア諸国連合の加盟国である第三国の国民であること。
- (d) 「代替性のある締約国の原産品」又は「代替性のある締約国の原産材料」とは、それぞれ、商取引において相互に交換することが可能な締約国の原産品又は原産材料であつて、それらの特性が本質的に同一のものをいう。
- (b) “exporter” means a person located in an exporting Party who exports a good from the exporting Party;
- (c) “factory ships of the Party” or “vessels of the Party” respectively means factory ships or vessels:
- (i) which are registered in the Party;
 - (ii) which sail under the flag of the Party;
 - (iii) which are owned to an extent of at least 50 percent by nationals of the Parties, or by a juridical person with its head office in either Party, of which the representatives, chairman of the board of directors, and the majority of the members of such board are nationals of the Parties, and which is owned by:
 - (A) nationals or juridical persons of the Parties to an extent of at least 50 percent; or
 - (B) nationals or juridical persons of the Parties, together with nationals or juridical persons of one of the non-Parties which are member countries of the Association of Southeast Asian Nations (hereinafter referred to in this Agreement as “ASEAN”), to an extent of at least 75 percent; and
 - (iv) of which at least 75 percent of the total of the master, officers and crew are nationals of the Parties or non-Parties which are member countries of the ASEAN;
- (d) “fungible originating goods of a Party” or “fungible originating materials of a Party” respectively means originating goods or materials of a Party that are interchangeable for commercial purposes, whose properties are essentially identical;

(e) 「一般的に認められている会計原則」とは、資産又は負債として記録すべき財産又は債務、記録すべき資産及び負債の変化、資産及び負債並びにこれらの変化についての算定方法、開示すべき情報の範囲及び開示の方法並びに作成すべき財務書類につき、締約国において特定の時に、一般的に認められている、又は十分に権威のある支持を得ている会計原則をいう。これらの規程は、一般的に適用される概括的な指針をもって足りるが、詳細な手続及び慣行であることを妨げない。

(f) 「輸入者」とは、輸入締約国に産品を輸入する者をいう。

(g) 「間接材料」とは、他の産品の生産、試験若しくは検査に使用される産品（当該他の産品に物理的に組み込まれないものに限る。）又は他の産品の生産に関連する建物の維持若しくは設備の稼働のために使用される産品をいい、次のものを含む。

- (i) 燃料及びエネルギー
- (ii) 工具、ダイス及び鋳型
- (iii) 設備及び建物の維持のために使用される予備部品及び産品
- (iv) 生産の過程で使用され、又は設備及び建物の稼働のために使用される潤滑剤、グリース、コンパウンド材その他の産品
- (v) 手袋、眼鏡、履物、衣類、安全のための設備及び備品
- (vi) 試験又は検査に使用される設備、装置及び備品
- (vii) 触媒及び溶剤
- (viii) 他の産品に組み込まれていないその他の産品であつて、当該他の産品の生産における使用が当該生産の一部であると合理的に示すことのできるもの

(h) 「材料」とは、他の産品の生産に使用される産品をいう。

ブルネイとの経済連携協定

(e) "Generally Accepted Accounting Principles" means the recognised consensus or substantial authoritative support within a Party at a particular time as to which economic resources and obligations should be recorded as assets and liabilities, which changes in assets and liabilities should be recorded, how the assets and liabilities and changes in them should be measured, what information should be disclosed and how it should be disclosed, and which financial statements should be prepared. These standards may be broad guidelines of general application as well as detailed practices and procedures;

(f) "importer" means a person who imports a good into the importing Party;

(g) "indirect materials" means goods used in the production, testing or inspection of another good but not physically incorporated into the good, or goods used in the maintenance of buildings or the operation of equipment associated with the production of another good, including:

- (i) fuel and energy;
- (ii) tools, dies and moulds;
- (iii) spare parts and goods used in the maintenance of equipment and buildings;
- (iv) lubricants, greases, compounding materials and other goods used in production or used to operate equipment and buildings;
- (v) gloves, glasses, footwear, clothing, safety equipment and supplies;
- (vi) equipment, devices and supplies used for testing or inspection;
- (vii) catalysts and solvents; and
- (viii) any other goods that are not incorporated into another good but whose use in the production of the good can reasonably be demonstrated to be a part of that production;

(h) "material" means a good that is used in the production of another good;

- (i) 「締約国の原産材料」とは、締約国の原産品であつて、当該締約国において他の製品の生産に使用されるもの（第二十五条１の規定に従つて当該締約国の原産材料とみなすものを含む。）をいう。
- (j) 「船積み用のこん包材料及びこん包容器」とは、産品を輸送中に保護するために使用される産品であつて、第三十四条に規定する小売用の包装材料及び包装容器以外のものをいう。
- (k) 「関税上の特惠待遇」とは、第十六条１の規定に従つて輸出締約国の原産品について適用する関税率をいう。
- (l) 「生産」とは、産品を得る方法をいい、製造、組立て、加工、成育、栽培、繁殖、採掘、抽出、収穫、漁ろう、わなかけ、採集、収集、狩猟及び捕獲を含む。

第二十四条 原産品

- 1 この章に別段の定めがある場合を除くほか、次のいずれかの産品は、締約国の原産品とする。
 - (a) 当該締約国において完全に得られ、又は生産される産品であつて、２に定めるもの
 - (b) 当該締約国の原産材料のみから当該締約国において完全に生産される産品
 - (c) 非原産材料を使用して当該締約国において完全に生産される産品であつて、附属書二に定める品目別規則及びこの章の他のすべての関連する要件を満たすもの
- 2 1(a)の規定の適用上、次に掲げる産品は、締約国において完全に得られ、又は生産される産品とする。
 - (a) 生きている動物であつて、当該締約国において生まれ、かつ、成育されたもの
 - (b) 当該締約国において狩猟、わなかけ、漁ろう、採集又は捕獲により得られる動物
 - (c) 当該締約国において生きている動物から得られる産品

- (1) "originating material of a Party" means an originating good of a Party which is used in the production of another good in the Party, including that which is considered as an originating material of the Party pursuant to paragraph 1 of Article 25;

- (j) "packing materials and containers for shipment" means goods that are used to protect a good during transportation, other than packaging materials and containers for retail sale referred to in Article 34;

- (k) "preferential tariff treatment" means the rate of customs duties applicable to an originating good of the exporting Party in accordance with paragraph 1 of Article 16; and

- (l) "production" means a method of obtaining goods including manufacturing, assembling, processing, raising, growing, breeding, mining, extracting, harvesting, fishing, trapping, gathering, collecting, hunting and capturing.

Article 24
Originating Goods

- 1. Except as otherwise provided for in this Chapter, a good shall qualify as an originating good of a Party where:
 - (a) the good is wholly obtained or produced entirely in the Party, as defined in paragraph 2;
 - (b) the good is produced entirely in the Party exclusively from originating materials of the Party; or
 - (c) the good satisfies the product specific rules set out in Annex 2, as well as all other applicable requirements of this Chapter, when the good is produced entirely in the Party using non-originating materials.
- 2. For the purposes of subparagraph 1(a), the following goods shall be considered as being wholly obtained or produced entirely in a Party:
 - (a) live animals born and raised in the Party;
 - (b) animals obtained by hunting, trapping, fishing, gathering or capturing in the Party;
 - (c) goods obtained from live animals in the Party;

- (d) 当該締約国において収穫され、採取され、又は採集される植物及び植物性生産品
- (e) 当該締約国において抽出され、又は得られる鉱物その他の天然の物質 (a) から (d) までは規定するものを除く。)
- (f) 当該締約国の船舶により、両締約国の領海外の海から得られる水産物その他の生産品
- (g) 当該締約国の領海外における当該締約国の工船上において (f) に規定する生産品から生産される生産品
- (h) 当該締約国の領海外の海底又はその下から得られる生産品。ただし、当該締約国が、千九百八十二年十二月十日にモンテゴ・ベイで作成された海洋法に関する国際連合条約に基づき、当該海底又はその下を開発する権利を有することを条件とする。
- (i) 当該締約国において収集される生産品であつて、当該締約国において本来の目的を果たすことができず、回復又は修理が不可能であり、かつ、処分又は部品若しくは原材料の回収のみに適するもの
- (j) 当該締約国における製造若しくは加工作業又は消費から生ずるくず及び廃品であつて、処分又は原材料の回収のみに適するもの
- (k) 本来の目的を果たすことができず、かつ、回復又は修理が不可能な生産品から、当該締約国において回収される部品又は原材料
- (l) 当該締約国において (a) から (k) までは規定する生産品のみから得られ、又は生産される生産品
- 3 1 (c) の規定の適用上、使用される材料について関税分類の変更が行われ、又は特定の製造若しくは加工作業が行われることを求める附属書二に定める品目別規則は、非原産材料についてのみ適用する。

- (d) plants and plant products harvested, picked or gathered in the Party;
- (e) minerals and other naturally occurring substances, not included in subparagraphs (a), (b), (c) and (d), extracted or taken in the Party;
- (f) goods of sea-fishing and other goods taken by vessels of the Party from the sea outside the territorial sea of the Parties;
- (g) goods produced on board factory ships of the Party, outside the territorial sea of the Party from the goods referred to in subparagraph (f);
- (h) goods taken from the sea-bed or subsoil beneath the sea-bed outside the territorial sea of the Party, provided that the Party has rights to exploit such sea-bed or subsoil in accordance with the provisions of the United Nations Convention on the Law of the Sea, done at Montego Bay, December 10, 1982;
- (i) articles collected in the Party which can no longer perform their original purpose in the Party nor are capable of being restored or repaired and which are fit only for disposal or for the recovery of parts or raw materials;
- (j) scrap and waste derived from manufacturing or processing operations or from consumption in the Party and fit only for disposal or for the recovery of raw materials;
- (k) parts or raw materials recovered in the Party from articles which can no longer perform their original purpose nor are capable of being restored or repaired; and
- (l) goods obtained or produced in the Party exclusively from the goods referred to in subparagraphs (a), (b), (c), (d), (e), (f), (g), (h), (i), (j) and (k).
3. For the purposes of subparagraph 1(c), the product specific rules set out in Annex 2 requiring that the materials used undergo a change in tariff classification or a specific manufacturing or processing operation shall apply only to non-originating materials.

ブルネイとの経済連携協定

- 4 (a) 1 (c)の規定の適用上、附属書二に定める品目別規則において付加価値基準を用いる場合には、(b)の規定に従って算定される商品の原産資格割合が当該商品の品目別規則に定める割合以上であることを要件とする。

- (b) 商品の原産資格割合は、次の計算式により算定する。

$$QVC = \frac{FOB - VNM}{FOB} \times 100$$

この場合において、

「QVC」とは、百分率で表示される商品の原産資格割合をいう。

「FOB」とは、5に規定する場合を除くほか、輸送の方法を問わず、商品の買手から当該商品の売手に支払われる当該商品の本船渡しの際に軽減され、免除され、又は払い戻された内国税を含まない。

「VNM」とは、商品の生産において使用されるすべての非原産材料の価額をいう。

- 5 (a) 商品の本船渡しの際に存在するが、その価額が不明で確認することができない場合には、4 (b)に規定するFOBは、当該商品の買手から当該商品の生産者への確認可能な最初の支払に係る価額に調整される価額とする。

- (b) 商品の本船渡しの際に存在しない場合には、4 (b)に規定するFOBは、関税評価協定第一条から第八条までの規定に従って決定される価額とする。

- 6 4 (b)の規定に従って原産資格割合を算定するに当たり、締約国における商品の生産に使用される非原産材料の価額は、次のいずれかの価額とする。

4. (a) For the purposes of subparagraph 1(c), the product specific rules set out in Annex 2 using the value-added method require that the qualifying value content of a good, calculated in accordance with subparagraph (b), is not less than the percentage specified by the rule for the good.

- (b) For the purposes of calculating the qualifying value content of a good, the following formula shall be applied:

$$Q.V.C. = \frac{F.O.B. - V.N.M.}{F.O.B.} \times 100$$

Where:

Q.V.C. is the qualifying value content of a good, expressed as a percentage;

F.O.B. is, except as provided for in paragraph 5, the free-on-board value of a good payable by the buyer of the good to the seller of the good, regardless of the mode of shipment, not including any internal excise taxes reduced, exempted, or repaid when the good is exported; and

V.N.M. is the value of non-originating materials used in the production of a good.

5. F.O.B. referred to in subparagraph 4(b) shall be the value:

- (a) adjusted to the first ascertainable price paid for a good from the buyer to the producer of the good, if there is free-on-board value of the good, but it is unknown and cannot be ascertained; or

- (b) determined in accordance with Articles 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 and 8 of the Agreement on Customs Valuation, if there is no free-on-board value of a good.

6. For the purposes of calculating the qualifying value content of a good under subparagraph 4(b), the value of a non-originating material used in the production of the good in a Party:

累
積

(a) 関税評価協定に従って決定される価額であつて、当該産品の生産者の所在する締約国の輸入港に当該非原産材料を輸送するために要する運賃、適当な場合の保険料、こん包費その他のすべての費用を含むもの

(b) 当該非原産材料の価額が不明で確認することができない場合には、当該非原産材料についての当該締約国における確認可能な最初の支払に係る価額。ただし、当該非原産材料の供給者の倉庫から当該産品の生産者の所在地まで当該非原産材料を輸送するために当該締約国において要する運賃、保険料、こん包費その他のすべての費用及び当該締約国において要する他の費用（一般的に認められており、かつ、確認可能なものに限り。）を除外することができ。

7 産品が締約国の原産品であるかを決定するため4(b)の規定に従つて原産資格割合を算定するに当たり、当該産品のV.N.M.には、当該産品の生産に当たつて使用される当該締約国の原産材料の生産において使用される非原産材料の価額を含めない。

8 5(b)又は6(a)の規定の適用において産品又は非原産材料の価額を決定するために関税評価協定を適用するに当たり、関税評価協定は、必要な変更を加えて、国内取引の場合又は当該産品若しくは非原産材料の取引が存在しない場合について適用する。

第二十五条 累積

1 産品が一方の締約国の原産品であるかを決定するに当たり、当該一方の締約国において当該産品を生産するための材料として使用される他方の締約国の原産品は、当該一方の締約国の原産材料とみなすことができる。

2 産品が締約国の原産品であるかを決定するため前条4(b)の規定に従つて原産資格割合を算定するに当たり、いずれかの締約国において生産され、かつ、当該産品の生産に使用される非原産材料の価額は、当該非原産材料の生産に使用される非原産材料の価額に限定することができる。ただし、これにより、当該産品が同条1(c)の規定に従つて当該締約国の原産品となることを条件とする。

(a) shall be determined in accordance with the Agreement on Customs Valuation, and shall include freight, insurance where appropriate, packing and all the other costs incurred in transporting the material to the importation port in the Party where the producer of the good is located; or

(b) if such value is unknown and cannot be ascertained, shall be the first ascertainable price paid for the material in the Party, but may exclude all the costs incurred in the Party in transporting the material from the warehouse of the supplier of the material to the place where the producer is located such as freight, insurance and packing as well as any other known and ascertainable cost incurred in the Party.

7. For the purposes of calculating the qualifying value content of a good under subparagraph 4(b) in determining whether the good qualifies as an originating good of a Party, V.N.M. of the good shall not include the value of non-originating materials used in the production of originating materials of the Party which are used in the production of the good.

8. For the purposes of subparagraph 5(b) or 6(a), in applying the Agreement on Customs Valuation to determine the value of a good or non-originating material, the Agreement on Customs Valuation shall apply *mutatis mutandis* to domestic transactions or to the cases where there is no transaction of the good or non-originating material.

Article 25
Accumulation

1. For the purposes of determining whether a good qualifies as an originating good of a Party, an originating good of the other Party which is used as a material in the production of the good in the former Party may be considered as an originating material of the former Party.

2. For the purposes of calculating the qualifying value content of a good under subparagraph 4(b) of Article 24 in determining whether the good qualifies as an originating good of a Party, the value of a non-originating material produced in either Party and to be used in the production of the good may be limited to the value of non-originating materials used in the production of such non-originating material, provided that the good qualifies as an originating good of that Party under subparagraph 1(c) of Article 24.

ブルネイとの経済連携協定

第二十六条 僅少の非原産材料

附属書二に定める品目別規則の適用上、品目別規則において特定の産品について、その価額、重量又は容積による特定の割合が定められ、かつ、当該産品の生産に使用される非原産材料が全体として当該割合を超えない場合には、当該非原産材料が当該産品について適用される規則を満たしているか否かは考慮しない。

第二十七条 原産資格を与えることとならない作業

産品については、次の作業が行われることのみを理由として、附属書二に定める関税分類の変更又は特定の製造若しくは加工作業の要件を満たすものとしてはならない。

- (a) 輸送又は保管の間に産品を良好な状態に保存することを確保する作業（乾燥、冷凍、塩水漬け等）その他これに類する作業
- (b) 改裝及び仕分
- (c) 組み立てられたものを分解する作業
- (d) 瓶、ケース及び箱に結めることその他の単純な包装作業
- (e) 統一システムの解釈に関する通則²(a)の規定に従って一の産品として分類される部品及び構成品の収集
- (f) 物品を単にセットにする作業
- (g) (a)から(f)までの作業の組合せ

第二十八条 積送基準

1 他方の締約国の原産品であつて、次のいずれかの条件を満たすものは、積送基準を満たす原産品とする。

- (a) 当該他方の締約国から直接輸送されること。

Article 26
De Minimis

For the application of the product specific rules set out in Annex 2, non-originating materials used in the production of a good that do not satisfy an applicable rule for the good, shall be disregarded, provided that the totality of such materials does not exceed specific percentages in value, weight or volume of the good and such percentages are set out in the product specific rule for the good.

Article 27
Non-qualifying Operations

A good shall not be considered to satisfy the requirement of change in tariff classification or specific manufacturing or processing operation set out in Annex 2 solely by reason of:

- (a) operations to ensure the preservation of products in good condition during transport and storage (such as drying, freezing, keeping in brine) and other similar operations;
- (b) changes of packaging and breaking up and assembly of packages;
- (c) disassembly;
- (d) placing in bottles, cases, boxes and other simple packaging operations;
- (e) collection of parts and components classified as a good pursuant to Rule 2(a) of the General Rules for the Interpretation of the Harmonized System;
- (f) mere making-up of sets of articles; or
- (g) any combination of operations referred to in subparagraphs (a), (b), (c), (d), (e) and (f).

Article 28
Consignment Criteria

1. An originating good of the other Party shall be deemed to meet the consignment criteria when it is:

- (a) transported directly from the other Party; or

原産資格
を与える
こととな
らない作
業

僅少の非
原産材料

積送基準

展示会

- (b) 積替え又は一時蔵置のために一又は二以上の第三国を経由して輸送される場合にあっては、当該第三国において積卸し及び産品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業以外の作業が行われていないこと。

2 他方の締約国の原産品が1に定める積送基準を満たさない場合には、当該原産品は、当該他方の締約国の原産品とみなさない。

第二十九条 展示会

前条の規定にかかわらず、第三国における展示会の後に一方の締約国に輸入される他方の締約国の原産品であって、次の(a)及び(b)(i)又は(ii)の規定の条件を満たすものは、当該他方の締約国の原産品とする。

- (a) 当該第三国にある間、当該第三国の税関当局の監督の下に置かれていたこと。
- (b) (i) 当該第三国に直接輸送され、かつ、当該第三国から直接輸送されたこと。
- (ii) 積替え又は一時蔵置のために他の第三国を経由して輸送された場合にあっては、当該他の第三国において積卸し及び産品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業以外の作業が行われていないこと。

第三十条 組み立ててないか又は分解してある産品

1 第二十四条から第二十七条までの関連規定の要件を満たし、かつ、統一システムの解釈に関する通則2(a)の規定により完成品として分類される産品については、組み立ててないか又は分解してある状態で一方の締約国に他方の締約国から輸入される場合であっても、当該他方の締約国の原産品とみなす。

組み立ててないか
又は分解してある
産品

- (b) transported through one or more non-Parties for the purpose of transit or temporary storage in warehouses in such non-Parties, provided that it does not undergo operations other than unloading, reloading and any other operation to preserve it in good condition.

2. If an originating good of the other Party does not meet the consignment criteria referred to in paragraph 1, that good shall not be considered as an originating good of the other Party.

Article 29 Exhibitions

Notwithstanding Article 28, an originating good of a Party imported into the other Party after an exhibition in a non-Party shall continue to qualify as an originating good of the former Party when it:

- (a) remained under the control of the customs authority of the non-Party while it was in the non-Party; and
- (b) was transported:
- (i) directly to and from the non-Party; or
- (ii) through other non-Parties for the purpose of transit or temporary storage in warehouses in such other non-Parties, provided that it did not undergo operations other than unloading, reloading and any other operation to preserve it in good condition.

Article 30 Unassembled or Disassembled Goods

1. Where a good satisfies the requirements of the relevant provisions of Articles 24, 25, 26 and 27 and is imported into a Party from the other Party in an unassembled or disassembled form but is classified as an assembled good pursuant to Rule 2(a) of the General Rules for the Interpretation of the Harmonized System, such a good shall be considered as an originating good of the other Party.

2 締約国において組み立ててないか又は分解してある製品の材料から組み立てられる製品であつて、その材料が統一システムの解釈に関する通則2(a)の規定により完成品として分類される製品として当該締約国に輸入されるものについては、当該締約国の原産品とみなす。ただし、組み立ててないか又は分解してある製品の非原産材料が組み立ててないか又は分解してある形態でなく個別に当該締約国に輸入されていたらば、当該製品が第二十四条から第二十七条までの関連規定の適用される要件を満たしていたであらう場合に限る。

第三十一条 代替性のある製品及び材料

1 在庫において混在している代替性のある締約国の原産材料及び非原産材料が製品の生産に使用される場合において、当該製品が当該締約国の原産品であるかを決定するときは、これらの材料が当該締約国の原産材料であるか否かについては、当該締約国において一般的に認められている会計原則に基づく在庫管理方式に従つて決定することができる。

2 代替性のある締約国の原産品及び非原産品が在庫において混在している場合において、これらの製品が在庫において混在している当該締約国において輸出に先立っていかなる生産工程も経ず、又はいかなる作業（積卸し又はこれらの製品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業を除く。）も行われなるときは、これらの製品が当該締約国の原産品であるか否かについては、当該締約国において一般的に認められている会計原則に基づく在庫管理方式に従つて決定することができる。

第三十二条 間接材料

間接材料

間接材料については、生産される場所のいかんを問わず、製品が生産される締約国の原産材料とみなす。

第三十三条 附属品、予備部品及び工具

附属品、予備部品及び工具

1 製品の生産に使用されたすべての非原産材料について附属書二に定める関連する関税分類の変更又は特定の製造若しくは加工作業が行われたか否かを決定するに当たり、当該製品とともに納入される附属品、予備部品又は工具であつて、当該製品の標準的な附属品、予備部品又は工具の一部を成すものについては、次の(a)及び(b)の規定の要件を満たす場合には、考慮しない。

2. A good assembled in a Party from unassembled or disassembled materials, which were imported into the Party and classified as an assembled good pursuant to Rule 2(a) of the General Rules for the Interpretation of the Harmonized System, shall be considered as an originating good of the Party, provided that the good would have satisfied the applicable requirements of the relevant provisions of Articles 24, 25, 26 and 27 had each of the non-originating materials among the unassembled or disassembled materials been imported into the Party separately and not as an unassembled or disassembled form.

Article 31 Fungible Goods and Materials

1. For the purposes of determining whether a good qualifies as an originating good of a Party, where fungible originating materials of the Party and fungible non-originating materials that are commingled in an inventory are used in the production of the good, the origin of the materials may be determined pursuant to an inventory management method under the Generally Accepted Accounting Principles in the Party.

2. Where fungible originating goods of a Party and fungible non-originating goods are commingled in an inventory and, prior to exportation do not undergo any production process or any operation in the Party where they were commingled other than unloading, reloading and any other operation to preserve them in good condition, the origin of the good may be determined pursuant to an inventory management method under the Generally Accepted Accounting Principles in the Party.

Article 32 Indirect Materials

Indirect materials shall be, without regard to where they are produced, considered to be originating materials of a Party where the good is produced.

Article 33 Accessories, Spare Parts and Tools

1. In determining whether all the non-originating materials used in the production of a good undergo the applicable change in tariff classification or a specific manufacturing or processing operation set out in Annex 2, accessories, spare parts or tools delivered with the good that form part of the good's standard accessories, spare parts or tools, shall be disregarded, provided that:

(a) 当該附属品、予備部品又は工具が仕入書において当該産品と別に記載されるか否かにかかわらず、当該附属品、予備部品又は工具に係る仕入書が当該産品の仕入書と別立てにされないこと。

(b) 当該附属品、予備部品又は工具の数量及び価額が当該産品について慣習的なものであること。

2 産品が原産資格割合の要件となる場合には、当該産品の原産資格割合を算定するに当たり、附属品、予備部品又は工具の価額を、場合に応じて当該産品が生産される締約国の原産材料又は非原産材料の価額として考慮する。

第三十四条 小売用の包装材料及び包装容器

1 産品の生産に使用されたすべての非原産材料について附属書二に定める関連する関税分類の変更又は特定の製造若しくは加工作業が行われたか否かを決定するに当たり、小売用の包装材料及び包装容器であつて、統一システムの解釈に関する通則5の規定に従つて当該産品に含まれるものとして分類されるものについては、考慮しない。

2 産品が原産資格割合の要件となる場合には、当該産品の原産資格割合を算定するに当たり、当該産品の小売用の包装材料及び包装容器の価額を、場合に依つて当該産品が生産される締約国の原産材料又は非原産材料の価額として考慮する。

第三十五条 船積み用のこん包材料及びこん包容器

船積み用のこん包材料及びこん包容器については、次のとおりとする。

(a) 産品の生産に使用されたすべての非原産材料について附属書二に定める関連する関税分類の変更又は特定の製造若しくは加工作業が行われたか否かを決定するに当たつて考慮しない。

(b) 産品の原産資格割合を算定するに当たつて考慮しない。

(a) the accessories, spare parts or tools are not invoiced separately from the good, without regard of whether they are separately described in the invoice; and

(b) the quantities and value of the accessories, spare parts or tools are customary for the good.

2. If a good is subject to a qualifying value content requirement, the value of the accessories, spare parts or tools shall be taken into account as the value of originating materials of a Party where the good is produced or non-originating materials, as the case may be, in calculating the qualifying value content of the good.

Article 34

Packaging Materials and Containers for Retail Sale

1. In determining whether all the non-originating materials used in the production of a good undergo the applicable change in tariff classification or a specific manufacturing or processing operation set out in Annex 2, packaging materials and containers for retail sale, which are classified with the good pursuant to Rule 5 of the General Rules for the Interpretation of the Harmonized System, shall be disregarded.

2. If a good is subject to a qualifying value content requirement, the value of packaging materials and containers for retail sale shall be taken into account as the value of originating materials of a Party where the good is produced or non-originating materials, as the case may be, in calculating the qualifying value content of the good.

Article 35

Packing Materials and Containers for Shipment

Packing materials and containers for shipment shall be disregarded:

(a) in determining whether all the non-originating materials used in the production of a good undergo the applicable change in tariff classification or a specific manufacturing or processing operation set out in Annex 2; and

(b) in calculating the qualifying value content of a good.

小売用の
包装材料
及び包装
容器

船積み用
のこん包
材料及び
こん包容
器

ブルネイとの経済連携協定

第三十六条 関税上の特恵待遇の要求

関税上の
特恵待遇
の要求

- 1 輸入締約国は、関税上の特恵待遇を要求する輸入者に対して、輸出締約国の原産品についての原産地証明書の提出を要求する。
- 2 1の規定にかかわらず、輸入締約国は、次に掲げる輸入については原産地証明書の提出を要求しない。
 - (a) その課税価額が二百アメリカ合衆国ドル若しくは当該輸入締約国の通貨によるその相当額又は当該輸入締約国が設定するこれよりも高い額を超えない輸出締約国の原産品の輸入（ただし、当該輸入が原産地証明書に関する義務を回避することを目的として行われたと合理的に認め得る輸入の一部を構成しないことを条件とする。）
- (b) 当該輸入締約国が原産地証明書に関する義務を免除した輸出締約国の原産品の輸入
- 3 輸出締約国の原産品が第三国における展示会の後に輸入される場合には、輸入締約国は、当該原産品について関税上の特恵待遇を要求する輸入者に対して、次の(a)及び(b)(i)又は(ii)に定めるものの提出を要求することができる。
 - (a) 当該第三国の税関当局その他の関連する主体が提供する証明書その他の情報であって、当該原産品が第二十九条(a)の規定の条件を満たすことを証明するもの
 - (b) (i) 通し船荷証券の写し
(ii) 当該原産品が他の第三国を経由して輸送された場合には、当該他の第三国の税関当局その他の関連する主体が提供する証明書その他の情報であって、当該他の第三国において積卸し及び産品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業以外の作業が当該原産品について行われていないことを証明するもの

一八四

Article 36
Claim for Preferential Tariff Treatment

1. The importing Party shall require a certificate of origin for an originating good of the exporting Party from importers who claim the preferential tariff treatment for the good.
2. Notwithstanding paragraph 1, the importing Party shall not require a certificate of origin from importers for:
 - (a) an importation of originating goods of the exporting Party whose aggregate customs value does not exceed 200 United States dollars or its equivalent amount in the Party's currency, or such higher amount as it may establish, provided that the importation does not form part of importations that may reasonably be considered to have been made separately for the purpose of avoiding the requirement for a certificate of origin; or
 - (b) an importation of an originating good of the exporting Party, for which the importing Party has waived the requirement for a certificate of origin.
3. In the case where an originating good of the exporting Party is imported after an exhibition in a non-Party, the importing Party may require importers, who claim the preferential tariff treatment for the good, to submit:
 - (a) a certificate or any other information given by the customs authority of that non-Party or other relevant entities, which evidences that the good meets the requirements of subparagraph(a) of Article 29; and
 - (b) (i) a copy of through bill of lading; or
(ii) if the good was transported through other non-Parties, a certificate or any other information given by the customs authorities of such other non-Parties or other relevant entities, which evidences that the good has not undergone operations other than unloading, reloading and any other operation to preserve it in good condition in those other non-Parties.

4 3に規定する場合を除くほか、輸出締約国の原産品が一又は二以上の第三国を経由して輸入される場合には、輸入締約国は、当該原産品について関税上の特惠待遇を要求する輸入者に対して、次のいずれかのものの提出を要求することができる。

- (a) 通し船荷証券の写し
- (b) 当該第三国の税関当局その他の関連する主体が提供する証明書その他の情報であつて、当該第三国において積卸し及び産品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業以外の作業が当該原産品について行われていないことを証明するもの

第三十七条 原産地証明書

1 前条1に規定する原産地証明書は、輸出者又は権限を与えられたその代理人によつて行われる書面による申請に基づき、輸出締約国の権限のある政府当局が発給する。当該原産地証明書には、附属書三に定める事項についての記載を必ず含めるものとする。

2 輸出締約国の権限のある政府当局は、この条の規定の実施のために、自国の関係法令により与えられた権限に基づき、原産地証明書の発給について責任を負う政府以外の団体を指定することができる。

3 輸出締約国の権限のある政府当局が政府以外の団体を原産地証明書を発給するものとして指定する場合には、当該輸出締約国は、輸入締約国に対し書面により当該政府以外の団体（以下この章において「指定団体」という。）を通報する。

4 両締約国は、この章の規定の実施のために、この協定の効力発生の日に第四十五条に規定する運用上の手続規則において英語による各締約国の原産地証明書の様式を定める。

5 原産地証明書は、英語で記入する。

6 輸出締約国の権限のある政府当局は、当該権限のある政府当局又はその指定団体が使用する署名の見本及び印章の図案を輸入締約国に提供する。

4. Where an originating good of the exporting Party is imported through one or more non-Parties except for the case referred to in paragraph 3, the importing Party may require importers, who claim the preferential tariff treatment for the good, to submit:

- (a) a copy of through bill of lading; or
- (b) a certificate or any other information given by the customs authorities of such non-Parties or other relevant entities, which evidences that the good has not undergone operations other than unloading, reloading and any other operation to preserve it in good condition in those non-Parties.

Article 37
Certificate of Origin

1. A certificate of origin referred to in paragraph 1 of Article 36 shall be issued by the competent governmental authority of the exporting Party on request having been made in writing by the exporter or its authorised agent. Such certificate of origin shall include minimum data specified in Annex 3.

2. For the purposes of this Article, the competent governmental authority of the exporting Party may designate other entities or bodies to be responsible for the issuance of certificate of origin, under the authorisation given in accordance with the applicable laws and regulations of the exporting Party.

3. Where the competent governmental authority of the exporting Party designates other entities or bodies to carry out the issuance of certificate of origin, the exporting Party shall notify in writing the other Party of its designees.

4. For the purposes of this Chapter, upon the entry into force of this Agreement, the Parties shall establish each Party's format of certificate of origin in the English language in the Operational Procedures referred to in Article 45.

5. A certificate of origin shall be completed in the English language.

6. The competent governmental authority of the exporting Party shall provide the other Party with specimen signatures and impressions of stamps used in the offices of the competent governmental authority of the exporting Party or its designees.

ブルネイとの経済連携協定

- 7 発給された原産地証明書は、輸入締約国への輸出締約国の原産品の一回限りの輸入について適用されかつ、当該原産地証明書が発給された日の後十二箇月間有効なものとする。
- 8 産品の輸出者が当該産品の生産者でない場合には、当該輸出者は、次のいずれかの申告書に基づいて原産地証明書の発給を申請することができる。
 - (a) 当該輸出者が輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体に提出する申告書であつて、当該産品の生産者が当該輸出者に提供する情報に基づくもの
 - (b) 当該輸出者の要請により、当該産品の生産者が輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体に直接かつ任意に提出する申告書
- 9 原産地証明書は、当該原産地証明書の発給を申請する輸出者又は輸出締約国に所在する産品の生産者であつて8(b)に規定するものが、輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体に對し、輸出される産品が当該輸出締約国の原産品であることを証明した後によりのみ発給される。
- 10 各締約国は、輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体が、その発給した原産地証明書についての記録を当該原産地証明書の発給の日の後三年間保管することを確保する。当該記録には、輸出締約国の原産品であることを証明するために提示されたすべての文書等を含める。

第三十八条 事前教示

輸入締約国は、輸出締約国の産品の輸入者、輸出者、輸出締約国に所在する産品の生産者又は権限を与えられたこれらの代理人が必要なすべての情報とともに書面による申請を行う場合には、当該産品が輸出締約国の原産品に当たるか否かについて、当該産品の輸入に先立ち、書面により事前の教示を行うよう努める。

7. An issued certificate of origin shall be applicable to a single importation of originating goods of the exporting Party into the importing Party and be valid for 12 months from the date of issuance.
8. Where the exporter of a good is not the producer of the good in the exporting Party, the exporter may request a certificate of origin on the basis of:
 - (a) a declaration provided by the exporter to the competent governmental authority of the exporting Party or its designees based on the information provided by the producer of the good to that exporter; or
 - (b) a declaration voluntarily provided by the producer of the good directly to the competent governmental authority of the exporting Party or its designees by the request of the exporter.
9. A certificate of origin shall be issued only after the exporter who requests the certificate of origin, or the producer of a good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b), proves to the competent governmental authority of the exporting Party or its designees that the good to be exported qualifies as an originating good of the exporting Party.
10. Each Party shall ensure that the competent governmental authority of the exporting Party or its designees shall keep a record of issued certificate of origin for a period of three years after the date on which the certificate was issued. Such record will include all antecedents, which were presented to prove the qualification as an originating good of the exporting Party.

Article 38 Advance Rulings

The importing Party shall endeavour to, prior to the importation of a good, issue a written advance ruling as to whether the good to be imported qualifies as an originating good of the exporting Party to importers of the good of the exporting Party or their authorised agents and exporters and producers of the good in the exporting Party or their authorised agents, where a written application is made with all the necessary information.

輸出に関する義務

第三十九条 輸出に関する義務

各締約国は、原産地証明書の発給を受けた輸出者又は輸出締約国に所在する製品の生産者であつて第二十七条8(b)に規定するものが、次の事項を行うことを自国の法令に従つて確保する。

- (a) 産品が当該輸出締約国の原産品でないことを知ったときは、当該輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体に対し書面により遅滞なく通報すること。
- (b) 当該原産地証明書の発給の日の後三年間、産品が輸出締約国の原産品であることを関する記録を保管すること。

第四十条 原産地証明書に基づく確認の要請

1 輸入締約国の関係当局は、原産地証明書が真正なものであること又は原産地証明書に含まれる情報が正確なものであることについて合理的な疑いがある場合には、関税上の特惠待遇を与えられて輸出締約国から輸入される産品が当該輸出締約国の原産品であるか否かを決定するため、当該輸出締約国の権限のある政府当局に対し、当該産品が当該輸出締約国の原産品であるか否かに関する情報を原産地証明書に基づいて要請することができる。

注釈 この条から第四十三条までの規定の適用上、「輸入締約国の関係当局」とは、

- (a) ブルネイ・ダルサラーム国については、外務貿易省をいう。
 - (b) 日本国については、財務省をいう。
- 2 輸出締約国の権限のある政府当局は、1の規定の実施のために、自国の法令に従い、要請された情報を当該要請の受領の日の後三箇月以内に提供する。

Article 39
Obligations regarding Exportations

Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, ensure that the exporter to whom a certificate of origin has been issued, or the producer of a good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b) of Article 37:

- (a) shall notify in writing the competent governmental authority of the exporting Party or its designees without delay when such exporter or producer knows that such good does not qualify as an originating good of the exporting Party; and
- (b) shall keep the records relating to the origin of the good for three years after the date on which the certificate of origin was issued.

Article 40
Request for Checking of Certificate of Origin

1. For the purposes of determining whether a good imported from the other Party under preferential tariff treatment qualifies as an originating good of the other Party, the relevant authority of the importing Party may request information relating to the origin of the good from the competent governmental authority of the exporting Party on the basis of the certificate of origin, where it has reasonable doubt as to the authenticity of the certificate of origin or the accuracy of the information included in the certificate of origin.

Note: For the purposes of Articles 40, 41, 42 and 43, "relevant authority of the importing Party" means:

- (a) in the case of Brunei Darussalam, the Ministry of Foreign Affairs and Trade; and
 - (b) in the case of Japan, the Ministry of Finance.
2. For the purposes of paragraph 1, the competent governmental authority of the exporting Party shall, in accordance with the laws and regulations of the Party, provide the information requested in a period not exceeding three months after the date of receipt of the request.

ブルネイとの経済連携協定

輸入締約国の関係当局は、必要と認める場合には、産品が輸出締約国の原産品であるか否かに関する追加の情報を要請することができる。輸出締約国の権限のある政府当局は、輸入締約国の関係当局が追加の情報を要請する場合には、自国の法令に従い、要請された情報を当該要請の受領の日の後二箇月以内に提供する。

3 輸出締約国の権限のある政府当局は、2の規定の実施のために、原産地証明書の発給を受けた輸出者又は当該輸出締約国に所在する産品の生産者であって第三十七条8(b)に規定するものに対し、輸入締約国の関係当局から要請された情報を提供するように要請することができる。

第四十一条 原産品であるか否かについての確認のための訪問

1 輸入締約国の関係当局は、前条に規定する原産地証明書に基づく確認の要請の結果に満足しない場合には、次の事項を行うことができる。

(a) 輸出締約国の権限のある政府当局が当該輸入締約国の立会いの下に原産地証明書の発給を受けた輸出者又は当該輸出締約国に所在する産品の生産者であって第三十七条8(b)に規定するものの施設を訪問することを通じて、産品が当該輸出締約国の原産品であるか否かに関する情報を収集し、及び提供すること並びにそのため当該産品の生産に使用された設備の確認を行うことを、当該輸出締約国に対して要請すること。

(b) 産品が輸出締約国の原産品であるか否かに関する情報であって、当該輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体が所持するものを提供することを、当該輸出締約国に対して(a)に規定する訪問の間又はその後には要請すること。

2 輸入締約国の関係当局は、1の規定による訪問の実施を輸出締約国に対して要請する場合には、そのような要請を行うための書面を、訪問の実施を希望する日の少なくとも四十日前までに受領の確認を伴う方法により当該輸出締約国に送付する。当該輸出締約国の権限のある政府当局は、その施設に訪問を受ける輸出者又は当該輸出締約国に所在する産品の生産者に対し、訪問を受けることについて同意するか否かの書面による回答を求める。

If the relevant authority of the importing Party considers necessary, it may require additional information relating to the origin of the good. If additional information is requested by the relevant authority of the importing Party, the competent governmental authority of the exporting Party shall, in accordance with the laws and regulations of the exporting Party, provide the information requested in a period not exceeding two months after the date of receipt of the request.

3. For the purposes of paragraph 2, the competent governmental authority of the exporting Party may request the exporter to whom the certificate of origin has been issued, or the producer of the good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b) of Article 37, to provide the former with the information requested.

Article 41
Verification Visit

1. If the relevant authority of the importing Party is not satisfied with the outcome of the request for checking pursuant to Article 40, it may request the exporting Party to:

(a) collect and provide information relating to the origin of a good and check, for that purpose, the facilities used in the production of the good, through a visit by the competent governmental authority of the exporting Party along with the relevant authority of the importing Party to the premises of the exporter to whom the certificate of origin has been issued, or the producer of the good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b) of Article 37; and

(b) provide information relating to the origin of the good in the possession of the competent governmental authority of the exporting Party or its designees during or after the visit pursuant to subparagraph (a).

2. When requesting the exporting Party to conduct a visit pursuant to paragraph 1, the relevant authority of the importing Party shall deliver a written communication with such request to the exporting Party at least 40 days in advance of the proposed date of the visit, the receipt of which is to be confirmed by the exporting Party. The competent governmental authority of the exporting Party shall request the written consent of the exporter, or the producer of the good in the exporting Party whose premises are to be visited.

- 3 2の規定により送付される書面には、次の事項に関する情報を含める。
- (a) 当該書面を送付する輸入締約国の関係当局を特定する事項
 - (b) その施設への訪問が要請される輸出者又は輸出締約国に所在する製品の生産者の氏名又は名称
 - (c) 訪問の実施を希望する日及び場所
 - (d) 訪問の目的及び実施の範囲（確認の対象となっている原産地証明書記載の製品の明記を含む。）
 - (e) 訪問に立ち会う輸入締約国の関係当局の職員の名及び官職
- 4 輸出締約国は、1の規定に基づいて要請される訪問の実施を承諾するか否かを、2の規定により送付される書面を受領した日から三十日以内に輸入締約国に対して書面により回答する。
- 5 輸出締約国の権限のある政府当局は、自国の法令に従い、訪問の最終日から四十五日以内又は相互に同意するその他の期間内に、1の規定に基づいて収集した情報を輸入締約国の関係当局に提供する。
- 6 (a) 輸入締約国の関係当局は、緊急であると認める場合には、前条に規定する原産地証明書に基づいて確認の要請の前又はその間に、輸出締約国に対し1に規定する要請を行うことができる。
- (b) (a)に規定する要請を行う場合には、前条の規定は、適用しない。

3. The communication referred to in paragraph 2 shall include:
- (a) the identity of the relevant authority of the importing Party issuing the communication;
 - (b) the name of the exporter, or the producer of the good in the exporting Party, whose premises are requested to be visited;
 - (c) the proposed date and place of the visit;
 - (d) the objective and scope of the proposed visit, including specific reference to the good subject of the verification referred to in the certificate of origin; and
 - (e) the names and titles of the officials of the relevant authority of the importing Party to be present during the visit.
4. The exporting Party shall respond in writing to the importing Party, within 30 days of the receipt of the communication referred to in paragraph 2, if it accepts or refuses to conduct the visit requested pursuant to paragraph 1.
5. The competent governmental authority of the exporting Party shall, in accordance with the laws and regulations of the Party, provide within 45 days or any other mutually agreed period from the last day of the visit, to the relevant authority of the importing Party the information obtained pursuant to paragraph 1.
6. (a) In cases where the relevant authority of the importing Party considers as urgent, that relevant authority may, before or during the request for checking referred to in Article 40, make a request referred to in paragraph 1 to the exporting Party.
- (b) Where the request referred to in subparagraph (a) is made, Article 40 shall be no longer applied.

ブルネイとの経済連携協定

第四十二条 原産品であるか否かについての決定及び関税上の特惠待遇に係る決定

原産品であるか否か
にかつ、
特定の
待遇に
待たず
決定
係

- 1 輸入締約国の関係当局は、輸入者がいずれかの産品について関税上の特惠待遇を要求する場合において、当該産品が輸出締約国の原産品でないとき又は当該輸入者がこの章に規定する要件を満たさないときは、当該産品に関税上の特惠待遇を与えないことができる。
- 2 輸出締約国の権限のある政府当局は、原産地証明書の発給の決定を取り消す場合には、当該原産地証明書が当該輸出締約国の権限のある政府当局に返却された場合を除くほか、当該原産地証明書の発給を受けた輸出者及び輸入締約国の関係当局に対し速やかにその取消しを通報する。当該輸入締約国の関係当局は、その通報を受領したときは、産品が当該輸出締約国の原産品でないと決定し、関税上の特惠待遇を与えないことができる。
- 3 輸入締約国の関係当局は、次のいずれかの場合には、産品が輸出締約国の原産品でないと決定し、関税上の特惠待遇を与えないことができるものとし、当該輸出締約国の権限のある政府当局に対し書面によりその旨の決定を送付する。
 - (a) 第四十条2若しくは前条5に規定する期間内に情報を提供するとの特約又は同条4に規定する期間内に同条2に規定する書面に対して回答するとの特約が満たされない場合
 - (b) 前条1(a)に規定する要請が拒否される場合
 - (c) 第四十条又は前条の規定に従い当該輸入締約国の関係当局に提供された情報が当該産品が当該輸出締約国の原産品であることを証明するために十分でない場合

一九〇

Article 42 Determination of Origin and Preferential Tariff Treatment

1. The relevant authority of the importing Party may deny preferential tariff treatment to a good for which an importer claims preferential tariff treatment where the good does not qualify as an originating good of the exporting Party or where the importer fails to comply with any of the relevant requirements of this Chapter.
2. The competent governmental authority of the exporting Party shall, when it cancels the decision to issue the certificate of origin, promptly notify the cancellation to the exporter to whom the certificate of origin has been issued, and to the relevant authority of the importing Party except where the certificate has been returned to the competent governmental authority of the exporting Party. The relevant authority of the importing Party may determine that the good does not qualify as an originating good of the exporting Party and may deny preferential tariff treatment when it receives the notification.
3. The relevant authority of the importing Party may determine that a good does not qualify as an originating good of the exporting Party and may deny preferential tariff treatment, and a written determination thereof shall be sent to the competent governmental authority of the exporting Party:
 - (a) where the requirements to provide the information within the period referred to in paragraph 2 of Article 40 or paragraph 5 of Article 41 or to respond to the communication referred to in paragraph 2 of Article 41 within the period referred to in paragraph 4 of Article 41 are not met;
 - (b) where the request referred to in subparagraph 1(a) of Article 41 is refused; or
 - (c) where the information provided to the relevant authority of the importing Party pursuant to Article 40 or 41, is not sufficient to prove that the good qualifies as an originating good of the exporting Party.

秘密性

4 輸入締約国の関係当局は、場合に依じて第四十条又は前条に規定する手続を実施した後、輸出締約国の権限のある政府当局に対し、産品が当該輸出締約国の原産品であるか否かについての書面による決定(当該決定に係る事実認定及び法的根拠を含む。)を送付する。当該輸出締約国の権限のある政府当局は、その施設が同条に規定する訪問の対象となった輸出者又は当該輸出締約国に所在する産品の生産者に対し、当該決定を通報する。

第四十三条 秘密性

1 各締約国は、この章の規定に従って自国に秘密のものとして提供された情報の秘密性を自国の法令に従って保持するものとし、また、当該情報をその提供者の競争的地位を害するおそれのある開示から保護する。

2 輸入締約国の関係当局がこの章の規定に従って入手した情報は、

- (a) この章の規定の実施のために、当該輸入締約国の関係当局のみが利用することができる。
- (b) 外交上の経路又は輸出締約国の関係法令に従って設けられたその他の経路を通じて、当該情報の要請が行われ、かつ、当該情報が提供される場合を除くほか、当該輸入締約国によって裁判所又は裁判官の行ういかなる刑事手続においても使用されてはならない。

第四十四条 虚偽申告に対する罰則及び措置

1 各締約国は、原産地証明書の発給を受けた輸出者又は輸出締約国に所在する産品の生産者であつて第三十七条8(b)に規定するものが、原産地証明書が発給される前に虚偽の申告書その他の文書を自国の権限のある政府当局又はその指定団体に提出した場合には、自国の法令に従つて、当該輸出者及び当該生産者に対して適当な罰則その他の制裁を定め、又は維持する。

4. After carrying out the procedures outlined in Article 40 or 41 as the case may be, the relevant authority of the importing Party shall provide the competent governmental authority of the exporting Party with a written determination of whether or not the good qualifies as an originating good of the exporting Party, including findings of fact and the legal basis for the determination. The competent governmental authority of the exporting Party shall inform such determination by the relevant authority of the importing Party to the exporter, or the producer of the good in the exporting Party, whose premises were subject of the visit referred to in Article 41.

Article 43
Confidentiality

1. Each Party shall maintain, in accordance with its laws and regulations, the confidentiality of information provided to it as confidential pursuant to this Chapter, and shall protect that information from disclosure that could prejudice the competitive position of the persons providing the information.

2. Information obtained by the relevant authority of the importing Party pursuant to this Chapter:

- (a) may only be used by such authority for the purposes of this Chapter; and
- (b) shall not be used by the importing Party in any criminal proceedings carried out by a court or a judge, unless a request for the information is made to the exporting Party and such information is provided to the importing Party, through the diplomatic channels or other channels established in accordance with the applicable laws and regulations of the exporting Party.

Article 44
Penalties and Measures against False Declaration

1. Each Party shall establish or maintain, in accordance with its laws and regulations, appropriate penalties or other sanctions against its exporters to whom a certificate of origin has been issued and the producers of a good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b) of Article 37, for providing false declaration or documents to the competent governmental authority of the exporting Party or its designees prior to the issuance of certificate of origin.

虚偽申告
に対する
罰則及び
措置

2 各締約国は、原産地証明書の発給を受けた輸出者又は輸出締約国に所在する產品の生産者であつて第三十七條 8 (b) に規定するものが、原産地証明書が発給された後に產品が当該輸出締約国の原產品でないことを知つたにもかかわらず、当該輸出締約国の権限のある政府当局又はその指定団体に対し書面により遅滞なく通報すること怠つた場合には、自国の法令に従つて、当該輸出者及び当該生産者に対して適當と認める措置をとる。

第四十五條 運用上の手続規則

合同委員会は、この協定の効力發生の日に運用上の手続規則を採択する。両締約国の権限のある政府当局その他当局は、同手続規則に定める詳細な規則に従つて、この章の規定に基づく任務を遂行する。

第四十六條 雜則

1 輸入締約国と輸出締約国との間の連絡は、英語で行う。

2 附屬書二に定める関連する品目別規則の適用及び原產品であるか否かの決定に当たり、輸出締約国において一般的に認められている会計原則を適用する。

第四十七條 原産地規則に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力發生の日に、原産地規則に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

- (a) 次の事項に関し、検討し、及び必要な場合には合同委員会に対し適當な勧告を行うこと。
- (i) この章の規定の実施及び運用
- (ii) いずれかの締約国が提案する附屬書二又は附屬書三の改正

原産地規則
に関する小
委員会

雜則

運用上の
手続規則

2. Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, take measures which it considers appropriate against its exporters to whom a certificate of origin has been issued and the producers of a good in the exporting Party referred to in subparagraph 8(b) of Article 37, for failing to notify in writing to the competent governmental authority of the exporting Party or its designees without delay after having known, after the issuance of certificate of origin, that such good does not qualify as an originating good of the exporting Party.

Article 45
Operational Procedures

Upon the date of entry into force of this Agreement, the Joint Committee shall adopt the Operational Procedures that provide detailed regulations pursuant to which the competent governmental authorities and other authorities concerned of the Parties shall implement their functions under this Chapter.

Article 46
Miscellaneous

1. Communications between the importing Party and the exporting Party shall be conducted in the English language.

2. For the application of the relevant product specific rules set out in Annex 2 and the determination of origin, the Generally Accepted Accounting Principles in the exporting Party shall be applied.

Article 47
Sub-Committee on Rules of Origin

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Rules of Origin (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

2. The functions of the Sub-Committee shall be:

- (a) reviewing and making appropriate recommendations, as necessary, to the Joint Committee on:
 - (i) the implementation and operation of this Chapter;
 - (ii) any amendments to Annex 2 or 3, proposed by either Party; and

(iii) 第四十五条に規定する運用上の手続規則

- (b) この章の規定に関連する他の問題であって両締約国が合意するものについて検討すること。
- (c) 合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。
- (d) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。
- (b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。
- 4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であって、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができる。
- 5 小委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。

第四章 税関手続

第四十八条 適用範囲及び目的

- 1 この章の規定は、両締約国間で取引される物品の通関に必要な税関手続について適用する。
- 2 この章の規定は、両締約国により、各締約国の法令に従って、かつ、各締約国の税関当局の利用可能な資源の範囲内で実施される。
- 3 この章は、両締約国間の物品の貿易を円滑化するため、透明性、関税法令の適正な適用及び物品の速やかな通関を確保する枠組みを確立すること並びに税関手続の分野における協力を促進することを目的とする。

(iii) the Operational Procedures referred to in Article 45;

- (b) considering any other matter as the Parties may agree related to this Chapter;
- (c) reporting the findings of the Sub-Committee to the Joint Committee; and
- (d) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.
- 3. The Sub-Committee shall be:
 - (a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and
 - (b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.
- 4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.
- 5. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

Chapter 4

Customs Procedures

Article 48

Scope and Objectives

- 1. This Chapter shall apply to customs procedures required for the clearance of goods traded between the Parties.
- 2. This Chapter shall be implemented by the Parties in accordance with the laws and regulations of each Party and within the available resources of their respective customs authorities.
- 3. The objectives of this Chapter are to establish a framework to ensure transparency, proper application of customs laws and prompt clearance of goods and to promote cooperation in the field of customs procedures, with a view to facilitating trade in goods between the Parties.

第四十九条 定義

この章の規定の適用上、「関税法令」とは、物品の輸入、輸出及び通過に関して各締約国の税関当局が運用し、及び執行する法令であって、関税、手数料及び他の税に関するもの又は各締約国の関税領域の境界を越える規制物品の移動の禁止、制限その他これらに類する規制に関するものをいう。

第五十条 透明性

- 1 各締約国は、自国の関税法令に関して一般に利用されるすべての関連情報を、いかなる利害関係者についても、容易に利用可能なものとすることを確保する。
- 2 各締約国は、利用可能なものとされた情報を自国の関税法令の改正により修正しなければならない場合には、利害関係者が当該改正を考慮することができるよう、可能な限り当該改正の効力発生に先立って、修正される情報を容易に利用可能なものとする。
- 3 各締約国は、両締約国の利害関係者の要請があった場合には、自国の関税法令に関し当該利害関係者が提起した個別的な税関に係る事項についての情報をできる限り迅速かつ正確に提供する。各締約国は、特に要請された情報のみでなく、利害関係者が知るべきであると考えその他の適切な情報も併せて提供する。

第五十一条 通関

- 1 両締約国は、予見可能であり、かつ、一貫性及び透明性のある方法でそれぞれの税関手続を適用する。
- 2 各締約国は、両締約国間で取引される物品の速やかな通関のため、次の事項を行う。
 - (a) 情報通信技術を利用すること。
 - (b) 税関手続を簡素化すること。

Article 49
Definition

For the purposes of this Chapter, "customs laws" means such laws and regulations administered and enforced by the customs authority of each Party concerning the importation, exportation, and transit of goods, as they relate to customs duties, charges, and other taxes, or to prohibitions, restrictions, and other similar controls with respect to the movement of controlled items across the boundary of the customs territory of each Party.

Article 50
Transparency

1. Each Party shall ensure that all relevant information of general application pertaining to its customs laws is readily available to any interested person.
2. When information that has been made available must be revised due to changes in its customs laws, each Party shall make the revised information readily available, wherever possible in advance of the entry into force of the changes, to enable interested persons to take account of them.
3. At the request of any interested person of the Parties, each Party shall provide, as quickly and as accurately as possible, information relating to the specific customs matters raised by the interested person and pertaining to its customs laws. Each Party shall supply not only the information specifically requested but also any other pertinent information which it considers the interested person should be made aware of.

Article 51
Customs Clearance

1. Both Parties shall apply their respective customs procedures in a predictable, consistent and transparent manner.
2. For prompt customs clearance of goods traded between the Parties, each Party shall:
 - (a) make use of information and communications technology;
 - (b) simplify its customs procedures;

(c) 関税協力理事会の主催の下で作成される標準規定及び勧告規定その他の関連する国際的な基準及び勧告された慣行に税関手続を可能な限り調和させること。

(d) 適当な場合には、自国の税関当局と次の当局等との間の協力を促進すること。

- (i) 自国の他の国内当局
- (ii) 自国の貿易関係者
- (iii) 第三国の税関当局

3 各締約国は、影響を受ける当事者に対し、自国による行為に関する司法上又は行政上の審査手続であつて容易に利用可能なものを提供する。これらの審査は、当該行為の行政上の実施に責任を有する当局から独立したものとし、及び公平かつ公正に実施する。

第五十二条 通過物品

一方の締約国は、千九百九十四年のガット第五条3の規定に従い、他方の締約国からの通過物品又は他方の締約国への通過物品の通関を引き続き円滑に行う。

第五十三条 協力及び情報の交換

1 両締約国は、各締約国の法令に従うことを条件として、税関手続（禁制品の取引の取締り並びに知的財産権を侵害する疑いのある物品の輸入及び輸出の取締りを含む。）の分野において相互に協力し、及び情報を交換する。

2 そのような協力及び情報の交換は、実施取極で定めるところによって実施される。

第五十四条 税関手続に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、税関手続に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

税関手続
に関する
小委員会

(c) harmonise its customs procedures, as far as possible, with relevant international standards and recommended practices such as those made under the auspices of the Customs Co-operation Council; and

(d) promote cooperation, wherever appropriate, between its customs authority and:

- (i) other national authorities of the Party;
- (ii) the trading communities of the Party; and
- (iii) the customs authorities of non-Parties.

3. Each Party shall provide affected parties with easily accessible processes of judicial or administrative review in relation to the action taken by the Party. Such review shall be independent of the authorities entrusted with the administrative enforcement of such actions and shall be carried out in an impartial and fair manner.

Article 52
Goods in Transit

Each Party shall continue to facilitate customs clearance of goods in transit from or to the other Party in accordance with paragraph 3 of Article V of the GATT 1994.

Article 53
Cooperation and Exchange of Information

1. The Parties shall, subject to the laws and regulations of each Party, cooperate and exchange information with each other in the field of customs procedures, including their enforcement against the trafficking of prohibited goods and the importation and exportation of goods suspected of infringing intellectual property rights.

2. Such cooperation and exchange of information shall be implemented as provided for in the Implementing Agreement.

Article 54
Sub-Committee on Customs Procedures

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Customs Procedures (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

ブルネイとの経済連携協定

- 2 小委員会は、次の事項を任務とする。
- (a) この章の規定の実施及び運用について見直しを行うこと。
- (b) 合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。
- (c) この章に関して、両締約国間の貿易を円滑化するために改善されるべき分野を特定すること。
- (d) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 小委員会の組織については、実施取極で定める。
- 4 小委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。
- 第五章 投資
- 第五十五条 適用範囲
- 1 この章の規定は、一方の締約国が採用し、又は維持する措置であつて、次の事項に関するものに適用する。
- (a) 他方の締約国の投資家
- (b) 当該一方の締約国の区域内にある他方の締約国の投資家の投資財産
- 2 この章の規定は、次のものについては、適用しない。
- (a) 政府調達
- (b) 第七十四条(q)に定義する政府の権限の行使として提供されるサービス
- 3 この章の規定と次章の規定とが抵触する場合には、次のとおりとする。
- (a) 第五十七条、第五十八条及び第六十一条の規定の対象となつてゐる事項に関しては、この章の規定と次章の規定とが抵触する限度において、同章の規定が優先する。

2. The functions of the Sub-Committee shall be:
- (a) reviewing the implementation and operation of this Chapter;
- (b) reporting the findings of the Sub-Committee to the Joint Committee;
- (c) identifying areas, relating to this Chapter, to be improved for facilitating trade between the Parties; and
- (d) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.
3. The composition of the Sub-Committee shall be specified in the Implementing Agreement.
4. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.
- Chapter 5
Investment
Article 55
Scope
1. This Chapter shall apply to measures adopted or maintained by a Party relating to:
- (a) investors of the other Party; and
- (b) investments of investors of the other Party in the Area of the former Party.
2. This Chapter shall not apply to:
- (a) government procurement; and
- (b) services supplied in the exercise of governmental authority as defined in subparagraph (q) of Article 74.
3. In the event of any inconsistency between this Chapter and Chapter 6:
- (a) with respect to matters covered by Articles 57, 58 and 61, Chapter 6 shall prevail to the extent of inconsistency; and

定義

- (b) (a)に規定する事項以外の事項に関しては、この章の規定と次章の規定とが抵触する限度において、この章の規定が優先する。
- 4 この章のいかなる規定も、出入国管理に関する法令に基づく措置に関して締約国に義務を課するものではない。

第五十六条 定義

この章の規定の適用上、

- (a) 「企業」とは、営利目的であるか否かを問わず、また、民間又は政府のいずれが所有し、又は支配しているかを問わず、関係の法律に基づいて適正に設立され、又は組織される法人その他の事業体（社団、信託、組合、合弁企業、個人企業又は団体を含む。）をいう。
- (b) (i) 企業が投資家によって「所有」されるとは、当該投資家が当該企業の五十パーセントを超える持分を受益者として所有する場合をいう。
- (ii) 企業が投資家によって「支配」されるとは、当該投資家が当該企業の役員の過半数を指名し、又は当該企業の活動につき法的に指示する権限を有する場合をいう。
- (c) 「締約国の企業」とは、締約国の関係の法律に基づいて設立され、又は組織される企業をいう。
- (d) 「自由利用可能通貨」とは、国際通貨基金が国際通貨基金協定に基づいて自由利用可能通貨として指定する通貨をいう。
- (e) 「ICSID」とは、投資紛争解決国際センターをいう。
- (f) 「ICSIDに係る追加的な制度についての規則」とは、投資紛争解決国際センターの事務局が手続を実施するための追加的な制度を規律する規則（その改正を含む。）をいう。

ブルネイとの経済連携協定

- (b) with respect to matters not falling under subparagraph (a), this Chapter shall prevail to the extent of inconsistency.

4. Nothing in this Chapter shall impose any obligation on either Party regarding measures pursuant to immigration laws and regulations.

Article 56 Definitions

For the purposes of this Chapter:

- (a) "enterprise" means any legal person or any other entity duly constituted or otherwise organised under applicable law, whether for profit or otherwise, and whether privately-owned or controlled or governmentally-owned or controlled, including any corporation, trust, partnership, joint venture, sole proprietorship or association;
- (b) an enterprise is:
- (i) "owned" by an investor if more than 50 percent of the equity interests in it is beneficially owned by the investor; and
- (ii) "controlled" by an investor if the investor has the power to name a majority of its directors or otherwise to legally direct its actions;
- (c) "enterprise of a Party" means an enterprise constituted or organised under the applicable law of a Party;
- (d) "freely usable currency" means any currency designated as such by the International Monetary Fund under the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended;
- (e) "ICSID" means the International Centre for Settlement of Investment Disputes;
- (f) "ICSID Additional Facility Rules" means the Rules Governing the Additional Facility for the Administration of Proceedings by the Secretariat of the International Centre for Settlement of Investment Disputes, as may be amended;

ブルネイとの経済連携協定

- (g) 「ICSID条約」とは、千九百六十五年三月十八日にワシントンで作成された国家と他の国家の国民との間の投資紛争の解決に関する条約（その改正を含む。）をいう。
- (h) 「投資財産」とは、投資家により、直接又は間接に所有され、又は支配されているすべての種類の資産をいい、当該投資財産には、次のものを含む。
- (i) 企業及び企業の支店
 - (ii) 株式、出資その他の形態の企業の特分（その持分から派生する権利を含む。）
 - (iii) 債券、社債、貸付金及び他の形態の証券（これらのものから派生する権利を含む。）
 - (iv) 先物、オプションその他の派生商品
 - (v) 契約に基づく権利（完成後引渡し、建設、経営、生産又は利益配分に関する契約に基づくものを含む。）
 - (vi) 金銭債権又は金銭的価値を有する契約に基づく給付の請求権であつて事業活動に関係するもの
 - (vii) 知的財産権
 - (viii) のれん
 - (ix) 法令又は契約により与えられる権利（例えば、特許、免許、承認、許可）
 - (x) 他のすべての資産（有体であるか無体であるかを問わず、また、動産であるか不動産であるかを問わない。）及び貸借権、抵当権、先取特権、質権その他関連する財産権
- 注釈 1 投資財産には、投資財産から生ずる価値、特に、利益、利子、資本利得、配当、使用料及び手数料を含む。投資される資産の形態の変更は、その投資財産としての性質に影響を及ぼすものではない。

- (g) "ICSID Convention" means the Convention on the Settlement of Investment Disputes between States and Nationals of Other States, done at Washington, March 18, 1965, as may be amended;
- (h) "Investments" means every kind of asset owned or controlled, directly or indirectly, by an investor, including:
- (i) an enterprise and a branch of an enterprise;
 - (ii) shares, stocks or other forms of equity participation in an enterprise, including rights derived therefrom;
 - (iii) bonds, debentures, loans and other forms of securities, including rights derived therefrom;
 - (iv) futures, options and other derivatives;
 - (v) rights under contracts, including turnkey, construction, management, production or revenue-sharing contracts;
 - (vi) claims to money or to any performance under contract having a financial value, which relate to a business activity;
 - (vii) intellectual property rights;
 - (viii) goodwill;
 - (ix) rights conferred pursuant to laws and regulations or contracts such as concessions, licences, authorisations and permits; and
 - (x) any other tangible and intangible, movable and immovable property, and any related property rights, such as leases, mortgages, liens and pledges;

Note 1: Investments also include amounts yielded by investments, in particular, profit, interest, capital gains, dividends, royalties and fees. A change in the form in which assets are invested does not affect their character as investments.

注釈2 投資財産には、司法上又は行政上の措置として下される命令又は決定を含まない。

注釈3 資産が投資としての性質を欠いている場合には、当該資産は、その形態のいかんを問わず、投資財産とはみなさない。投資としての性質には、出資の約束、収益若しくは利得についての期待又は危険の負担を含む。

- (i) 「投資活動」とは、投資財産の設立、取得、拡張、経営、管理、運営、維持、使用、享有、売却その他の処分をいう。
- (j) 「締約国の投資家」とは、締約国又は締約国の自然人若しくは企業であつて、投資を行おうとして行つており、又は既に行つたものをいう。
- (k) 「措置」とは、あらゆる措置（法令、規則、手続、決定、行政上の行為その他のいずれの形式であるかを問わない。）をいう。
- (l) 「締約国が採用し、又は維持する措置」とは、次の措置をいう。
 - (i) 締約国の中央又は地方の政府及び機関が採用し、又は維持する措置
 - (ii) 非政府機関が、締約国の中央又は地方の政府又は機関によつて委任された権限を行使するに当たつて採用し、又は維持する措置
- (m) 「締約国の自然人」とは、締約国の法律の下で次の要件を満たす自然人をいう。
 - (i) ブルネイ・ダルサラーム国については、ブルネイ・ダルサラーム国の国民であること又は同国における永住者であること。
 - (ii) 日本国については、日本国の国民であること。
- (n) 「ニューヨーク条約」とは、千九百五十八年六月十日にニューヨークで作成された外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約（その改正を含む。）をいう。

Note 2: Investments do not include an order or judgment entered in a judicial or administrative action.

Note 3: Where an asset lacks the characteristics of an investment, that asset is not an investment regardless of the form it may take. The characteristics of an investment include the commitment of capital, the expectation of gain or profit, or the assumption of risk.

- (i) "investment activities" means establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, maintenance, use, enjoyment and sale or other disposition of investments;
- (j) "investor of a Party" means a Party or a natural person or an enterprise of a Party that seeks to make, is making, or has made, investments;
- (k) "measure" means any measure, whether in the form of a law, regulation, rule, procedure, decision, administrative action, or any other form;
- (l) "measure adopted or maintained by a Party" means any measure adopted or maintained by:
 - (i) central or local governments and authorities of a Party; and
 - (ii) non-governmental bodies in the exercise of powers delegated by central or local governments or authorities of a Party;
- (m) "natural person of a Party" means a natural person who under the law of a Party:
 - (i) in respect of Brunei Darussalam, is a national of Brunei Darussalam or is a permanent resident in Brunei Darussalam; and
 - (ii) in respect of Japan, is a national of Japan;
- (n) "New York Convention" means the United Nations Convention on the Recognition and Enforcement of Foreign Arbitral Awards, done at New York, June 10, 1958, as may be amended; and

ブルネイとの経済連携協定

(o) 「貿易関連知的所有権協定」とは、世界貿易機関設立協定附属書一C 知的所有権の貿易関連の側面に
関する協定（その改正を含む。）をいう。

第五十七条 内国民待遇

1 一方の締約国は、投資活動に関し、他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、同様の状況におい
て自国の投資家及びその投資財産に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

2 1の規定にかかわらず、いずれの一方の締約国も、自国の区域内における他方の締約国の投資家の投資
活動に関して特別な手続（例えば、登録の要件に従うこと。）を定めることができる。ただし、当該手続
は、この章の規定に基づく当該投資家の権利を実質的に害するものであってはならない。

第五十八条 最恵国待遇

最恵国待
遇
一方の締約国は、投資活動に関し、他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、同様の状況において
第三国の投資家及びその投資財産に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

第五十九条 待遇に関する最低基準

待遇に關
する最低
基準
一方の締約国は、他方の締約国の投資家の投資財産に対し、国際慣習法に基づく待遇（公正かつ衡平な待
遇並びに十分な保護及び保障を含む。）を与える。

注釈 「公正かつ衡平な待遇」及び「十分な保護及び保障」の概念は、国際慣習法上の外国人の待遇に関
する最低基準が要求する待遇以上の待遇を与えることを求めるものではない。

第六十条 裁判所の裁判を受ける権利

裁判所の
裁判を受
ける権利
一方の締約国は、自国の区域内において、投資家の権利の行使及び擁護のためすべての審級にわたり司法
裁判所及び行政裁判所の裁判を受け、並びに行政機関に申立てをする権利に関し、他方の締約国の投資家に
対し、同様の状況において自国の投資家又は第三国の投資家に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

(o) "TRIPS Agreement" means the Agreement on Trade-
Related Aspects of Intellectual Property Rights
in Annex 1C to the WTO Agreement, as may be
amended.

Article 57
National Treatment

1. Each Party shall accord to investors of the other
Party and to their investments, treatment no less
favourable than that it accords, in like circumstances, to
its own investors and to their investments with respect to
investment activities.

2. Notwithstanding paragraph 1, each Party may prescribe
special formalities in connection with investment
activities of investors of the other Party in its Area,
such as compliance with registration requirements, provided
that such special formalities do not impair the substance
of the rights of such investors under this Chapter.

Article 58
Most-Favoured-Nation Treatment

Each Party shall accord to investors of the other
Party and to their investments, treatment no less
favourable than that it accords, in like circumstances, to
investors of a non-Party and to their investments with
respect to investment activities.

Article 59
Minimum Standard of Treatment

Each Party shall accord to investments of investors of
the other Party, treatment in accordance with customary
international law, including fair and equitable treatment
and full protection and security.

Note: The concepts of "fair and equitable treatment" and
"full protection and security" do not require
treatment in addition to or beyond that which is
required by customary international law minimum
standard of treatment of aliens.

Article 60
Access to the Courts of Justice

Each Party shall in its Area accord to investors of
the other Party, treatment no less favourable than that it
accords in like circumstances to its own investors or
investors of a non-Party, with respect to access to its
courts of justice and administrative tribunals and agencies
in all degrees of jurisdiction, both in pursuit and in
defence of such investors' rights.

特定措置
の履行要
求の禁止

第六十一条 特定措置の履行要求の禁止

- 1 この章の規定の適用上、世界貿易機関設立協定附属書一 A 貿易に関連する投資措置に関する協定の附属書（その改正を含む。）は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成す。
- 2 両締約国は、この協定の効力発生の日から五年以内に特定措置の履行要求の禁止に係る事項を見直すことを目的として、できる限り早期に追加的な協議を行う。

第六十二条 留保及び例外

- 1 第五十七条及び第五十八条の規定は、次のものについては、適用しない。
- (a) 締約国の中央の政府又は機関によりこの協定の効力発生の日において維持されるこれらの規定に適合しない措置であって、附属書四に掲げる分野又は事項に関するもの
- (b) 締約国の地方の政府又は機関によりこの協定の効力発生の日において維持されるこれらの規定に適合しない措置
- (c) (a)及び(b)に規定する措置の継続又は即時の更新
- (d) 次に規定する措置の改正又は修正（当該改正又は修正の直前における当該措置と第五十七条及び第五十八条の規定との適合性の水準を低下させない場合に限る。）
- (i) (a)に規定する措置（ただし、附属書四において分野又は事項に星印（*）を付した場合を除く。）
- (ii) (b)に規定する措置

Article 61
Prohibition of Performance Requirements

1. For the purposes of this Chapter, the Annex to the Agreement on Trade-Related Investment Measures in Annex 1A to the WTO Agreement, as may be amended, is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.
2. The Parties shall enter into further consultations, at the earliest possible time. The aim of such consultations is to review issues pertaining to prohibition of performance requirements within five years from the date of entry into force of this Agreement.

Article 62
Reservations and Exceptions

1. Articles 57 and 58 shall not apply to:
- (a) any non-conforming measure that is maintained by the central government or authorities of a Party, on the date of entry into force of this Agreement, with respect to the sectors or matters specified in Annex 4;
- (b) any non-conforming measure that is maintained by local governments or authorities of a Party on the date of entry into force of this Agreement;
- (c) the continuation or prompt renewal of any non-conforming measure referred to in subparagraphs (a) and (b);
- (d) an amendment or modification to any non-conforming measure referred to in:
- (i) subparagraph (a), unless the sectors or matters are indicated with an asterisk (“*”) in Annex 4; and
- (ii) subparagraph (b),
- provided that the amendment or modification does not decrease the conformity of the measure, as it existed immediately before the amendment or modification, with Articles 57 and 58; and

留保及び
例外

ブルネイとの経済連携協定

11011

- (e) (a)に規定する措置であつて附属書四において分野又は事項に星印（＊）を付したものの改正又は修正。ただし、当該改正又は修正は、次の(i)及び(ii)の要件を満たさなければならない。
 - (i) 当該改正又は修正が、当該措置と第五十七条及び第五十八条の規定との適合性の水準を低下させないこと。
 - (ii) 当該改正又は修正が、既存の投資家及び既存の投資財産に対し、当該改正又は修正の直前に当該投資家及び投資財産に適用される措置よりも更に制限的なものでないこと。
- 2 この条の規定の適用上、
- (a) 「既存の投資家」及び「既存の投資財産」とは、それぞれ、適合しない措置の改正又は修正の直前に締約国の区域内に所在する投資財産を有する投資家及び当該投資財産をいう。
 - (b) 既存の投資家が適合しない措置の改正又は修正の後に既存の投資財産の拡張又は多角化を行う場合には、当該拡張又は多角化の部分については、既存の投資財産とはみなさない。
- 3 一方の締約国は、他方の締約国に対し、この協定の効力発生の日に1(a)に規定する適合しない措置に関する次の情報を通報する。
- (a) 当該措置を維持する分野又は事項
 - (b) 当該措置に関連する国内産業分類又は国際産業分類（該当するものがある場合）
 - (c) 当該措置が適合しないこの協定に基づく義務

- (e) an amendment or modification to any non-conforming measure referred to in subparagraph (a), where the sectors or matters are indicated with an asterisk (“*”) in Annex 4, provided that the amendment or modification:
 - (i) does not decrease the conformity of that measure with Articles 57 and 58; and
 - (ii) is not more restrictive to existing investors and existing investments than the measure applied to such investors and investments immediately before the amendment or modification.
2. For the purposes of this Article:
- (a) “existing investors” and “existing investments” mean respectively investors whose investments are present in the Area of a Party, and investments that are present in the Area of a Party, immediately before the amendment or modification of any non-conforming measure; and
 - (b) any expansion or diversification of existing investments by existing investors after the amendment or modification of any non-conforming measure shall not be regarded as existing investments to the extent of such expansion or diversification.
3. Each Party shall, on the date of entry into force of this Agreement, notify the other Party of the following information on any non-conforming measure referred to in subparagraph 1(a):
- (a) the sector or matter, with respect to which the measure is maintained;
 - (b) the domestic or international industry classification codes, where applicable, to which the measure relates;
 - (c) the obligations under this Agreement with which the measure does not conform;

- (d) 当該措置の根拠
- (e) 当該措置の簡潔な説明
- 4 第五十七条及び第五十八条の規定は、附属書五に掲げる分野又は事項に関して締約国が採用し、又は維持する措置については、適用しない。
- 5 一方の締約国は、この協定の効力発生の日において附属書五に掲げる分野又は事項に関する適合しない措置を維持する場合には、他方の締約国に対し、当該日に当該措置に関する次の情報を通報する。
- (a) 当該措置を維持する分野又は事項
- (b) 当該措置に関連する国内産業分類又は国際産業分類（該当するものがある場合）
- (c) 当該措置が適合しないこの協定に基づく義務
- (d) 当該措置の根拠
- (e) 当該措置の簡潔な説明
- 6 いずれの一方の締約国も、この協定の効力発生の日の後に附属書五に掲げる分野又は事項に関する措置を採用する場合には、他方の締約国の投資家に対し、その国籍を理由として、当該措置が効力を生じた時点で存在する投資財産を売却その他の方法で処分することを要求してはならない。ただし、関係当局による当初の承認に別段の定めがある場合は、この限りでない。
- 7 一方の締約国が、この協定の効力発生の日の後に、3又は5の規定に基づいて通報する適合しない措置を改正し、若しくは修正する場合又は附属書五に掲げる分野若しくは事項に関する新たな措置を採用する場合には、当該一方の締約国は、その改正若しくは修正又は当該新たな措置の採用の前に、又は例外的状況においては採用後できる限り速やかに、次の事項を行う。
- (a) 当該改正若しくは修正又は当該新たな措置の詳細な情報を他方の締約国に対し通報すること。
- (b) 他方の締約国の要請があった場合には、当該改正若しくは修正又は当該新たな措置に関して、当該他方の締約国の個別の質問に応じること。

ブルネイとの経済連携協定

- (d) the source of the measure; and
- (e) the succinct description of the measure.
4. Articles 57 and 58 shall not apply to any measure that a Party adopts or maintains with respect to the sectors or matters specified in Annex 5.
5. Where a Party maintains any non-conforming measure on the date of entry into force of this Agreement with respect to the sectors or matters specified in Annex 5, the Party shall, on the same date, notify the other Party of the following information on the measure:
- (a) the sector or matter, with respect to which the measure is maintained;
- (b) the domestic or international industry classification codes, where applicable, to which the measure relates;
- (c) the obligations under this Agreement with which the measure does not conform;
- (d) the source of the measure; and
- (e) the succinct description of the measure.
6. Neither Party shall, under any measure adopted after the date of entry into force of this Agreement with respect to the sectors or matters specified in Annex 5, require an investor of the other Party, by reason of its nationality, to sell or otherwise dispose of an investment that exists at the time the measure becomes effective, unless otherwise specified in the initial approval by the relevant authority.
7. In cases where a Party makes an amendment or a modification to any non-conforming measure notified pursuant to paragraph 3 or 5, or where a Party adopts any new measure with respect to the sectors or matters specified in Annex 5, after the date of entry into force of this Agreement, the Party shall, prior to the amendment or modification or the adoption of the new measure, or in exceptional circumstances, as soon as possible thereafter:
- (a) notify the other Party of detailed information on such amendment, modification or new measure; and
- (b) respond, upon the request by the other Party, to specific questions from the other Party with respect to such amendment, modification or new measure.

ブルネイとの経済連携協定

8 各締約国は、適当な場合には、附属書四及び附属書五にそれぞれ掲げる分野又は事項に関して採用し、又は維持する適合しない措置を削減し、又は撤廃するよう努める。

9 第五十七条及び第五十八条の規定は、貿易関連知的所有権協定第三条及び第四条に基づく義務の例外又は特別の取扱いとして貿易関連知的所有権協定第三条から第五条までに明示的に規定する範囲内にあるいかなる措置についても、適用しない。

第六十三条 収用及び補償

1 いずれの一方の締約国も、自国の区域内にある他方の締約国の投資家の投資財産の収用若しくは国有化又はこれに対する収用若しくは国有化と同等の措置（以下この章において「収用」という。）を実施してはならない。ただし、次のすべての条件を満たす場合は、この限りでない。

- (a) 公共の目的のためのものであること。
- (b) 差別的なものでないこと。
- (c) 法律に従って行われるものであること。
- (d) 2 から4までの規定に従って迅速、適当かつ実効的な補償の支払を伴うものであること。

2 補償は、次の(a)又は(b)のいずれか早い方の際における収用された投資財産の公正な市場価格に相当するものでなければならない。

- (a) 収用が公表された時
- (b) 収用が行われた時

3 公正な市場価格には、収用が事前に公に知られることにより生じた市場価格の変化を反映させてはならない。

4 補償については、次のすべての要件を満たさなければならない。

- (a) 不当に遅滞することなく支払われること。
- (b) 収用の時から支払の時までの期間を考慮した商業的に妥当な金利に基づく利子を定めること。

1104

8. Each Party shall endeavour, where appropriate, to reduce or eliminate the non-conforming measures that it adopts or maintains with respect to the sectors or matters specified in Annexes 4 and 5 respectively.

9. Articles 57 and 58 shall not apply to any measure covered by the exceptions to, or derogations from, obligations under Articles 3 and 4 of the TRIPS Agreement, as specifically provided in Articles 3, 4 and 5 of the TRIPS Agreement.

Article 63 Expropriation and Compensation

1. Neither Party shall expropriate or nationalise investments in its Area of investors of the other Party or take any measure tantamount to expropriation or nationalisation (hereinafter referred to in this Chapter as "expropriation") except:

- (a) for a public purpose;
- (b) on a non-discriminatory basis;
- (c) in accordance with law; and
- (d) upon payment of prompt, adequate and effective compensation pursuant to paragraphs 2, 3 and 4.

2. The compensation shall be equivalent to the fair market value of the expropriated investments:

- (a) at the time when the expropriation was publicly announced; or
- (b) when the expropriation occurred, whichever is the earlier.

3. The fair market value shall not reflect any change in market value occurring because the expropriation had become publicly known earlier.

4. The compensation shall:

- (a) be paid without undue delay;
- (b) include interest at a commercially reasonable rate taking into account the length of time from the time of expropriation to the time of payment; and

争乱からの保護

(c) 実際に換価することができ、自由に移転することができ、かつ、収用の日の市場における為替相場により関係する投資家の締約国の通貨及び自由利用可能通貨に自由に交換することができる。

5 (a) この条の規定は、租税に係る課税措置が収用を構成する限度において、当該課税措置について適用する。

(b) (a)の規定が適用される場合には、第六十条及び第六十七条の規定は、租税に係る課税措置について適用する。

第六十四条 争乱からの保護

1 一方の締約国は、戦争、武力紛争又は自国の区域内における革命、暴動、国内争乱、騒ぎよう若しくはこれらに類する事件その他の緊急事態により、自国の区域内にある投資財産に関して損失又は損害を被った他方の締約国の投資家に対し、原状回復、損害賠償、補償その他の解決方法に関し、自国の投資家又は第三国の投資家に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

2 1に規定する解決方法として支払が行われる場合には、実際に換価することができ、自由に移転することができ、かつ、市場における為替相場により関係する投資家の締約国の通貨及び自由利用可能通貨に自由に交換することができるものとする。

第六十五条 資金の移転

1 一方の締約国は、自国の区域に向けた又は自国の区域からのすべての資金の移転であって、自国の区域内にある他方の締約国の投資家の投資財産に関連するものが、自由に、かつ、不当に遅滞することなく行われることを認める。この資金の移転には、次のものの移転を含める。

- (a) 投資財産を維持し、又は増大させるための当初の資金及び追加的な資金
- (b) 純益、資本利得、配当、使用料、利子、手数料その他投資財産から生ずる収益
- (c) 投資財産の全部又は一部の売却又は清算によって得られる収入

ブルネイとの経済連携協定

(c) be effectively realisable and freely transferable and shall be freely convertible, at the market exchange rate prevailing on the date of expropriation, into the currency of the Party of the investors concerned and freely usable currencies.

5. (a) This Article shall apply to taxation measures, to the extent that such taxation measures constitute expropriation.

(b) Where subparagraph (a) applies, Articles 60 and 67 shall also apply in respect of taxation measures.

Article 64 Protection from Strife

1. Each Party shall accord to investors of the other Party that have suffered loss or damage relating to their investments in the Area of the former Party owing to war, armed conflict or state of emergency such as revolution, insurrection, civil disturbance, riot or any other similar event in the Area of that former Party, treatment, as regards restitution, indemnification, compensation or any other settlement, that is no less favourable than that it accords to its own investors or to investors of a non-Party.

2. Any payments as a means of settlement referred to in paragraph 1 shall be effectively realisable, freely transferable and freely convertible at the market exchange rate into the currency of the Party of the investors concerned and freely usable currencies.

Article 65 Transfers

1. Each Party shall allow all transfers relating to investments in its Area of an investor of the other Party to be made freely into and out of its Area without undue delay. Such transfers shall include those of:

- (a) the initial capital and additional amounts to maintain or expand investments;
- (b) net profits, capital gains, dividends, royalties, interest, fees, and other current incomes accruing from investments;
- (c) proceeds from the total or partial sale or liquidation of investments;

ブルネイとの経済連携協定

110K

- (d) 融資の返済その他の契約に基づいて行われる支払であって、投資財産に関連するもの
- (e) 一方の締約国の区域内にある投資財産に関連した活動のために雇用され、及び当該活動に従事する、とを認められた他方の締約国の従業員の得た純益その他の報酬
- (f) 前二条の規定に従って行われる支払
- (g) 第六十七条の規定に基づく紛争の処理の結果として生ずる支払
- 2 各締約国は、更に、当該資金の移転が自由利用可能通貨により移転の日の市場における為替相場で行われることを確保する。
- 3 1及び2の規定にかかわらず、締約国は、次の事項に関する自国の法律を衡平、無差別かつ誠実に適用する場合には、資金の移転を遅らせ、又は妨げることができる。
- (a) 破産、債務不履行又は債権者の権利の保護
- (b) 証券、先物、オプションその他の派生商品の発行、交換又は取引
- (c) 刑事犯罪
- (d) 訴訟手続又は行政上の決定における命令又は判決の履行の確保
- (e) 社会保障、公的年金制度及び強制年金制度から生ずる投資家の義務

第六十六条 代位

- 1 一方の締約国又はその指定する機関が、自国の投資家に対し、他方の締約国の区域内にある当該投資家の投資財産に関連する損害のてん補に係る契約、保証契約又は保険契約に基づいて支払を行う場合には、当該他方の締約国は、次の承認を行う。
- (a) 当該支払の前提となった当該投資家の権利又は請求権の当該一方の締約国又はその指定する機関への譲渡を承認すること。

- (d) payments made under a contract, including loan payments in connection with investments;
- (e) net earnings and remuneration of personnel from the other Party who are employed and allowed to work in connection with investments in the Area of the former Party;
- (f) payments made pursuant to Articles 63 and 64; and
- (g) payments arising out of the settlement of a dispute under Article 67.
2. Each Party shall further ensure that such transfers may be made in a freely usable currency at the market exchange rate prevailing on the date of each transfer.
3. Notwithstanding paragraphs 1 and 2, a Party may delay or prevent such transfers through the equitable, non-discriminatory and good faith application of its laws relating to:
- (a) bankruptcy, insolvency or the protection of the rights of creditors;
- (b) issuing, trading or dealing in securities, futures, options or other derivatives;
- (c) criminal or penal offences;
- (d) ensuring compliance with orders or judgments in judicial proceedings or administrative rulings; and
- (e) obligations of investors arising from social security, and public retirement or compulsory savings scheme.

Article 66
Subrogation

1. If a Party or its designated agency makes a payment to any of its investors pursuant to an indemnity, guarantee or insurance contract, pertaining to an investment of that investor within the Area of the other Party, the other Party shall:
- (a) recognise the assignment, to the former Party or its designated agency, of any right or claim of the investor that formed the basis of such payment; and

(b) 当該一方の締約国又はその指定する機関が、代位により、当該投資家の当初の権利又は請求権と内容及び範囲において同じ権利又は請求権を行使する権利を有することを承認すること。

2 前二条の規定は、1に規定する権利又は請求権の譲渡に基づき一方の締約国又はその指定する機関に対して行われる支払及びこのようにして支払われた資金の移転について準用する。

第六十七条 一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決

1 この章の規定の適用上、「投資紛争」とは、一方の締約国と他方の締約国の投資家であつて、当該投資家及びその投資財産に関し、この章の規定に基づく義務の違反の疑いを理由とする、又はその違反の疑いから生ずる損失又は損害を被つたものとの間の紛争をいう。

2 この条のいかなる規定も、投資紛争の当事者である投資家（以下この条において「紛争投資家」という。）が、投資紛争の当事者である締約国（以下この条において「紛争締約国」という。）内において、行政的又は司法的解決を求めることを妨げるものと解してはならない。

3 投資紛争は、可能な限り、紛争投資家と紛争締約国（以下この条において「紛争当事者」という。）との間の友好的な協議又は交渉により解決する。

4 紛争投資家からの書面による協議又は交渉の要請があつた日から五箇月以内に、投資紛争がそのような協議又は交渉により解決されない場合において、当該紛争投資家が、解決のために司法裁判所又は行政裁判所若しくは行政機関に当該投資紛争を付託しなかつたときは、当該紛争投資家は、当該投資紛争を次のいずれかの国際的な調停又は仲裁に付託することができ。

(a) ICSID条約による調停又は仲裁。ただし、ICSID条約が両締約国間で効力を有する場合に限る。

(b) recognise the right of the former Party or its designated agency to exercise by virtue of subrogation such right or claim to the same extent as the original right or claim of the investor.

2. Articles 63, 64 and 65 shall apply *mutatis mutandis* as regards payment to be made to the Party or its designated agency mentioned in paragraph 1 by virtue of such assignment of right or claim, and the transfer of such payment.

Article 67
Settlement of Investment Disputes
between a Party and an Investor of the Other Party

1. For the purposes of this Chapter, an "investment dispute" is a dispute between a Party and an investor of the other Party that has incurred loss or damage by reason of, or arising out of, an alleged breach of any obligation under this Chapter with respect to the investor and its investments.

2. Nothing in this Article shall be construed so as to prevent an investor who is a party to an investment dispute (hereinafter referred to in this Article as "disputing investor") from seeking administrative or judicial settlement within the Party that is a party to the investment dispute (hereinafter referred to in this Article as "disputing Party").

3. An investment dispute shall, as far as possible, be settled amicably through consultation or negotiation between the disputing investor and the disputing Party (hereinafter referred to in this Article as "the disputing parties").

4. If the investment dispute cannot be settled through such consultation or negotiation within five months from the date on which the disputing investor requested for the consultation or negotiation in writing and if the disputing investor has not submitted the investment dispute for resolution under courts of justice or administrative tribunals or agencies, the disputing investor may submit the investment dispute to one of the following international conciliations or arbitrations:

(a) conciliation or arbitration in accordance with the ICSID Convention, so long as the ICSID Convention is in force between the Parties;

ブルネイとの経済連携協定

- (b) ICSIDに係る追加的な制度についての規則による調停又は仲裁。ただし、ICSID条約が締結国間で効力を有しない場合に限る。
- (c) 千九百七十六年四月二十八日に国際連合国際商取引法委員会によって採択された国際連合国際商取引法委員会の仲裁規則（その改正を含む。）による仲裁
- (d) 紛争締結国と合意する場合には、他の仲裁規則による仲裁
- 5 締結国の投資家は、この協定の効力発生の日の前に発生した事態から生ずる紛争又は当該日の前に既に解決している紛争を、4に規定する調停又は仲裁に付託することができない。
- 6 紛争投資家は、自己の投資財産の設立、取得又は拡張に関する投資紛争を、4に規定する調停又は仲裁に付託することができない。
- 7 適用される仲裁規則は、この条の規定によって修正する部分を除くほか、4に規定する仲裁を規律する。
- 8 4の規定に従い投資紛争を調停又は仲裁に付託しようとする紛争投資家は、紛争締結国に対し、当該投資紛争が付託される少なくとも九十日前に書面によりその旨の通報を行う。当該通報には、次の事項を明記する。
 - (a) 当該紛争投資家の氏名又は名称及び住所
 - (b) 当該紛争締結国の問題となる特定の措置並びに問題の所在を明確にする上で十分な当該投資紛争に係る事実及び法的根拠の簡潔な要約（この章の規定に基づいていずれの義務について違反があったとされるかについての特定を含む。）
 - (c) 4に規定する調停又は仲裁のうち当該紛争投資家が選択するもの
 - (d) 当該紛争投資家が求める救済手段及び損害賠償請求額の概算

- (b) conciliation or arbitration under the ICSID Additional Facility Rules, so long as the ICSID Convention is not in force between the Parties;
- (c) arbitration under the Arbitration Rules of the United Nations Commission on International Trade Law, adopted by the United Nations Commission on International Trade Law on April 28, 1976, as may be amended; and
- (d) if agreed with the disputing Party, any arbitration in accordance with other arbitration rules.
- 5. For greater certainty, an investor of a Party may not submit to conciliation or arbitration referred to in paragraph 4 a dispute arising out of events which occurred, or a dispute which had been settled, prior to the date of entry into force of this Agreement.
- 6. A disputing investor may not submit to conciliation or arbitration referred to in paragraph 4 an investment dispute with respect to the establishment, acquisition or expansion of its investments.
- 7. The applicable arbitration rules shall govern the arbitration set forth in paragraph 4 except to the extent modified in this Article.
- 8. A disputing investor who intends to submit an investment dispute to conciliation or arbitration pursuant to Paragraph 4 shall give to the disputing Party written notice of intent to do so at least 90 days before the investment dispute is submitted. The notice of intent shall specify:
 - (a) the name and address of the disputing investor;
 - (b) the specific measures of the disputing Party at issue and a brief summary of the factual and legal basis of the investment dispute sufficient to present the problem clearly, including the obligations under this Chapter alleged to have been breached;
 - (c) conciliation or arbitration set forth in paragraph 4 which the disputing investor will choose; and
 - (d) the relief sought and the approximate amount of damages claimed.

9 (a) 各締約国は、紛争投資家が、投資紛争を4に規定する調停又は仲裁であつて、当該紛争投資家が選択するものに付託することに同意する。

(b) (a)の規定による同意及び紛争投資家による投資紛争の仲裁への付託は、次の(i)及び(ii)の規定の要件を満たさなければならない。

(i) 紛争当事者の書面による同意に関するICSID条約第二章の規定及びICSIDに係る追加的な制度についての規則の規定

(ii) 書面による合意に関するニューヨーク条約第二条の規定

10 9の規定にかかわらず、4に規定する調停又は仲裁への投資紛争の付託は、紛争投資家が1に規定する損失又は損害を被つたことを知つた日又は知るべきであつた最初の日のいずれか早い方日から三年が経過した場合には、行うことができない。

11 4の規定にかかわらず、紛争投資家は、紛争締約国の関係する法律に従い行政裁判所若しくは行政機関又は司法裁判所において暫定的な差止めによる救済(損害賠償の支払を伴わないものに限る。)を申し立て、又はその申立てに係る手続を継続することができる。

12 4の規定により設置される仲裁裁判所は、紛争当事者が別段の合意をする場合を除くほか、紛争当事者それぞれが任命する各一人の仲裁人及び紛争当事者の合意により任命されて裁判長となる第三の仲裁人から成る三人の仲裁人により構成する。投資紛争が仲裁に付託された日から六十日以内に、紛争投資家又は紛争締約国が一人又は二人以上の仲裁人を任命しない場合には、紛争当事者のいずれも、13及び14の規定の要件に従うことを条件として、ICSIDの事務局長に対し、ICSIDの仲裁人の名簿から、いまだ任命されていない一人又は二人以上の仲裁人を任命するよう要請することができる。

13 第三の仲裁人は、紛争当事者が別段の合意をする場合を除くほか、いずれかの締約国の国民であつてはならず、いずれかの締約国に日常の住居を有してはならず、紛争当事者のいずれによつても雇用されてはならず、及びいかなる資格においても対象となる投資紛争を取り扱つたことがあつてはならない。

9. (a) Each Party hereby consents to the submission of investment disputes by a disputing investor to conciliation or arbitration set forth in paragraph 4 chosen by the disputing investor.

(b) The consent given by subparagraph (a) and the submission by a disputing investor of an investment dispute to arbitration shall satisfy the requirements of:

(1) Chapter II of the ICSID Convention or the ICSID Additional Facility Rules, for written consent of the parties to a dispute; and

(11) Article II of the New York Convention for an agreement in writing.

10. Notwithstanding paragraph 9, no investment dispute may be submitted to conciliation or arbitration set forth in paragraph 4, if more than three years have elapsed since the date on which the disputing investor acquired or should have first acquired, whichever is the earlier, the knowledge that the disputing investor had incurred loss or damage referred to in paragraph 1.

11. Notwithstanding paragraph 4, a disputing investor may initiate or continue an action that seeks interim injunctive relief that does not involve the payment of damages before an administrative tribunal or agency or a court of justice under the applicable laws of the disputing Party.

12. Unless the disputing parties agree otherwise, an arbitral tribunal established under paragraph 4 shall comprise three arbitrators, one arbitrator appointed by each of the disputing parties and the third, who shall be the presiding arbitrator, appointed by agreement of the disputing parties. If the disputing investor or the disputing Party fails to appoint an arbitrator or the arbitrators within 60 days from the date on which the investment dispute was submitted to arbitration, the Secretary-General of the ICSID may be requested by either of the disputing parties, to appoint the arbitrator or arbitrators not yet appointed from the ICSID Panel of Arbitrators subject to the requirements of paragraphs 13 and 14.

13. Unless the disputing parties agree otherwise, the third arbitrator shall not be a national of either Party, nor have his or her usual place of residence in either Party, nor be employed by either of the disputing parties, nor have dealt with the investment dispute in any capacity.

ブルネイとの経済連携協定

14 各紛争当事者は、4に規定する仲裁の場合には、それぞれ、任命される仲裁人の国籍として受け入れられない国籍を三を上限として指定することができる。この場合において、ICSIDの事務局長に対し、いずれかの紛争当事者によって指定された国籍の者を仲裁人に任命しないよう要請することができる。

15 仲裁は、紛争当事者が別段の合意をする場合を除くほか、ニューヨーク条約を締結している国において行う。

16 4の規定により設置される仲裁裁判所は、この協定及び関係する国際法の規則に従い、係争中の事案につき決定する。

17 紛争締約国は、他方の締約国に次のものを送付する。

(a) 仲裁に付託された投資紛争についての書面による通知（当該投資紛争が付託された日の後三十日以内に送付する。）

(b) 仲裁において提出されたすべての主張書面の写し

18 紛争締約国でない締約国は、紛争当事者への書面による通知を行った場合には、この協定の解釈に関する問題につき仲裁裁判所に対し意見を提出することができる。

19 仲裁裁判所は、紛争投資家の権利を保全し、又は仲裁手続の進行を容易にするため、暫定的な保全措置（紛争当事者のいずれかが所持し、又は支配する証拠を保全するための命令を含む。）を命ずることができる。仲裁裁判所は、差押えを命じ、又は1に規定する違反を構成するとされる措置の差止めを命じてはならない。

20 仲裁裁判所が下す裁定には、次の事項を含める。

(a) 紛争締約国が、紛争投資家及びその投資財産に関し、この章の規定に基づく義務に違反したか否かに関する判断

(b) 違反があった場合には、その救済措置。ただし、当該救済措置は、次の(i)又は(ii)の一方又は双方に限られる。

(i) 損害賠償金及び適当な利子の支払

14. In the case of arbitration referred to in paragraph 4, each of the disputing parties may indicate up to three nationalities, the appointment of arbitrators of which is unacceptable to it. In this event, the Secretary-General of the ICSID may be requested not to appoint as arbitrator any person whose nationality is indicated by either of the disputing parties.

15. Unless the disputing parties agree otherwise, an arbitration shall be held in a country that is a party to the New York Convention.

16. An arbitral tribunal established under paragraph 4 shall decide the issues in dispute in accordance with this Agreement and applicable rules of international law.

17. The disputing Party shall deliver to the other Party:

(a) written notice of the investment dispute submitted to the arbitration no later than 30 days after the date on which the investment dispute was submitted; and

(b) copies of all pleadings filed in the arbitration.

18. On written notice to the disputing parties, the Party which is not the disputing Party may make submissions to the arbitral tribunal on a question of interpretation of this Agreement.

19. The arbitral tribunal may order an interim measure of protection to preserve the rights of the disputing investor, or to facilitate the conduct of arbitral proceedings, including an order to preserve evidence in the possession or control of either of the disputing parties. The arbitral tribunal shall not order attachment or enjoin the application of the measure alleged to constitute a breach referred to in paragraph 1.

20. The award rendered by the arbitral tribunal shall include:

(a) a judgment whether or not there has been a breach by the disputing Party of any obligation under this Chapter with respect to the disputing investor and its investments; and

(b) a remedy if there has been such breach. The remedy shall be limited to one or both of the following:

(i) payment of monetary damages and applicable interest; and

(ii) 原状回復。この場合の裁定においては、紛争締約国が原状回復に代えて損害賠償金及び適当な利子を支払うことができることを定めるものとする。

仲裁裁判所は、仲裁に係る費用についても、適用する仲裁規則に従って裁定を下すことができる。

21 20の規定に従って下される裁定は、最終的なものであり、かつ、紛争当事者を拘束する。紛争締約国は、当該裁定を遅滞なく実施し、及び自国の区域内において関係法令に従い当該裁定の執行を行う。

22 いずれの一方の締約国も、他方の締約国及び当該一方の締約国の投資家が4の規定に従って仲裁に付託することに同意し、又は付託した投資紛争に関し、外交上の保護を与え、又は国家間の請求を行ってはならない。ただし、当該他方の締約国が当該投資紛争について下された裁定に従わなかった場合は、この限りでない。この22の規定の適用上、外交上の保護には、投資紛争の解決を容易にすることのみを目的とする非公式の外交交渉を含めない。

第六十八条 一時的なセーフガード措置

1 いずれの締約国も、次のいずれかの場合には、第五十七条の規定に基づく義務であつて国境を越える資本取引に係るもの及び第六十五条の規定に基づく義務に適合しない措置を採用し、又は維持することができ。

- (a) 国際収支及び対外支払に関して重大な困難が生じている場合又は生ずるおそれのある場合
- (b) 例外的な状況において、資金の移転が経済全般の運営、特に通貨政策、財政政策及び外国為替政策に重大な困難をもたらし、又はもたらすおそれのある状況にある場合

2 1の措置は、次のすべての要件を満たすものとする。

- (a) 国際通貨基金協定に適合するものであること。
- (b) 1に規定する状況に対処するために必要な限度を超えないものであること。

(ii) restitution of property, in which case the award shall provide that the disputing Party may pay monetary damages and any applicable interest in lieu of restitution.

Costs may also be awarded in accordance with the applicable arbitration rules.

21. The award rendered in accordance with paragraph 20 shall be final and binding upon the disputing parties. The disputing Party shall carry out without delay the provisions of the award and provide in its Area for the enforcement of the award in accordance with its relevant laws and regulations.

22. Neither Party shall give diplomatic protection, or bring an international claim, in respect of an investment dispute which the other Party and an investor of the former Party have consented to submit or submitted to arbitration set forth in paragraph 4, unless the other Party shall have failed to abide by and comply with the award rendered in such investment dispute. Diplomatic protection, for the purposes of this paragraph, shall not include informal diplomatic exchanges for the sole purpose of facilitating a settlement of the investment dispute.

Article 68 Temporary Safeguard Measures

1. A Party may adopt or maintain measures not conforming with its obligations under Article 57 relating to cross-border capital transactions and Article 65:

- (a) in the event of serious balance-of-payments and external financial difficulties or threat thereof; or
- (b) in cases where, in exceptional circumstances, movements of capital cause or threaten to cause serious difficulties for macroeconomic management in particular, monetary, fiscal and exchange rate policies.

2. The measures referred to in paragraph 1 shall:

- (a) be consistent with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended;
- (b) not exceed those necessary to deal with the circumstances set out in paragraph 1;

ブルネイとの経済連携協定

- (c) 一時的なものであり、かつ、事情の許す限り速やかに廃止されるものであること。
- (d) 他方の締約国に対し、速やかに通報されるものであること。
- (e) 他方の締約国の商業上、経済上又は資金上の利益に対し不必要な損害を与えることを避けるものであること。
- (f) 他方の締約国が第三国と同等に取り扱われることを確保するものであること。

3 この条のいかなる規定も、国際通貨基金協定に基づく締約国の権利及び義務を変更するものではない。

第六十九条 信用秩序の維持のための措置

信用秩序の維持のための措置

1 この章の他の規定にかかわらず、締約国は、信用秩序の維持のための金融サービスに関連する措置（投資家、預金者、保険契約者若しくは信託上の義務を金融サービスを提供する企業が負う者を保護し、又は金融体系の健全性及び安定性を確保するための措置を含む。）をとることを妨げられない。

2 当該措置は、この章の規定に適合しない場合には、この章の規定に基づく当該締約国の約束又は義務を回避するための手段として用いてはならない。

注釈 この条の規定の適用上、「金融サービス」とは、サービス貿易一般協定金融サービスに関する附属書 5 (a) において定義する用語と同一の意味を有する。

第七十条 利益の否認

利益の否認

1 一方の締約国は、他方の締約国の投資家であって当該他方の締約国の企業であるものが第三国の投資家によって所有され、又は支配されており、かつ、次のいずれかの場合に該当すると認めるときは、当該他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、この章の規定による利益を否認することができ。

(a) 当該一方の締約国が当該第三国と外交関係を有していない場合



- (c) be temporary and eliminated as soon as conditions permit;
- (d) be promptly notified to the other Party;
- (e) avoid unnecessary damages to the commercial, economic and financial interests of the other Party; and
- (f) ensure that the other Party is treated as favourably as any non-Party.

3. Nothing in this Article shall be regarded as altering the rights enjoyed and obligations undertaken by a Party as a party to the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended.

Article 69
Prudential Measures

1. Notwithstanding any other provisions of this Chapter, a Party shall not be prevented from taking measures relating to financial services for prudential reasons, including measures for the protection of investors, depositors, policy holders or persons to whom a fiduciary duty is owed by an enterprise supplying financial services, or to ensure the integrity and stability of the financial system.

2. Where such measures do not conform with the provisions of this Chapter, they shall not be used as a means of avoiding the Party's commitments or obligations under this Chapter.

Note: For the purposes of this Article, "financial services" shall have the same meaning as in subparagraph 5 (a) of the Annex on Financial Services of the GATS.

Article 70
Denial of Benefits

1. A Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of the other Party that is an enterprise of the other Party and to its investments, where the denying Party establishes that the enterprise is owned or controlled by an investor of a non-Party and the denying Party:

- (a) does not maintain diplomatic relations with the non-Party; or

環境に
関する
措置

(b) 当該第三国に関する措置であつて、当該企業との取引を禁止するもの又は当該企業若しくはその投資財産に対してこの章の規定による利益を与えることにより当該措置に違反し、若しくは当該措置を阻害することとなるものを当該一方の締約国が採用し、又は維持する場合

2 一方の締約国は、他方の締約国の投資家であつて当該他方の締約国の企業であるものが第三国の投資家によつて所有され、又は支配されており、かつ、当該企業が当該他方の締約国の区域内において実質的な事業活動を行っていないと認めるときは、事前の通報及び協議を行うことを条件として、当該他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、この章の規定による利益を否認することができる。

第七十一条 環境に関する措置

一方の締約国は、環境に関する措置の緩和を通じて他方の締約国の投資家による投資を奨励することと適当でないことを認める。各締約国は、自国の区域内における投資財産の設立、取得又は拡張を奨励する手段として環境に関する措置の適用の免除その他の逸脱措置を行うべきではない。

第七十二条 投資に関する小委員会

投資に
関する
小委
員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、投資に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

- (a) この章の規定に関連する問題について情報を交換すること。
- (b) この章の規定の実施及び運用について見直しを行うこと。
- (c) この章の規定に関連する問題について討議すること。
- (d) 合同委員会に対し小委員会の所見及び討議の結果を報告すること。
- (e) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。

ブルネイとの経済連携協定

(b) adopts or maintains measures with respect to the non-Party that prohibit transactions with the enterprise or that would be violated or circumvented if the benefits of this Chapter were accorded to the enterprise or to its investments.

2. Subject to prior notification and consultation, a Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of the other Party that is an enterprise of the other Party and to its investments, where the denying Party establishes that the enterprise is owned or controlled by an investor of a non-Party and the enterprise has no substantial business activities in the Area of the other Party.

Article 71
Environmental Measures

Each Party recognises that it is inappropriate to encourage investments by investors of the other Party by relaxing its environmental measures. To this effect each Party should not waive or otherwise derogate from such environmental measures as an encouragement for establishment, acquisition or expansion of investments in its Area.

Article 72
Sub-Committee on Investment

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Investment (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

2. The functions of the Sub-Committee shall be:

- (a) exchanging information on any matters related to this Chapter;
- (b) reviewing the implementation and operation of this Chapter;
- (c) discussing any issues related to this Chapter;
- (d) reporting the findings and the outcome of discussions of the Sub-Committee to the Joint Committee; and
- (e) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.

3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。

(b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。

4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であって、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができる。

5 小委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。

第六章 サービスの貿易

第七十三条 適用範囲

適用範囲

1 この章の規定は、サービスの貿易に影響を及ぼす締約国の措置について適用する。

2 この章の規定は、次のものについては、適用しない。

(a) 航空運送サービスに関し、運輸権（いかなる方法で与えられるものであるかを問わない。）又は運輸権の行使に直接関係するサービスに影響を及ぼす措置。ただし、次に掲げる事項に影響を及ぼすものを除く。

(i) 航空機の修理及び保守のサービス

(ii) 航空運送サービスの販売及びマーケティング

(iii) コンピュータ予約システムのサービス

(b) 政府機関が政府用として購入するサービスの調達（商業的再販売を行うこと又は商業的販売のためのサービスの提供に利用することを目的として購入するものを除く。）を規律する法令及び要件

(c) 海上運送サービスのうち内航海運に係るもの

(d) 一方の締約国の雇用市場への進出を求める他方の締約国の自然人に影響を及ぼす措置及び国籍又は永続的な居住若しくは雇用に関する措置

3. The Sub-Committee shall be:

(a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and

(b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.

4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.

5. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

Chapter 6
Trade in Services

Article 73
Scope

1. This Chapter shall apply to measures by a Party affecting trade in services.

2. This Chapter shall not apply to:

(a) in respect of air transport services, measures affecting traffic rights, however granted or services directly related to the exercise of traffic rights except measures affecting:

(i) aircraft repair and maintenance services;

(ii) the selling and marketing of air transport services; and

(iii) computer reservation system (CRS) services;

(b) laws, regulations or requirements governing the procurement by governmental agencies of services purchased for governmental purposes and not with a view to commercial resale or with a view to use in the supply of services for commercial sale;

(c) cabotage in maritime transport services;

(d) measures affecting natural persons of a Party seeking access to the employment market of the other Party, or measures regarding nationality, or residence or employment on a permanent basis; and

定 義

(e) 締約国又は公的企業により交付される補助金（贈与、公的に支援される借款、保証及び保険を含む。）

3 第七十九条の規定は、出入国管理に関する法令に基づく締約国の措置については、適用しない。

4 この章の規定は、一方の締約国が自国（他の締約国の自然人の入国又は自国における他方の締約国の自然人の一時的な滞在を規制するための措置（自国の国境を保全し、及び自国の国境を越える自然人の秩序ある移動を確保するために必要な措置を含む。）を適用することを妨げるものではない。ただし、当該措置を、特定の約束の条件に従って当該他方の締約国に与える利益を無効にし、又は侵害するような態様で適用しないことを条件とする。

注釈 特定の国籍又は市民権を有する自然人に対しては査証を要求し、他の国籍又は市民権を有する自然人に対しては要求しないという事実のみをもって、特定の約束に基づく利益が無効にされ、又は侵害されているとはみなさない。

5 附属書六は、金融サービスに関し、この章の補足規定を定める。

第七十四条 定義

この章の規定の適用上、

(a) 「航空機の修理及び保守のサービス」とは、航空機がサービスを提供していない間に当該航空機又はその一部に対して行われる活動をいい、いわゆるライン・メンテナンスを含まない。

(b) 「業務上の拠点」とは、業務を行うための又は自由職業のための事業所をいい、これらの事業所には、サービスの提供を目的として締約国の区域内で行われる次のいずれかの行為により置かれるものを含む。

- (i) 法人の設立、取得又は維持
- (ii) 支店又は代表事務所の設置又は維持

(e) subsidies provided by a Party or a state enterprise thereof, including grants, government-supported loans, guarantees and insurance.

3. Article 79 shall not apply to any measure by a Party pursuant to immigration laws and regulations.

4. This Chapter shall not prevent a Party from applying measures to regulate the entry of natural persons of the other Party into, or their temporary stay in, the former Party, including those measures necessary to protect the integrity of, and to ensure the orderly movement of natural persons across, its borders, provided that such measures are not applied in such a manner as to nullify or impair the benefits accruing to the other Party under the terms of a specific commitment.

Note: The sole fact of requiring a visa for natural persons of a certain nationality or citizenship and not for those of others shall not be regarded as nullifying or impairing benefits under a specific commitment.

5. Annex 6 provides supplementary provisions to this Chapter with respect to financial services.

Article 74 Definitions

For the purposes of this Chapter:

(a) "aircraft repair and maintenance services" means such activities when undertaken on an aircraft or a part thereof while it is withdrawn from service and does not include so-called line maintenance;

(b) "commercial presence" means any type of business or professional establishment, including through:

- (i) the constitution, acquisition or maintenance of a juridical person; or
- (ii) the creation or maintenance of a branch or a representative office, within the Area of a Party for the purposes of supplying services;

ブルネイとの経済連携協定

- (c) 「コンピュータ予約システムのサービス」とは、航空機の発着予定、空席状況、運賃及び運賃規則に関する情報が組み込まれたコンピュータ・システムを通じて予約を受け付け、又は発券を行うことにより提供するサービスをいう。
- (d) 「法人」とは、営利目的であるか否かを問わず、また、民間の所有であるか政府の所有であるかを問わず、関係の法律に基づいて適正に設立され、又は組織される法定の事業体（社団、信託、組合、合弁企業、個人企業及び団体を含む。）をいう。
- (e) 「他方の締約国の法人」とは、次のいずれかの法人をいう。
- (i) 他方の締約国の法律に基づいて設立され、又は組織される法人
- (ii) 業務上の拠点を通じてサービスが提供される場合には、次のいずれかの者が所有し、又は支配する法人
- (A) 他方の締約国の自然人
- (B) (i)に規定する他方の締約国の法人
- (f)(i) 法人が締約国又は第三国の者によって「所有」されるとは、当該者が当該法人の五十パーセントを超える持分を受益者として所有する場合をいう。
- (ii) 法人が締約国又は第三国の者によって「支配」されるとは、当該者が当該法人の役員の過半数を指名し、又は当該法人の活動につき法的に指示する権限を有する場合をいう。
- (iii) 法人が他の者と「提携」するとは、当該法人が当該他の者を支配し、若しくは当該他の者によって支配される場合又は当該法人及び当該他の者の双方が同一の者によって支配される場合をいう。
- (g) 「措置」とは、あらゆる措置（法令、規則、手続、決定、行政上の行為その他のいずれの形式であるかを問わず、また、租税に係る課税措置を含める。）をいう。

- (c) "computer reservation system (CRS) services" means services provided by computerised systems that contain information about air carriers' schedules, availability, fares and fare rules, through which reservations may be made or tickets may be issued;
- (d) "juridical person" means any legal entity duly constituted or otherwise organised under applicable law, whether for profit or otherwise, and whether privately-owned or governmentally-owned, including any corporation, trust, partnership, joint venture, sole proprietorship or association;
- (e) "juridical person of the other Party" means a juridical person which is either:
- (i) constituted or organised under the law of the other Party; or
- (ii) in the case of the supply of a service through commercial presence, owned or controlled by:
- (A) natural persons of the other Party; or
- (B) juridical persons of the other Party identified under subparagraph (i);
- (f) a juridical person is:
- (i) "owned" by persons of a Party or a non-Party if more than 50 percent of the equity interests in it is beneficially owned by such persons;
- (ii) "controlled" by persons of a Party or a non-Party if such persons have the power to name a majority of its directors or otherwise to legally direct its actions; and
- (iii) "affiliated" with another person when it controls, or is controlled by, that other person; or when it and the other person are both controlled by the same person;
- (g) "measure" means any measure, including that of taxation, whether in the form of a law, regulation, rule, procedure, decision, administrative action or any other form;

- (h) 「締約国の措置」とは、次の措置をいう。
- (i) 締約国の中央又は地方の政府及び機関がとる措置
- (ii) 非政府機関が、締約国の中央又は地方の政府又は機関によって委任された権限を行使するに当たってとる措置
- (i) 「サービスの貿易に影響を及ぼす締約国の措置」には、次の締約国の措置を含む。
- (i) サービスの購入、支払又は利用に係る措置
- (ii) サービスの提供に関連して、当該締約国が公衆一般に提供されることを要求しているサービスへのアクセス及び当該サービスの利用に係る措置
- (iii) 当該締約国の区域内におけるサービスの提供のための他方の締約国の者の存在（業務上の拠点を含む。）に係る措置
- (j) 「独占的なサービス提供者」とは、締約国がその区域の関連市場におけるサービスの唯一の提供者として法令上又は事実上許可し、又は設立する者（公私を問わない。）をいう。
- (k) 「他方の締約国の自然人」とは、他方の締約国の法律の下で次の要件を満たす自然人をいう。
- (i) ブルネイ・ダルサラーム国については、ブルネイ・ダルサラーム国の国民であること又は同国における永住者であること。
- (ii) 日本国については、日本国の国民であること。
- (l) 「者」とは、自然人又は法人のいずれかをいう。
- (m) サービスの「分野」とは、次のものをいう。
- (i) 特定の約束については、附属書七の締約国の特定の約束に係る表に特定された当該サービスの一若しくは二以上の又はすべての小分野
- (ii) 当該サービス分野の全体（当該サービス分野のすべての小分野を含む。）

- (h) "measures by a Party" means measures taken by:
- (i) central or local governments and authorities of a Party; and
- (ii) non-governmental bodies in the exercise of powers delegated by central or local governments or authorities of a Party;
- (i) "measures by a Party affecting trade in services" includes measures by a Party in respect of:
- (i) the purchase, payment or use of services;
- (ii) the access to and use of, in connection with the supply of services, services which are required by the Party to be offered to the public generally; and
- (iii) the presence, including commercial presence, of persons of the other Party for the supply of services in the Area of the former Party;
- (j) "monopoly supplier of a service" means any person, public or private, which in the relevant market of the Area of a Party is authorised or established formally or in effect by that Party as the sole supplier of that service;
- (k) "natural person of the other Party" means a natural person who under the law of the other Party:
- (i) in respect of Brunei Darussalam, is a national of Brunei Darussalam or is a permanent resident in Brunei Darussalam; and
- (ii) in respect of Japan, is a national of Japan;
- (l) "person" means either a natural person or a juridical person;
- (m) "sector" of a service means:
- (i) with reference to a specific commitment, one or more, or all, sub-sectors of that service, as specified in a Party's Schedule of Specific Commitments in Annex 7; or
- (ii) otherwise, the whole of that service sector, including all of its sub-sectors;

ブルネイとの経済連携協定

一一八

- (n) 「サービス消費者」とは、サービスを受け、又は利用する者をいう。
- (o) 「他方の締約国のサービス」とは、次のいずれかのサービスをいう。
- (i) 他方の締約国の区域から又はその区域内で提供されるサービス。ただし、海上運送については、他方の締約国の法律に従って登録されている船舶が提供するサービス又は他方の締約国の者が船舶を運航し、若しくは船舶の全体若しくは一部を利用することを通じて提供するサービスに限る。
- (ii) 業務上の拠点又は自然人の存在を通じてサービスが提供される場合には、他方の締約国のサービス提供者が提供するサービス
- (p) 「サービス」とは、政府の権限の行使として提供されるサービス以外のすべての分野におけるすべてのサービスをいう。
- (q) 「政府の権限の行使として提供されるサービス」とは、商業的な原則に基づかず、かつ、一又は二以上のサービス提供者との競争を行うことなく提供されるサービスをいう。
- (r) 「サービス提供者」とは、サービスを提供する者をいう。
- 注釈 法人がサービスを直接提供せず、支店、代表事務所その他の形態の業務上の拠点を通じて提供する場合には、サービス提供者（すなわち、当該法人）に対し、当該業務上の拠点を通じてこの章の規定に基づきサービス提供者に与えられる待遇が与えられる。当該待遇は、当該業務上の拠点に及ぼされるものとし、サービスが提供される締約国の区域の外に所在する当該サービス提供者の部分に及ぼされる必要はない。
- (s) 「他方の締約国のサービス提供者」とは、サービスを提供する他方の締約国の自然人又は法人をいう。
- (t) 「公的企業」とは、締約国が所有し、又は支配している企業をいう。

- (n) "service consumer" means any person that receives or uses a service;
- (o) "service of the other Party" means a service which is supplied:
- (i) from or in the Area of the other Party, or in the case of maritime transport, by a vessel registered under the laws of the other Party, or by a person of the other Party which supplies the service through the operation of a vessel or its use in whole or in part; or
- (ii) in the case of the supply of a service through commercial presence or through the presence of natural persons, by a service supplier of the other Party;
- (p) "services" includes any service in any sector except services supplied in the exercise of governmental authority;
- (q) "services supplied in the exercise of governmental authority" means any services which are supplied neither on a commercial basis nor in competition with one or more service suppliers;
- (r) "service supplier" means any person that supplies a service;
- Note: Where the service is not supplied directly by a juridical person but through other forms of commercial presence such as a branch or a representative office, the service supplier (i.e. the juridical person) shall, nonetheless, through such presence be accorded the treatment provided for service suppliers under this Chapter. Such treatment shall be extended to the presence through which the service is supplied and need not be extended to any other parts of the supplier located outside the Area of a Party where the service is supplied.
- (s) "service supplier of the other Party" means any natural person of the other Party or juridical person of the other Party, that supplies a service;
- (t) "state enterprise" means an enterprise owned or controlled by a Party;

- (u) 「サービスの提供」には、サービスの生産、流通、マーケティング、販売及び納入を含む。
- (v) 「航空運送サービスの販売及びマーケティング」とは、関係する航空運送人が自己の航空運送サービスの販売及びマーケティング（市場調査、広告、流通その他マーケティングのすべての側面を含む。）を自由に行う機会をいう。ただし、これらの活動には、航空運送サービスの価格の決定及びサービスに適用される条件を含まない。
- (w) 「サービスの貿易」とは、次に規定する態様のサービスの提供をいう。
- (i) 一方の締約国の区域から他方の締約国の区域へのサービスの提供（越境の態様による提供）
- (ii) 一方の締約国の区域内におけるサービスの提供であって他方の締約国のサービス消費者に対して行われるもの（海外消費の態様による提供）
- (iii) 一方の締約国のサービス提供者によるサービスの提供であって他方の締約国の区域内の業務上の拠点を通じて行われるもの（業務上の拠点を通ずる態様による提供）
- (iv) 一方の締約国のサービス提供者によるサービスの提供であって他方の締約国の区域内において当該一方の締約国の自然人の存在を通じて行われるもの（自然人の存在を通ずる態様による提供）
- (x) 「運輸権」とは、いずれかの締約国内の地点を出発地若しくは目的地として又は当該締約国内若しくはその上空において、運航し、又は有償若しくは貸切りで旅客、貨物若しくは郵便物を運送する定期又は不定期の航空運送サービスに係る権利（運航地点、運営路線、運送するものの種類、提供する輸送力、運賃及びその条件並びに数、所有、支配その他航空企業を指定するための基準を含む。）をいう。

- (u) "supply of a service" includes the production, distribution, marketing, sale and delivery of a service;
- (v) "the selling and marketing of air transport services" means opportunities for the air carrier concerned to sell and market freely its air transport services including all aspects of marketing such as market research, advertising and distribution. These activities do not include the pricing of air transport services nor the applicable conditions;
- (w) "trade in services" means the supply of a service:
- (i) from the Area of a Party into the Area of the other Party ("cross-border supply mode");
- (ii) in the Area of a Party to the service consumer of the other Party ("consumption abroad mode");
- (iii) by a service supplier of a Party, through commercial presence in the Area of the other Party ("commercial presence mode"); and
- (iv) by a service supplier of a Party, through presence of natural persons of that Party in the Area of the other Party ("presence of natural persons mode"); and
- (x) "traffic rights" means the rights for scheduled and non-scheduled services to operate and/or to carry passengers, cargo and mail for remuneration or hire from, to, within, or over a Party, including points to be served, routes to be operated, types of traffic to be carried, capacity to be provided, tariffs to be charged and their conditions, and criteria for designation of airlines, including such criteria as number, ownership and control.

ブルネイとの経済連携協定

第七十五条 市場アクセス

市場
アクセス

1 一方の締約国は、前条(w)に規定するサービスの提供の態様による市場アクセスに関し、他方の締約国のサービス及びサービス提供者に対し、附属書七の自国の特定の約束に係る表において合意し、及び特定した条件及び制限に基づく待遇よりも不利でない待遇を与える。

注釈 締約国は、前条(w)(i)に規定する提供の態様によるサービスの提供に関し市場アクセスに係る約束を行う場合において、国境を越える資本の移動が当該サービス自体の重要な部分であるときは、当該約束をもって当該資本の移動を認めることを約束したことをとする。締約国は、同条(w)(ii)に規定する提供の態様によるサービスの提供に関し市場アクセスに係る約束を行う場合には、当該約束をもって自国の区域への関連する資本の移動を認めることを約束したことをとする。

2 締約国は、市場アクセスに係る約束を行った分野において、附属書七の自国の特定の約束に係る表において別段の定めをしない限り、小地域を単位とするか自国の区域の全体を単位とするかを問わず、次の措置を維持し、又は採用してはならない。

- (a) サービス提供者の数の制限（数量割当て、独占、排他的なサービス提供者又は経済上の需要を考慮するとの要件のいずれによるものであるかを問わない。）
- (b) サービスの取引総額又は資産総額の制限（数量割当てによるもの又は経済上の需要を考慮するとの要件によるもの）
- (c) サービスの事業の総数又は指定された数量単位によって表示されたサービスの総産出量の制限（数量割当てによるもの又は経済上の需要を考慮するとの要件によるもの）

注釈 この(c)に規定する制限には、サービスの提供のための投入を制限する締約国の措置を含まない。

Article 75
Market Access

1. With respect to market access through the modes of supply defined in subparagraph (w) of Article 74, each Party shall accord services and service suppliers of the other Party treatment no less favourable than that provided for under the terms, limitations and conditions agreed and specified in its Schedule of Specific Commitments in Annex 7.

Note: If a Party undertakes a market-access commitment in relation to the supply of a service through the mode of supply referred to in subparagraph (w)(i) of Article 74 and if the cross-border movement of capital is an essential part of the service itself, that Party is thereby committed to allow such movement of capital. If a Party undertakes a market-access commitment in relation to the supply of a service through the mode of supply referred to in subparagraph (w)(iii) of Article 74, it is thereby committed to allow related transfers of capital into its Area.

2. In sectors where market-access commitments are undertaken, the measures which a Party shall not maintain or adopt either on the basis of a regional subdivision or on the basis of its entire Area, unless otherwise specified in its Schedule of Specific Commitments in Annex 7, are defined as:

- (a) limitations on the number of service suppliers whether in the form of numerical quotas, or the monopolies, exclusive service suppliers, or the requirements of an economic needs test;
- (b) limitations on the total value of service transactions or assets in the form of numerical quotas or the requirement of an economic needs test;
- (c) limitations on the total number of service operations or on the total quantity of service output expressed in terms of designated numerical units in the form of quotas or the requirement of an economic needs test;

Note: This subparagraph does not cover measures of a Party which limit inputs for the supply of services.

内国民待遇

- (d) 特定のサービスの分野において雇用され、又はサービス提供者が雇用する自然人であつて、特定のサービスの提供に必要であり、かつ、その提供に直接関係するものの総数の制限（数量割当てによるもの又は経済上の需要を考慮するとの要件によるもの）
- (e) サービス提供者が合弁企業その他の法定の事業体を通じてサービスを提供する場合において、当該法定の事業体について特定の形態を制限し、又は要求する措置
- (f) 外国資本の参加の制限（外国資本による株式保有率又は個別若しくは全体の投資総額の比率の上限を定めるもの）

第七十六条 内国民待遇

- 1 一方の締約国は、附属書七の自国の特定の約束に係る表に記載する分野において、かつ、当該表に定める条件及び制限に従い、サービスの提供に影響を及ぼすすべての措置に関し、他方の締約国のサービス及びサービス提供者に対し、自国の同種のサービス及びサービス提供者に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

注釈 この条の規定に基づいて行われる特定の約束は、いずれの締約国に対しても、関連するサービス又はサービス提供者が自国のものでないことにより生ずる競争上の固有の不利益を補償することを要求するものと解してはならない。

- 2 一方の締約国は、他方の締約国のサービス及びサービス提供者に対し自国の同種のサービス及びサービス提供者に与える待遇と形式的に同一の待遇を与えるか形式的に異なる待遇を与えるかを問わず、1の規定の義務を履行することができる。
- 3 一方の締約国が他方の締約国のサービス又はサービス提供者に対して与える形式的に同一の又は形式的に異なる待遇により競争条件が当該他方の締約国の同種のサービス又はサービス提供者と比較して自国のサービス又はサービス提供者にとつて有利となる場合には、当該待遇は、自国のサービス又はサービス提供者に与える待遇よりも不利であると認める。

- (d) limitations on the total number of natural persons that may be employed in a particular service sector or that a service supplier may employ and who are necessary for, and directly related to, the supply of a specific service in the form of numerical quotas or the requirement of an economic needs test;
- (e) measures which restrict or require specific types of legal entity or joint venture through which a service supplier may supply a service; and
- (f) limitations on the participation of foreign capital in terms of maximum percentage limit on foreign shareholding or the total value of individual or aggregate foreign investment.

Article 76
National Treatment

1. In the sectors inscribed in its Schedule of Specific Commitments in Annex 7, and subject to any conditions and qualifications set out therein, each Party shall accord to services and service suppliers of the other Party, in respect of all measures affecting the supply of services, treatment no less favourable than that it accords to its own like services and service suppliers.

Note: Specific commitments assumed under this Article shall not be construed to require either Party to compensate for any inherent competitive disadvantages which result from the foreign character of the relevant services or service suppliers.

2. A Party may meet the requirement of paragraph 1 by according to services and service suppliers of the other Party, either formally identical treatment or formally different treatment to that it accords to its own like services and service suppliers.
3. Formally identical or formally different treatment shall be considered to be less favourable if it modifies the conditions of competition in favour of services or service suppliers of a Party compared to like services or service suppliers of the other Party.

ブルネイとの経済連携協定

第七十七条 追加的な約束

両締約国は、前二条の規定に基づく特定の約束に係る表への記載の対象となっていないサービスの貿易に影響を及ぼす措置（資格、基準又は免許についての事項に関するものを含む。）に関する約束について交渉することができる。当該約束については、附属書七の自国の特定の約束に係る表に記載する。

第七十八条 特定の約束に係る表

1 各締約国は、前三条の規定に基づいて行う特定の約束を自国の特定の約束に係る表に記載する。特定の約束に係る表は、附属書七に掲げる。

2 附属書七の特定の約束に係る表は、特定の約束を行った分野に関し、次の事項を特定する。

- (a) 市場アクセスの条件及び制限
- (b) 内国民待遇についての条件及び制限
- (c) 追加的な約束
- (d) 適当な場合には、当該特定の約束の履行のための期間

3 第七十五条及び第七十六条のいずれの規定にも適合しない措置は、第七十五条に関する欄に記載する。その記載は、第七十六条の規定についての条件又は制限でもありとみなす。

第七十九条 最恵国待遇

1 一方の締約国は、他方の締約国のサービス及びサービス提供者に対し、第三国の同種のサービス及びサービス提供者に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

2 1の規定は、締約国が附属書八の自国の表に記載する分野、小分野又は活動に関する措置については適用しない。



Article 77
Additional Commitments

The Parties may negotiate commitments with respect to measures affecting trade in services not subject to scheduling under Articles 75 and 76, including those regarding qualifications, standards or licensing matters. Such commitments shall be inscribed in a Party's Schedule of Specific Commitments in Annex 7.

Article 78
Schedule of Specific Commitments

1. Each Party shall set out in a schedule the specific commitments it undertakes under Articles 75, 76 and 77. Schedules of Specific Commitments shall be annexed to this Agreement as Annex 7.

2. With respect to sectors where specific commitments are undertaken by each Party, its Schedule of Specific Commitments in Annex 7 shall specify:

- (a) terms, limitations and conditions on market access;
- (b) conditions and qualifications on national treatment;
- (c) undertakings relating to additional commitments; and
- (d) where appropriate, the time-frame for implementation of such commitments.

3. Measures inconsistent with both Articles 75 and 76 shall be inscribed in the column relating to Article 75. This inscription will be considered to provide a condition or qualification to Article 76 as well.

Article 79
Most-Favoured-Nation Treatment

1. Each Party shall accord to services and service suppliers of the other Party treatment no less favourable than that it accords to like services and service suppliers of any non-Party.

2. Paragraph 1 shall not apply to any measure by a Party with respect to sectors, sub-sectors or activities, as set out in its Schedule in Annex 8.

3 一方の締約国は、第三国とサービスの貿易に関する協定を締結している場合又はこの協定の効力発生後にこのような協定を締結する場合には、附属書八の自国の表に含まれる分野、小分野又は活動に関し、他方の締約国の要請に応じて、当該他方の締約国のサービス及びサービス提供者に対し、このような協定に従って当該第三国の同種のサービス及びサービス提供者に与える待遇より不利でない待遇を与えるよう考慮する。

第八十条 資格、技術上の基準及び免許

資格要件及び資格の審査に係る手続、技術上の基準並びに免許要件に関連する締約国の措置がサービスの貿易に対する必要な障害とならないことを確保するため、各締約国は、これらの措置が次の基準に適合することを確保するよう努める。

- (a) 客観的な、かつ、透明性を有する基準（サービスを提供する能力等）に基づくこと。
- (b) サービスの質を確保するために必要である以上に大きな負担とならないこと。
- (c) 免許の手続については、それ自体がサービスの提供に対する制限とならないこと。

第八十一条 相互承認

- 1 一方の締約国は、他方の締約国のサービス提供者に対し許可、免許又は資格証明を与えるための自国の基準の全部又は一部を適用する上で、当該他方の締約国において得られた教育若しくは経験、満たされた要件又は与えられた免許若しくは資格証明を承認することができ。
- 2 調和その他の方法により行うことができる1の規定による承認は、両締約国間の協定若しくは取決めに基づいて又は一方的に行うことができる。
- 3 一方の締約国が、第三国において得られた教育若しくは経験、満たされた要件又は与えられた免許若しくは資格証明を一方的に又は当該一方の締約国と当該第三国との間の協定若しくは取決めに基いて承認することとする場合には、

3. If a Party has entered into an agreement on trade in services with a non-Party, or enters into such an agreement after this Agreement comes into force, with respect to sectors, sub-sectors or activities included in its Schedule in Annex 8, it shall, upon the request of the other Party, consider according to services and service suppliers of the other Party, treatment no less favourable than that it accords to like services and service suppliers of that non-Party pursuant to such an agreement.

Article 80
Qualifications, Technical Standards and Licensing

With a view to ensuring that measures by a Party relating to qualification requirements and procedures, technical standards and licensing requirements do not constitute unnecessary barriers to trade in services, each Party shall endeavour to ensure that such measures:

- (a) are based on objective and transparent criteria, such as competence and the ability to supply the service;
- (b) are not more burdensome than necessary to ensure the quality of the service; and
- (c) in the case of licensing procedures, are not in themselves a restriction on the supply of the service.

Article 81
Mutual Recognition

1. A Party may recognise the education or experience obtained, requirements met, or licences or certifications granted in the other Party for the purposes of the fulfilment, in whole or in part, of its standards or criteria for the authorisation, licensing or certification of service suppliers of other Party.
2. Recognition referred to in paragraph 1, which may be achieved through harmonisation or otherwise, may be based upon an agreement or arrangement between the Parties or may be accorded unilaterally.
3. Where a Party recognises, unilaterally or by agreement or arrangement between the Party and a non-Party, the education or experience obtained, requirements met or licences or certifications granted in the non-Party:

- (a) 第七十九条のいかなる規定も、当該一方の締約国に対し、他方の締約国において得られた教育若しくは経験、満たされた要件又は与えられた免許若しくは資格証明を承認することを求めるものと解してはならない。
- (b) 当該一方の締約国は、他方の締約国に対し、当該他方の締約国において得られた教育若しくは経験、満たされた要件又は与えられた免許若しくは資格証明も承認されるべきか否かについて意見を表明するための機会を十分に与える。

第八十二条 透明性

透
明
性

1 第二条2に規定する権限のある当局は、他方の締約国のサービス提供者の要請があった場合には、同条1に規定する事項に関して、速やかに、当該他方の締約国のサービス提供者の個別の質問に応じ、及び当該他方の締約国のサービス提供者に情報を提供するように努める。

2 一方の締約国は、この協定の効力発生の日から二年以内に、第七十五条又は第七十六条の規定に適合しないすべての現行の措置であつて、この章の規定の対象とされているもの（これらの措置が附属書七の自国の特定の約束に含まれているか否かを問わない。）を記載する表を作成し、他方の締約国に送付し、及び公表する。当該表は次の要素を含むものとし、三年ごとに見直しを行い、必要に応じて改定する。

- (a) 分野及び小分野
- (b) 適合しない規定（市場アクセス又は内国民待遇に係るもの）の種類
- (c) 当該措置の法的根拠その他の根拠
- (d) 当該措置の簡潔な説明

注釈 この2の規定に基づく表は、透明性のためにのみ作成されるものであり、この章の規定に基づく締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものと解してはならない。

- (a) nothing in Article 79 shall be construed to require the Party to accord such recognition to the education or experience obtained, requirements met or licences or certifications granted in the other Party; and
- (b) the Party shall accord the other Party an adequate opportunity to demonstrate that the education or experience obtained, requirements met or licences or certifications granted in the other Party should also be recognised.

Article 82
Transparency

1. The competent authorities referred to in paragraph 2 of Article 3 shall endeavour, upon request by service suppliers of the other Party, to promptly respond to specific questions from, and provide information to, the service suppliers with respect to matters referred to in paragraph 1 of Article 3.

2. Within two years from the date of entry into force of this Agreement, each Party shall prepare, forward to the other Party and make public a list providing all existing measures, within the scope of this Chapter, which are inconsistent with Article 75 and/or 76, whether or not these measures are included in its specific commitments in Annex 7. The list shall include the following elements and shall be reviewed every three years and revised as necessary:

- (a) sector and sub-sector;
- (b) type of inconsistency (i.e. Market Access and/or National Treatment);
- (c) legal source or authority of the measure; and
- (d) succinct description of the measure.

Note: The list under this paragraph will be made solely for the purposes of transparency, and shall not be construed to affect any rights and obligations of a Party under this Chapter.

第八十三条 独占及び排他的なサービス提供者

- 1 各締約国は、自国の区域内の独占的なサービス提供者が関連する市場において独占的なサービスを提供するに当たりこの章の規定に基づく自国の約束に反する態様で活動しないことを確保する。
- 2 締約国の独占的なサービス提供者が自己の独占権の範囲外のサービスであって当該締約国の特定の約束に従うべきものを提供するに当たって直接に又は提携する法人を通じて競争する場合には、当該締約国は、当該サービス提供者が自国の区域内において当該特定の約束に反する態様で活動するために自己の独占的地位を濫用しないことを確保する。
- 3 この条の規定は、排他的なサービス提供者の場合、すなわち、締約国が法令上又は事実上、(a)少数のサービス提供者を許可し、又は設立し、かつ、(b)自国の区域内でこれらのサービス提供者の間の競争を実質的に妨げる場合についても適用する。

第八十四条 支払及び資金の移転

- 1 締約国は、次条に規定する場合を除くほか、自国の特定の約束に関連する經常取引のための資金の国際的な移転及び支払に対して制限を課してはならない。
- 2 この章のいかなる規定も、国際通貨基金協定に適合する為替の利用を含め、同協定に基づく国際通貨基金の加盟国としての両締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。ただし、締約国は、次条の規定に基づく場合又は国際通貨基金の要請による場合を除くほか、自国の特定の約束であって資本取引に関するものに反するような制限を資本取引に対して課してはならない。

Article 83
Monopolies and Exclusive Service Suppliers

1. Each Party shall ensure that any monopoly supplier of a service in its Area does not, in the supply of the monopoly service in the relevant market, act in a manner inconsistent with the Party's commitments under this Chapter.
2. Where a Party's monopoly supplier competes, either directly or through an affiliated juridical person, in the supply of a service outside the scope of its monopoly rights and which is subject to that Party's specific commitments, the Party shall ensure that such a supplier does not abuse its monopoly position to act in the Area of the Party in a manner inconsistent with such commitments.

3. The provisions of this Article shall also apply to cases of exclusive service suppliers, where a Party, formally or in effect:
 - (a) authorises or establishes a small number of service suppliers; and
 - (b) substantially prevents competition among those suppliers in its Area.

Article 84
Payments and Transfers

1. Except under the circumstances envisaged in Article 85, a Party shall not apply restrictions on international transfers and payments for current transactions relating to its specific commitments.
2. Nothing in this Chapter shall affect the rights and obligations of the Parties as members of the International Monetary Fund under the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended, including the use of exchange actions which are in conformity with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended, provided that a Party shall not impose restrictions on any capital transactions inconsistently with its specific commitments regarding such transactions, except under Article 85, or at the request of the International Monetary Fund.

ブルネイとの経済連携協定

第八十五条 国際収支の擁護のための制限

国際収支の擁護のための制限

1 国際収支及び対外支払に関して重大な困難が生じている場合又は生ずるおそれのある場合には、締約国は、特定の約束を行ったサービスの貿易に対する制限（当該約束に関連する取引のための支払又は資金の移転に対するものを含む。）を課し、又は維持することができ、

2 1に規定する制限は、次のすべての要件を満たすものとする。

(a) 他方の締約国が第三国と同等に取り扱われることを確保するものであること。

(b) 国際通貨基金協定に適合するものであること。

(c) 他方の締約国の商業上、経済上又は資金上の利益に対し不必要な損害を与えることを避けるものであること。

(d) 1に規定する状況に対処するために必要な限度を超えないものであること。

(e) 一時的なものであり、1に規定する状況が改善するに伴い漸進的に廃止されるものであること。

3 締約国は、1に規定する制限を決定するに当たり、自国の経済又は開発の計画において一層重要なサービスの提供を優先させることができる。ただし、特定のサービスの分野を保護するために当該制限を課してはならず、また、これを維持してはならない。

4 1の規定に基づいて一方の締約国が課し、若しくは維持する制限又はその変更については、他方の締約国に対して速やかに通報する。

5 一方の締約国が1の規定に基づいて制限を課した場合には、当該一方の締約国は、要請に応じて、自国が課した制限の見直しを行うため、他方の締約国と速やかに協議を開始する。

一二六

Article 85 Restrictions to Safeguard the Balance of Payments

1. In the event of serious balance-of-payments and external financial difficulties or threat thereof, a Party may adopt or maintain restrictions on trade in services on which it has undertaken specific commitments, including on payments or transfers for transactions related to such commitments.

2. The restrictions referred to in paragraph 1:

(a) shall ensure that the other Party is treated as favourably as any non-Party;

(b) shall be consistent with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended;

(c) shall avoid unnecessary damage to the commercial, economic and financial interests of the other Party;

(d) shall not exceed those necessary to deal with the circumstances described in paragraph 1; and

(e) shall be temporary and be phased out progressively as the situation specified in paragraph 1 improves.

3. In determining the incidence of such restrictions, a Party may give priority to the supply of services which are more essential to its economic or development programmes. However, such restrictions shall not be adopted or maintained for the purposes of protecting a particular service sector.

4. Any restrictions adopted or maintained under paragraph 1, or any changes therein, shall be promptly notified to the other Party.

5. Where a Party has adopted restrictions pursuant to paragraph 1, that Party shall, upon request, commence consultations with the other Party promptly in order to review the restrictions adopted by the former Party.

利益の否認

第八十六条 利益の否認

- 1 一方の締約国は、他方の締約国のサービス提供者により提供されるサービスが第三国の者によって所有され、又は支配される法人により提供されており、かつ、次のいずれかの場合に該当すると認めるときは、当該他方の締約国のサービス提供者に対し、この章の規定による利益を否認することができる。
- (a) 当該一方の締約国が当該第三国と外交関係を有していない場合
- (b) 当該第三国に関する措置であつて、当該法人との取引を禁止するもの又は当該法人に対してこの章の規定による利益を与えることにより当該措置に違反し、若しくは当該措置を阻害することとなるものを当該一方の締約国が採用し、又は維持する場合
- 2 一方の締約国は、他方の締約国のサービス提供者により提供されるサービスが第三国の者によって所有され、又は支配される法人であつて、当該他方の締約国の区域内において実質的な事業活動を行つていないものにより提供されていると認めるときは、事前の通報及び協議を行うことを条件として、当該他方の締約国のサービス提供者に対し、この章の規定による利益を否認することができる。

第八十七条 サービスの貿易に関する小委員会

- 1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、サービスの貿易に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。
- 2 小委員会は、次の事項を任務とする。
 - (a) 互恵的な基礎の上に一層の自由化を達成し、かつ、権利及び義務の全体的な均衡を確保するため、この章の規定に基づくサービスの貿易に影響を及ぼす措置に関する約束の見直しを行うこと。
 - (b) この章の規定の実施及び運用について見直しを行うこと。
 - (c) 合同委員会に対し小委員会の討議の結果を報告すること。
 - (d) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。

Article 86
Denial of Benefits

1. A Party may deny the benefits of this Chapter to a service supplier of the other Party, where the denying Party establishes that the service is being supplied by a juridical person that is owned or controlled by persons of a non-Party, and that denying Party:
 - (a) does not maintain diplomatic relations with the non-Party; or
 - (b) adopts or maintains measures with respect to the non-Party that prohibit transactions with the juridical person or that would be violated or circumvented if the benefits of this Chapter were accorded to the juridical person.
2. Subject to prior notification and consultation, a Party may deny the benefits of this Chapter to a service supplier of the other Party, where the denying Party establishes that the service is being supplied by a juridical person that is owned or controlled by persons of a non-Party and that has no substantive business operations in the Area of the other Party.

Article 87
Sub-Committee on Trade in Services

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Trade in Services (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.
2. The functions of the Sub-Committee shall be:
 - (a) reviewing commitments, with respect to measures affecting trade in services in this Chapter, with a view to achieving further liberalisation on a mutually advantageous basis and securing an overall balance of rights and obligations;
 - (b) reviewing the implementation and operation of this Chapter;
 - (c) reporting the outcome of discussions of the Sub-Committee to the Joint Committee; and
 - (d) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.

サービスの貿易に関する小委員会

ブルネイとの経済連携協定

3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。

(b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。

4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であつて、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができる。

5 小委員会は、この協定の効力発生の日から二年以内に、創立会合を開催することができる。小委員会のその後の会合は、両締約国が合意する頻度で開催する。

第八十八条 約束の見直し

約束の見直し

1 両締約国は、この協定に基づき行ったサービスの貿易に関する約束の全般的な改善を行うため、この協定の効力発生の日から二年以内に最初の見直しを行う。

2 両締約国は、1の規定に従つて見直しを行うに当たり、サービス貿易一般協定第四条1の規定を考慮する。

第七章 エネルギー

第八十九条 基本原則

基本原則

両締約国は、エネルギー分野における安定的かつ互恵的な関係を強化することが重要であることを認識する。

第九十条 定義

定義

この章の規定の適用上、

(a) 「エネルギー物品」とは、統一システムの第二七〇九・〇〇号、第二七一一・一一号及び第二七一一・二二号に分類される物品をいう。

3. The Sub-Committee shall be:

(a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and

(b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.

4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.

5. The Sub-Committee may hold its inaugural meeting within two years from the date of entry into force of this Agreement. The subsequent meeting of the Sub-Committee shall be held at such frequency as the Parties may agree upon.

Article 88

Review of Commitments

1. The Parties shall review commitments on trade in services with the first review within two years from the date of entry into force of this Agreement, with the aim of improving the overall commitments undertaken by the Parties under this Agreement.

2. In reviewing the commitments in accordance with paragraph 1, the Parties shall take into account paragraph 1 of Article IV of the GATS.

Chapter 7

Energy

Article 89

Basic Principle

The Parties recognise the importance of strengthening stable and mutually beneficial relationship in the energy sector.

Article 90

Definitions

For the purposes of this Chapter:

(a) "energy good" means any good classified in subheading 2709.00, 2711.11 and 2711.21 of the Harmonized System;

(b) 「エネルギー規制機関」とは、エネルギー物品の探査、開発、生産、運用、運送、輸送若しくは分配、購入又は販売を規制し、及び管理する政府機関又は公的企業をいう。

注釈 この(b)の規定の適用上、ブルネイ・ダルサラーム国については、「公的企業」とは、ブルネイ

国営石油会社センディリアン・ベルハッドをいう。

(c) 「エネルギー規制措置」とは、エネルギー分野における活動に直接影響を及ぼすエネルギー規制機関の措置をいう。

第九十一条 輸入及び輸出の制限

1 各締約国は、エネルギー物品の輸入又は輸出の禁止又は制限を適用するに当たり、契約関係に十分な考慮を払い、及び当該禁止又は制限を秩序ある公正かつ衡平な方法で実施する。

2 一方の締約国は、エネルギー物品の輸入又は輸出の新たな禁止又は制限を導入する場合には、可能な限り当該禁止又は制限の導入の前に、又はそれが不可能なときはその後できる限り速やかに、他方の締約国に対し当該禁止又は制限について書面による通報（入手可能な場合には、当該禁止又は制限の手続並びに当該エネルギー物品の輸入、輸出及び国内需要についての統計に関する関連情報を提供するもの）を行う。また、当該一方の締約国は、当該他方の締約国の要請があった場合には、当該禁止又は制限について当該他方の締約国と協議を行う。一方の締約国は、他方の締約国が当該協議において提示する見解に対して好意的な考慮を払う。

第九十二条 エネルギー規制措置

1 各締約国は、自国のエネルギー規制機関が、エネルギー規制措置を適用するに当たり、契約関係に及ぼす悪影響を最小にし、及び当該エネルギー規制措置を秩序ある公正かつ衡平な方法で実施することを確保するよう努める。

(b) “energy regulatory bodies” means governmental bodies or state enterprises that regulate and control the exploration, exploitation, production, operation, transportation, transmission or distribution, purchase or sale of an energy good; and

Note: For the purposes of this subparagraph, in the case of Brunei Darussalam, “state enterprise” means the Brunei National Petroleum Company Sendirian Bernad.

(c) “energy regulatory measure” means any measure by energy regulatory bodies that directly affects an activity in the energy sector.

Article 91
Import and Export Restrictions

1. In the application of any prohibition or restriction on the importation or exportation of energy goods, each Party shall give due consideration to contractual relationships and implement such prohibition or restriction in an orderly, fair and equitable manner.

2. When introducing any new prohibition or restriction on the importation or exportation of energy goods, each Party shall give to the other Party written notice thereof, whenever possible prior to the introduction of such prohibition or restriction or, if not, as soon as possible thereafter, providing relevant information, where available, concerning the procedure of the prohibition or restriction, statistics on importation, exportation and domestic demand of the energy goods and hold, upon the request of the other Party, consultation with the other Party on such prohibition or restriction. Each Party shall accord sympathetic consideration to views presented by the other Party in the course of such consultation.

Article 92
Energy Regulatory Measures

1. Each Party shall seek to ensure that, in the application of any energy regulatory measure, energy regulatory bodies of the Party minimise adverse effects upon contractual relationships and implement such measure in an orderly, fair and equitable manner.

ブルネイとの経済連携協定

2 一方の締約国のエネルギー規制機関が新たなエネルギー規制措置を採用し、かつ、当該エネルギー規制措置が契約関係に実質的な影響を及ぼすおそれがある場合には、当該一方の締約国は、可能な限り当該エネルギー規制措置の効力発生の日の前に、又はそれが不可能なときはその後できる限り速やかに、他方の締約国に対し当該エネルギー規制措置について書面による通報を行う。

3 一方の締約国のエネルギー規制機関が、2に規定する新たなエネルギー規制措置であってエネルギー物品の運送、輸送若しくは分配、購入又は販売に実質的な影響を及ぼすものを採用する場合には、当該一方の締約国は、他方の締約国の要請があった場合には、当該エネルギー規制措置について当該他方の締約国と協議を行う。一方の締約国は、他方の締約国が当該協議において提示する見解に対し好意的な考慮を払う。

注釈 この3の規定の適用上、統一システムの第二七一・二二二号に分類される物品の液化及び再ガス化に関して一方の締約国のエネルギー規制機関がとるエネルギー規制措置は、当該物品の運送、輸送若しくは分配、購入又は販売に実質的な影響を及ぼすエネルギー規制措置とみなす。

第九十三条 環境上の側面

1 各締約国は、持続可能な開発を達成するに当たり、自国が締結している環境に関する国際協定に基づく自国の義務を考慮して、自国の関係法令に従い、自国の区域内におけるエネルギーに関連するすべての活動の有害な環境上の影響を経済上効率的な方法で最小にするよう努める。

2 各締約国は、次の事項を行う。

- (a) エネルギーについての自国の政策の作成及び実施の過程を通じて環境に考慮を払うこと。
- (b) 環境の保護に貢献する技術の移転及び普及のための良好な条件であって、知的財産権の十分かつ有効な保護に適合したものを奨励すること。
- (c) エネルギーに関連する活動の環境上の影響並びに当該影響の防止又は除去の範囲及び当該防止又は除去に係る費用に関する啓発を促進すること。

2. If energy regulatory bodies of a Party adopt any new energy regulatory measure and where such measure may have substantial effects on contractual relationships, the Party shall give written notice to the other Party of such measure, where possible prior to the effective date of the measure or, if not, as soon as possible thereafter.

3. Where energy regulatory bodies of a Party adopt any new energy regulatory measure under paragraph 2 that substantially affects the transportation, transmission or distribution, purchase or sale of an energy good, the Party shall hold, upon the request of the other Party, consultation with the other Party. Each Party shall accord sympathetic consideration to views presented by the other Party in the course of such consultation.

Note: For the purposes of this paragraph, an energy regulatory measure taken by energy regulatory bodies of a Party with respect to the liquefaction and re-gasification of goods classified in subheading 2711.21 of the Harmonized System shall be considered as an energy regulatory measure that substantially affects the transportation, transmission or distribution, purchase or sale of such goods.

Article 93
Environmental Aspects

1. In pursuit of sustainable development and taking into account its obligations under those international agreements concerning environment to which it is a party, each Party shall endeavour to minimise, in accordance with its applicable laws and regulations, in an economically efficient manner, harmful environmental impacts of all activities related to energy in its Area.

2. Each Party shall:

- (a) take account of environmental considerations throughout the process of formulation and implementation of its policy on energy;
- (b) encourage favourable conditions for the transfer and dissemination of technologies that contribute to the protection of environment, consistent with the adequate and effective protection of intellectual property rights; and
- (c) promote public awareness of environmental impacts of activities related to energy and of the scope for and the costs associated with the prevention or abatement of such impacts.

第九十四条 協力

1 両締約国は、それぞれ自国の法令に従い、エネルギー分野における安定的かつ互恵的な関係を強化するため、この章の規定に基づく協力を促進する。このため、両締約国は、協力し、並びに必要なかつ適当な場合には、両締約国のエネルギー分野の民間部門の関係事業者間の協力を奨励し、及び円滑にする。

2 両締約国は、それぞれ自国の法令に従い、この条の規定に基づく協力の実施のために必要な資金その他の資源を利用可能なものとするよう努める。

3 (a) この条の規定に基づく協力の範囲には、次の事項を含めることができる。

- (i) 政策立案
- (ii) 人材養成
- (iii) 技術開発
- (iv) 両締約国が相互に合意する協力のその他の範囲に関すること。

(b) この条の規定に基づく協力の形態については、実施取極で定める。

4 この条の規定に基づく協力の費用は、両締約国が相互に合意する方法で負担する。

5 第十章に定める紛争解決手続は、この条の規定については、適用しない。

第九十五条 エネルギーに関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、エネルギーに関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

(a) この章の規定の実施及び運用について見直しを行い、及び監視すること。

Article 94
Cooperation

1. The Parties shall, in accordance with their respective laws and regulations, promote cooperation under this Chapter for strengthening stable and mutually beneficial relationship in the energy sector. For this purpose, the Parties shall cooperate and, where necessary and appropriate, encourage and facilitate cooperation between their relevant entities in the private sector in the energy sector.

2. The Parties shall endeavour to make available the necessary funds and other resources for the implementation of cooperation under this Article in accordance with their respective laws and regulations.

3. (a) Areas of cooperation under this Article may include:

- (i) policy development;
- (ii) human resource development;
- (iii) technological development; and
- (iv) other areas of cooperation to be mutually agreed by the Parties.

(b) Forms of cooperation under this Article shall be set forth in the Implementing Agreement.

4. Costs of cooperation under this Article shall be borne in such manner to be mutually agreed by the Parties.

5. The dispute settlement procedures provided for in Chapter 10 shall not apply to this Article.

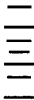
Article 95
Sub-Committee on Energy

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Energy (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

2. The functions of the Sub-Committee shall be:

(a) reviewing and monitoring the implementation and operation of this Chapter;

ブルネイとの経済連携協定



- (b) この章の規定に関連する問題について情報を交換すること。
- (c) この章の規定に関連する問題（この章の規定の解釈及び適用を含む。）について討議すること。
- (d) 合同委員会に対し小委員会の所見を報告し、及び適当な場合には、勧告を行うこと。
- (e) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。
- (b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。
- 4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であつて、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができる。
- 5 小委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。

第八章 ビジネス環境の整備

第九十六条 基本原則

- 1 一方の締約国は、自国の法令に従い、自国において事業活動を遂行する他方の締約国の企業の利益のためビジネス環境を一層整備するために適当な措置をとる。
- 2 両締約国は、それぞれ自国の法令に従い、自国におけるビジネス環境を一層整備するための協力を促進する。

第九十七条 知的財産

各締約国は、自国におけるビジネス環境を一層整備するに当たつて知的財産を保護することが重要であることを認識し、次の事項を行う。

知的財産

- (b) exchanging information on any matters related to this Chapter;
- (c) discussing any issues related to this Chapter, including the interpretation and application of this Chapter;
- (d) reporting the findings of the Sub-Committee and, where appropriate, making recommendations, to the Joint Committee; and
- (e) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.
- 3. The Sub-Committee shall be:
 - (a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and
 - (b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.
- 4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.
- 5. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

Chapter 8

Improvement of Business Environment

Article 96

Basic Principles

- 1. Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, take appropriate measures to further improve the business environment for the benefit of the enterprises of the other Party conducting their business activities in the former Party.
- 2. The Parties shall, in accordance with their respective laws and regulations, promote cooperation to further improve the business environment in the respective Parties.

Article 97

Intellectual Property

Each Party, recognising the importance of protecting intellectual property in further improving the business environment in the Party, shall:

- (a) 自国の知的財産の保護に関する制度を整備すること。
- (b) 自国が締結している知的財産に関する国際協定に規定する義務を履行すること。
- (c) 自国が締結していない知的財産に関する国際協定の締約国となるよう努めること。
- (d) 知的財産に関し、透明性のある、かつ、簡素化された行政上の手続を確保するよう努めること。
- (e) 知的財産権の十分かつ効果的な行使を確保するよう努めること。
- (f) 知的財産の保護についての啓発を一層促進するよう努めること。

第九十八条 政府調達

一方の締約国は、自国におけるビジネス環境を一層整備するに当たって自国の政府調達市場の自由化を促進することが重要であることを認識し、次の事項を行うよう努める。

- (a) 他方の締約国の物品、サービス及び供給者に対し、最恵国待遇を与えること。
- (b) 政府調達に関する措置の透明性を高めること。
- (c) 政府調達に関する措置を公正かつ効果的な方法で実施すること。

第九十九条 ビジネス環境の整備に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、ビジネス環境の整備に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

政府調達

- (a) endeavour to improve its intellectual property protection system;
- (b) comply with the obligations set out in the international agreements relating to intellectual property to which it is a party;
- (c) endeavour to become a party to international agreements relating to intellectual property to which it is not a party;
- (d) endeavour to ensure transparent and streamlined administrative procedures concerning intellectual property;
- (e) endeavour to ensure adequate and effective enforcement of intellectual property rights; and
- (f) endeavour to further promote public awareness of protection of intellectual property.

Article 98
Government Procurement

Each Party, recognising the importance of enhancing liberalisation of its government procurement markets in further improving the business environment in the Party, shall endeavour to:

- (a) accord most-favoured-nation treatment to goods, services and suppliers of the other Party;
- (b) enhance transparency of the measures regarding government procurement; and
- (c) implement in a fair and effective manner the measures regarding government procurement.

Article 99
Sub-Committee on Improvement of Business Environment

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Improvement of Business Environment (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

ビジネス環境の整備に関する小委員会

ブルネイとの経済連携協定

- 2 小委員会は、次の事項を任務とする。
- (a) 関連する他の小委員会の作業との不必要な重複を避けるため、関連する他の小委員会と協力して、小委員会が適当と認める問題に取り組むこと。
- (b) 必要に応じ、両締約国に対し、両締約国がとるべき適当な措置について勧告を行うこと。
- (c) 両締約国政府の関係当局から、(b)に規定する勧告の実施に関する情報を受領すること。
- (d) 必要に応じ、(b)に規定する勧告を適当な方法により公表すること。
- (e) 合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。
- (f) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。
- (b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。
- 4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であつて、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができる。
- 5 小委員会は、両締約国が合意する場所及び時期において会合する。
- 第百条 第十章の規定の不適用

第十章に定める紛争解決手続は、この章の規定については、適用しない。

第十章の規定の適用

2. The functions of the Sub-Committee shall be:
- (a) addressing issues that the Sub-Committee considers appropriate in cooperation with other relevant sub-committee(s) with a view to avoiding unnecessary overlap with the works of such other relevant sub-committee(s);
- (b) making, as needed, recommendations to the Parties on appropriate measures to be taken by the Parties;
- (c) receiving information on the implementation of such recommendations from the relevant authorities of the Governments of the Parties;
- (d) making public, as needed, such recommendations in an appropriate manner;
- (e) reporting the findings of the Sub-Committee to the Joint Committee; and
- (f) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.
3. The Sub-Committee shall be:
- (a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and
- (b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.
4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.
5. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.
- Article 100
Non-Application of Chapter 10
- The dispute settlement procedures provided for in Chapter 10 shall not apply to this Chapter.

基本原則

第九章 協力

第百一条 基本原則

1 両締約国は、それぞれ自国の法令に従い、両締約国間の貿易及び投資を自由化し、及び円滑化し、並びに両締約国の国民の福祉を増進することを目的として、この協定に基づく協力であつて相互の利益に資するものを促進する。このため、両締約国は、協力し、並びに必要な場合には両締約国の民間部門の事業体の間の協力を奨励し、及び円滑にする。

2 この章は、以下の事項を行うための協力の枠組みを提供することを主要な目的とする。

- (a) 両締約国間の経済関係を多様化すること。
- (b) 両締約国の経済競争力を強化すること。
- (c) 両締約国における人材養成を推進すること。
- (d) 両締約国における持続可能な開発を促進すること。
- (e) 両締約国の国民の全般的な福祉を向上させること。

第百二条 協力の分野

この章の規定に基づく協力の分野には、次の事項を含める。

- (a) 貿易及び投資の促進
- (b) 中小企業
- (c) 農業、林業及び漁業
- (d) 観光
- (e) 教育及び人材養成
- (f) 情報通信技術
- (g) 科学技術

Chapter 9
Cooperation

Article 101
Basic Principles

1. The Parties shall, in accordance with their respective laws and regulations, promote cooperation under this Agreement for their mutual benefits in order to liberalise and facilitate trade and investment between the Parties and to promote the well-being of the peoples of both Parties. For this purpose, the Parties shall cooperate and, where necessary and appropriate, encourage and facilitate cooperation between their respective entities in the private sector.

2. The main objective of this Chapter is to provide a framework for cooperation in order to:

- (a) diversify economic relations between the Parties;
- (b) strengthen economic competitiveness of the Parties;
- (c) advance human resource development in the Parties;
- (d) promote sustainable development in the Parties; and
- (e) improve overall well-being of the peoples of both Parties.

Article 102
Fields of Cooperation

The fields of cooperation under this Chapter shall include:

- (a) trade and investment promotion;
- (b) small and medium enterprises;
- (c) agriculture, forestry and fisheries;
- (d) tourism;
- (e) education and human resource development;
- (f) information and communications technology;
- (g) science and technology;

- (h) 環境
- (i) 知的財産
- (j) 陸上交通
- (k) 両締約国が相互に合意するその他の分野

第百三条 協力の範囲及び形態

この章の規定に基づく協力の範囲及び形態については、適当な場合には、実施取極で定める。

第百四条 協力の費用

1 両締約国は、それぞれ自国の法令に従い、この章の規定に基づく協力の実施のために必要な資金その他の資源を利用可能なものとするよう努める。

2 この章の規定に基づく協力の費用は、両締約国が相互に合意する方法で負担する。

第百五条 協力に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、この協定の効力発生の日に、協力に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

- (a) この章の規定に基づく協力の優先分野を特定し、及び提案すること。
- (b) この章の規定の実施及び運用のための適切な協力について、見直しを行い、監視し、及び円滑にすること。
- (c) この章の規定に関連する問題について討議すること。

- (h) environment;
- (i) intellectual property;
- (j) land transportation; and
- (k) other fields to be mutually agreed upon by the Parties.

Article 103

Areas and Forms of Cooperation

Areas and forms of cooperation under this Chapter shall, as appropriate, be set forth in the Implementing Agreement.

Article 104

Costs of Cooperation

1. The Parties shall endeavour to make available the necessary funds and other resources for the implementation of cooperation under this Chapter in accordance with their respective laws and regulations.

2. Costs of cooperation under this Chapter shall be borne in such manner to be mutually agreed by the Parties.

Article 105

Sub-Committee on Cooperation

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Cooperation (hereinafter referred to in this Article as "Sub-Committee") shall be established on the date of entry into force of this Agreement.

2. The functions of the Sub-Committee shall be:

- (a) identifying and proposing priority fields for cooperation under this Chapter;
- (b) reviewing, monitoring and facilitating the proper coordination for the implementation and operation of this Chapter;
- (c) discussing any issues related to this Chapter;

協力の範囲
及び形態

協力の費用

協力に関
する小委
員会

次章の規定の適用

適用範囲

- (d) 合同委員会に対し、この章の規定の実施に関連する問題（両締約国がとるべき措置を含む。）について、小委員会の所見及び討議の結果を報告し、必要な場合には、勧告を行うこと。
- (e) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 (a) 小委員会は、両締約国政府の代表者から成る。
- (b) 小委員会は、両締約国政府の職員をその共同議長とする。
- 4 小委員会は、両締約国政府以外の関係団体の代表者であつて、討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請することができらる。
- 5 小委員会は、両締約国が合意する場合及び時期において会合する。
- 第百六条 次章の規定の不適用
- 次章に定める紛争解決手続は、この章の規定については、適用しない。
- 第十章 紛争解決
- 第百七条 適用範囲
- 1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、この章の規定は、この協定の解釈又は適用に関する両締約国間の紛争の解決について適用する。
- 2 この章のいかなる規定も、両締約国が締結している他の国際協定により利用可能な紛争解決手続を利用する両締約国の権利を害するものではない。

ブルネイとの経済連携協定

- (d) reporting the findings and the outcome of discussions of the Sub-Committee, and where necessary, making recommendations to the Joint Committee regarding issues relating to the implementation of this Chapter, including the measures to be taken by the Parties; and
- (e) carrying out other functions as may be delegated by the Joint Committee in accordance with Article 11.
3. The Sub-Committee shall be:
- (a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and
- (b) co-chaired by officials of the Governments of the Parties.
4. The Sub-Committee may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed.
5. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.
- Article 106
Non-Application of Chapter 10
- The dispute settlement procedures provided for in Chapter 10 shall not apply to this Chapter.
- Chapter 10
Dispute Settlement
- Article 107
Scope
1. Unless otherwise provided for in this Agreement, this Chapter shall apply with respect to the settlement of disputes between the Parties concerning the interpretation or application of this Agreement.
2. Nothing in this Chapter shall prejudice any rights of the Parties to have recourse to dispute settlement procedures available under any other international agreement to which both Parties are parties.

ブルネイとの経済連携協定

- 3 2の規定にかかわらず、特定の紛争に関し、この章の規定又は両締約国が締結している他の国際協定に従って紛争解決手続が開始された場合には、当該特定の紛争に関し当該紛争解決手続以外の紛争解決手続を利用することはできない。ただし、別個の国際協定に基づく権利又は義務で実質的に異なるものについて争われるときは、この限りでない。

第百八条 協議

- 1 一方の締約国は、この協定の解釈又は適用に関するいかなる問題についても、他方の締約国に対し書面により協議を要請することができる。
- 2 協議の要請を受けた締約国（以下この章において「申立てを受けた締約国」という。）は、問題の迅速なかつ相互に満足すべき解決を図るため、要請に応ずるものとし、要請を受領した日の後三十日以内に協議を要請した締約国（以下この章において「申立てを行った締約国」という。）との協議を誠実に開始する。緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には、申立てを受けた締約国は、要請を受領した日の後十五日以内に協議を開始する。

- 3 申立てを行った締約国は、要請の理由（問題となつてゐる措置及び申立ての法的根拠を含む。）を付するものとする。

- 4 協議は、秘密とされ、かつ、その後の手続においていずれの締約国の権利も害するものではない。

第百九条 あっせん、調停又は仲介

- 1 いずれの締約国も、あっせん、調停又は仲介を随時要請することができる。いずれの手続も、両締約国の合意により、いつでも開始することができるものとし、また、いずれかの締約国の要請により、いつでも終了することができる。
- 2 両締約国が合意する場合には、この章に定める仲裁裁判手続の進行中においても、あっせん、調停又は仲介を継続することができる。

3. Notwithstanding paragraph 2, once a dispute settlement procedure has been initiated under this Chapter or under any other international agreement to which both Parties are parties with respect to a particular dispute, that procedure shall be used to the exclusion of any other procedure for that particular dispute. However, this shall not apply if substantially separate and distinct rights or obligations under different international agreements are in dispute.

Article 108 Consultations

1. Either Party may request in writing consultations to the other Party concerning any matter on the interpretation or application of this Agreement.

2. The Party to which the request for consultations is made (hereinafter referred to in this Chapter as "the Party complained against") shall reply to such request and enter into consultations with the Party that requested the consultations (hereinafter referred to in this Chapter as "the complaining Party") in good faith within 30 days after the date of receipt of the request, with a view to reaching a prompt and mutually satisfactory resolution of the matter. In cases of urgency, including those which concern perishable goods, the Party complained against shall enter into consultations within 15 days after the date of receipt of the request.

3. The complaining Party shall set out the reasons for the request, including identification of the measure at issue and an indication of the legal basis for the complaint.

4. Consultations shall be confidential and without prejudice to the rights of either Party in any further proceedings.

Article 109 Good Offices, Conciliation or Mediation

1. Good offices, conciliation or mediation may be requested at any time by either Party. They may begin at any time by agreement of the Parties, and be terminated at any time upon the request of either Party.

2. If the Parties agree, good offices, conciliation or mediation may continue while procedures of the arbitral tribunal provided for in this Chapter are in progress.

3 あつせん、調停又は仲介に係る手続及びこれらの手続において両締約国がとる立場は、秘密とされ、かつ、その後の手続においていずれの締約国の権利も害するものではない。

第百十条 仲裁裁判所の設置

- 1 申立てを行った締約国は、次のいずれかの場合には、申立てを受けた締約国に対し書面により仲裁裁判所の設置を要請することができる。ただし、申立てを受けた締約国がこの協定に基づく義務の履行を怠った結果又は当該義務に反する措置をとった結果、申立てを行った締約国が、この協定に基づいて直接又は間接に自国に与えられた利益が無効にされ、又は侵害されていると認めることを条件とする。
 - (a) 協議の要請が受領された日の後三十日以内に、又は緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には十五日以内に、申立てを受けた締約国が第百八条の規定による協議を開始しない場合
 - (b) 協議の要請が受領された日の後六十日以内に、又は緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には三十日以内に、両締約国が第百八条の規定による協議により紛争を解決することができない場合

2 この条の規定による仲裁裁判所の設置の要請には、次の事項を明記する。

- (a) 違反があつたとされるこの協定の規定その他関連するこの協定の規定を含む申立ての法的根拠
 - (b) 申立ての根拠とされる事実
- 3 各締約国は、仲裁裁判所の設置の要請が受領された日の後三十日以内に一人の仲裁人を任命し（自国民を任命することができる。）及び裁判長となる第三の仲裁人の候補者を三人まで提案する。第三の仲裁人は、いずれかの締約国の国民であつてはならず、いずれかの締約国に日常の住居を有してはならず、いずれかの締約国により雇用されてはならず、及びいかなる資格においても関係の紛争を取り扱ったことがあつてはならない。

3. Proceedings involving good offices, conciliation or mediation and positions taken by the Parties during these proceedings, shall be confidential, and without prejudice to the rights of either Party in any further proceedings.

Article 110 Establishment of Arbitral Tribunals

1. The complaining Party may request in writing the establishment of an arbitral tribunal to the Party complained against:
 - (a) if the Party complained against does not enter into the consultations under Article 108 within 30 days, or within 15 days in cases of urgency, including those which concern perishable goods, after the date of receipt of the request for such consultations; or
 - (b) if the Parties fail to resolve the dispute through the consultations under Article 108 within 60 days or within 30 days in cases of urgency, including those which concern perishable goods, after the date of receipt of the request for such consultations,

provided that the complaining Party considers that any benefit accruing to it directly or indirectly under this Agreement is being nullified or impaired as a result of the failure of the Party complained against to carry out its obligations under this Agreement, or as a result of the application by the Party complained against of measures which are in conflict with its obligations under this Agreement.

2. Any request to establish an arbitral tribunal pursuant to this Article shall identify:

- (a) the legal basis of the complaint including the provisions of this Agreement alleged to have been breached and any other relevant provisions; and
- (b) the factual basis for the complaint.

3. Each Party shall, within 30 days after the date of receipt of the request for the establishment of an arbitral tribunal, appoint one arbitrator who may be its national and propose up to three candidates to serve as the third arbitrator who shall be the chair of the arbitral tribunal. The third arbitrator shall not be a national of either Party, nor have his or her usual place of residence in either Party, nor be employed by either Party, nor have dealt with the dispute in any capacity.

ブルネイとの経済連携協定

4 両締約国は、仲裁裁判所の設置の要請が受領された日の後四十五日以内に、3の規定に従って提案した候補者を考慮して、第三の仲裁人を合意により任命する。両締約国は、第三の仲裁人について合意することができない場合には、3の規定により任命された二人の仲裁人に対し、第三の仲裁人を任命するよう要請する。当該二人の仲裁人がその要請を受領した日の後三十日以内に第三の仲裁人について合意することができない場合には、いずれの締約国も、世界貿易機関の事務局長に対し、3の規定に従って提案した候補者を考慮して、第三の仲裁人を任命するよう要請することができる。

5 仲裁裁判所の設置の日は、裁判長が任命された日とする。

6 仲裁裁判所は、適切な技術的又は法的知見を有する仲裁人から構成すべきである。

第百十一条 仲裁裁判所の任務

1 前条の規定により設置される仲裁裁判所は、

(a) 自己に付託された問題の客観的な評価（問題の事実関係、この協定の適用の可能性及びこの協定との適合性に関するものを含む。）を行うべきである。

(b) 定期的に両締約国と協議すべきであり、また、両締約国が相互に満足すべき解決を図るための十分な機会を与えるべきである。

(c) この協定及び適用可能な国際法の規則に従って裁定を下す。

(d) 裁定においては、その理由を付し、並びに法及び事実に関する認定を行う。

(e) (d)の認定とは別に、第百十四条の規定との関連において、その実施方法についての提案を裁定に含め、これを両締約国による考慮に付するべきである。

(f) 裁定において、この協定に定める両締約国の権利及び義務に新たな権利及び義務を追加し、又はこの協定に定める権利及び義務を減ずることはできない。

4. The Parties shall agree on and appoint the third arbitrator within 45 days after the date of receipt of the request for the establishment of an arbitral tribunal, taking into account the candidates proposed pursuant to paragraph 3. If the Parties fail to agree on the third arbitrator, the Parties shall request the two arbitrators appointed pursuant to paragraph 3 to appoint the third arbitrator. If the arbitrators are not able to reach agreement on the third arbitrator within 30 days after the date of receipt of the request, the Director-General of the World Trade Organization may be requested by either Party to appoint the third arbitrator taking into account the candidates proposed pursuant to paragraph 3.

5. The date of the establishment of an arbitral tribunal shall be the date on which the chair is appointed.

6. An arbitral tribunal should be composed of arbitrators with relevant technical or legal expertise.

Article 111 Functions of Arbitral Tribunals

1. The arbitral tribunal established pursuant to Article 110:

(a) should make an objective assessment of the matter before it, including an objective assessment of the facts of the case and the applicability of and conformity with this Agreement;

(b) should consult regularly with the Parties and provide adequate opportunities for the development of a mutually satisfactory resolution;

(c) shall make its award in accordance with this Agreement and applicable rules of international law;

(d) shall set out, in its award, its findings of law and fact, together with the reasons therefor;

(e) may, apart from giving its findings, include in its award suggested implementation options for the Parties to consider in conjunction with Article 114; and

(f) cannot, in its award, add to or diminish the rights and obligations of the Parties provided in this Agreement.

2 仲裁裁判所は、必要かつ適當と認める関係情報の提供を両締約国に要請することができる。仲裁裁判所が必要かつ適當と認める情報の提供を要請する場合には、両締約国は、迅速かつ十分にこれに応ずるものとする。

3 仲裁裁判所は、いかなる関係者に対しても情報の提供を要請することができるものとし、また、問題の一定の側面についての意見を得るために専門家と協議することができる。仲裁裁判所は、いずれかの締約国が提起した科学上又は技術上の事項に関する事実に係る問題については、専門家に對し意見書の提出を要請することができる。仲裁裁判所は、いずれかの締約国の要請により、又は自己の発意により、仲裁裁判手続を通じて仲裁裁判所を補佐する二人以上の科学又は技術の分野における専門家を、両締約国との協議の上選定することができる。ただし、当該専門家は、裁定その他の仲裁裁判所によるいかなる決定に際しても投票権を有しない。

4 仲裁裁判所が3の規定により入手した情報については、両締約国による利用を可能としなければならない。

第百十二条 仲裁裁判手続

1 仲裁裁判は、非公開とする。

2 仲裁裁判手続の場所は、両締約国の合意により決定されるものとし、また、そのような決定が行われない場合には、仲裁裁判手続は、両締約国において交互に行う。

3 仲裁裁判所の評議及び仲裁裁判所に提出された文書は、秘密のものとして取り扱う。

4 3の規定にかかわらず、いずれの一方の締約国も、紛争に関する見解について公に表明することができる。ただし、他方の締約国が秘密であると指定して仲裁裁判所に提出した情報又は意見書については、これを秘密のものとして取り扱う。一方の締約国が秘密のものとして情報又は意見書を提出した場合には、他方の締約国は、当該情報又は意見書について公開し得る秘密でない要約を提出するよう要請することができる。そのような要請を受けた当該一方の締約国は、当該要請を受け入れ、そのような要約を提出するか、又は理由を示すことを必要とすることなく当該要請を拒否することができる。

2. The arbitral tribunal may seek, from the Parties, such relevant information as it considers necessary and appropriate. The Parties shall respond promptly and fully to any request by the arbitral tribunal for such information as the arbitral tribunal considers necessary and appropriate.

3. The arbitral tribunal may seek information from any relevant source and may consult experts to obtain their opinion on certain aspects of the matter. With respect to factual issues concerning a scientific or other technical matter raised by a Party, the arbitral tribunal may request advisory reports in writing from experts. The arbitral tribunal may, at the request of a Party or on its own initiative, select, in consultation with the Parties, no fewer than two scientific or technical experts who shall assist the arbitral tribunal throughout its proceedings, but who shall not have the right to vote in respect of any decision to be made by the arbitral tribunal, including its award.

4. Any information obtained by the arbitral tribunal pursuant to paragraph 3 shall be made available to the Parties.

Article 112 Proceedings of Arbitral Tribunals

1. The arbitral tribunal shall meet in closed session.

2. The venue for the proceedings of the arbitral tribunal shall be decided by mutual consent of the Parties, failing which it shall alternate between the Parties.

3. The deliberations of the arbitral tribunal and the documents submitted to it shall be kept confidential.

4. Notwithstanding paragraph 3, either Party may make public statements as to its views regarding the dispute, but shall treat as confidential, information and written submissions submitted by the other Party to the arbitral tribunal which that other Party has designated as confidential. Where a Party has provided information or written submissions designated to be confidential, the other Party may request a non-confidential summary of the information or written submissions which may be disclosed publicly. The Party to which such a request is made may agree to such a request and submit such a summary, or refuse the request without needing to ascribe any reasons or justification.

5 両締約国は、仲裁裁判手続における表明、陳述又は反論の場に出席する機会を与えられる。一方の締約国が仲裁裁判所に提出した情報又は意見書（裁定案の説明部分に関する意見及び仲裁裁判所の質問に対する回答を含む。）については、他方の締約国による利用を可能としなければならない。

6 仲裁裁判所の裁定の起草は、両締約国の参加なしに、かつ、提供された情報及び行われた陳述を踏まえて行うものとする。

7 仲裁裁判所は、両締約国が裁定案（説明部分並びに仲裁裁判所の認定及び結論から成る。）の特定の部分を検討することができるようにするため、その設置の日の後九十日以内に、又は緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には六十日以内に、裁定案を提示する。仲裁裁判所は、当該九十日又は当該六十日の期間内に両締約国に対し裁定案を提示することができないと認める場合には、両締約国の同意を得て、当該期間を延長することができる。締約国は、裁定案が提示された日の後十五日以内に、仲裁裁判所に対し当該裁定案についての意見を書面により提出することができる。

8 仲裁裁判所は、裁定案が提示された日の後三十日以内に裁定を下す。

9 仲裁裁判所は、裁定その他の決定をコンセンサス方式によって行うよう努めるが、過半数による議決でこれを行うこともできる。

10 仲裁裁判所の裁定は、最終的なものであり、かつ、両締約国を拘束する。

第百十三条 仲裁裁判手続の停止及び終了

1 仲裁裁判所は、両締約国が合意する場合にはいつでも、十二箇月を超えない期間その検討を停止する（）とができる。この場合には、前条7及び8並びに次条9に定める期間は、その検討が停止された期間延長されるものとする。仲裁裁判手続は、いずれかの締約国の要請により、いつでも再開する（）ことができる。仲裁裁判所の検討が十二箇月を超えて停止された場合には、当該仲裁裁判所は、両締約国が別段の合意をする場合を除くほか、その設置の根拠を失う。

仲裁手続の停止及び終了

5. The Parties shall be given the opportunity to attend any of the presentations, statements or rebuttals in the proceedings. Any information or written submissions submitted by a Party to the arbitral tribunal, including any comments on the descriptive part of the draft award and responses to questions put by the arbitral tribunal, shall be made available to the other Party.

6. The award of the arbitral tribunal shall be drafted without the presence of the Parties, and in the light of the information provided and the statements made.

7. The arbitral tribunal shall, within 90 days, or within 60 days in cases of urgency, including those which concern perishable goods, after the date of its establishment, submit to the Parties its draft award, including both the descriptive part and its findings and conclusions, for the purposes of enabling the Parties to review precise aspects of the draft award. When the arbitral tribunal considers that it cannot submit its draft award within the aforementioned 90 or 60 days period, it may extend that period with the consent of the Parties. A Party may submit comments in writing to the arbitral tribunal on the draft award within 15 days after the date of submission of the draft award.

8. The arbitral tribunal shall issue its award, within 30 days after the date of submission of the draft award.

9. The arbitral tribunal shall attempt to make its decisions, including its award, by consensus but may also make its decisions, including its award, by majority vote.

10. The award of the arbitral tribunal shall be final and binding on the Parties.

Article 113

Suspension and Termination of Proceedings

1. Where the Parties agree, the arbitral tribunal may suspend its work at any time for a period not to exceed 12 months. In the event of such a suspension, the time-frames set out in paragraphs 7 and 8 of Article 112 and paragraph 9 of Article 114 shall be extended by the amount of time that the work was suspended. The proceedings of the arbitral tribunal shall be resumed at any time upon the request of either Party. If the work of the arbitral tribunal has been suspended for more than 12 months, the authority for establishment of the arbitral tribunal shall lapse unless the Parties agree otherwise.

裁定の実施

2 両締約国は、両締約国に対し裁定が下される前であればいつでも、裁判長に対し共同で通報するにより、当該仲裁裁判手続の終了について合意することができ。

第百十四条 裁定の実施

1 申立てを受けた締約国は、第百十二条の規定による仲裁裁判所の裁定を迅速に実施する。

2 申立てを受けた締約国は、裁定が下された日の後三十日以内に、当該裁定を実施するために妥当かつ必要と判断する期間を申立てを行った締約国に通報する。申立てを行った締約国は、通報された期間が受け入れられないと認める場合には、その問題を仲裁裁判所に付託することができ。

3 申立てを受けた締約国は、2の規定により決定された期間内に裁定を実施することができないと認める場合には、相互に満足すべき代償その他の代替措置を与えるため、当該期間の満了までに申立てを行った締約国と協議を開始する。

4 3の規定により決定された期間の満了の日の後二十日以内に満足すべき代償その他の代替措置について合意されなかった場合には、申立てを行った締約国は、申立てを受けた締約国に対するこの協定に基づく譲許その他の義務の適用を停止する旨を申立てを受けた締約国に通報する必要がある。

5 申立てを行った締約国は、申立てを受けた締約国が2の規定により決定された期間内に裁定を実施していないと認める場合には、その問題を仲裁裁判所に付託することができ。

6 申立てを受けた締約国が2の規定により決定された期間内に裁定を実施していないことが、5の規定により問題を付託された仲裁裁判所により確認された場合には、申立てを行った締約国は、そのような確認が行われた日の後三十日以内に、申立てを受けた締約国に対するこの協定に基づく譲許その他の義務の適用を停止する意図を有する旨を申立てを受けた締約国に通報することができ。

2. The Parties may agree to terminate the proceedings of the arbitral tribunal by jointly so notifying the chair of the arbitral tribunal at any time before the issuance of the award to the Parties.

Article 114 Implementation of Award

1. The Party complained against shall promptly comply with the award of the arbitral tribunal issued pursuant to Article 112.

2. The Party complained against shall, within 30 days after the date of issuance of the award, notify the complaining Party of the period which it assesses to be reasonable and necessary in order to implement the award. If the complaining Party considers the period of time notified to be unacceptable, it may refer the matter to an arbitral tribunal.

3. If the Party complained against considers it impracticable to comply with the award within the implementation period as determined pursuant to paragraph 2, the Party complained against shall, no later than the expiry of that implementation period, enter into consultations with the complaining Party, with a view to developing mutually satisfactory compensation or any alternative arrangement.

4. If no satisfactory compensation or any alternative arrangement has been agreed within 20 days after the date of expiry of that implementation period pursuant to paragraph 3, the complaining Party may notify the Party complained against that it intends to suspend the application to the Party complained against of concessions or other obligations under this Agreement.

5. If the complaining Party considers that the Party complained against has failed to comply with the award within the implementation period as determined pursuant to paragraph 2, it may refer the matter to an arbitral tribunal.

6. If the arbitral tribunal to which the matter is referred pursuant to paragraph 5 confirms that the Party complained against has failed to comply with the award within the implementation period as determined pursuant to paragraph 2, the complaining Party may, within 30 days after the date of such confirmation by the arbitral tribunal, notify the Party complained against that it intends to suspend the application to the Party complained against of concessions or other obligations under this Agreement.

7 4及び6に規定する譲許その他の義務の適用の停止は、それらの規定による通報の日の後三十日が経過した後に行うことができる。ただし、当該譲許その他の義務の適用の停止は、次のことを条件とする。

- (a) 当該譲許その他の義務の適用の停止に関連する紛争について協議又は仲裁裁判手続が進行している間においては、行わないこと。
- (b) 一時的なものであり、かつ、相互に満足すべき解決が両締約国間で得られ、又は裁定が実施されるときに解除されること。
- (c) 裁定が実施されないことによる無効化又は侵害の程度と同等の程度に限定されること。
- (d) 当該無効化又は侵害に関連する分野と同一の分野に限定されること。もっとも、当該分野における譲許その他の義務の適用を停止することができず、又は効果的でない場合は、この限りでない。

8 申立てを受けた締約国は、申立てを行った締約国によるこの協定に基づく譲許その他の義務の適用の停止について4、6又は7に規定する条件が満たされていないと認める場合には、申立てを行った締約国に対し協議を要請することができる。申立てを行った締約国は、そのような要請を受領した日の後十日以内に協議を開始する。そのような要請が受領された日の後三十日以内に両締約国が問題を解決することができない場合には、申立てを受けた締約国は、その問題を仲裁裁判所に付託することができる。

9 この条の規定を適用するために設置される仲裁裁判所は、できる限り、裁定の対象となった問題を取り扱った仲裁裁判所の仲裁人により構成する。これが可能でない場合には、この条の規定を適用するために設置される仲裁裁判所の仲裁人は、第一百条3から5までの規定に従って任命する。両締約国が異なる期間について合意しない限り、この条の規定により設置される仲裁裁判所は、問題が付託された日の後六十日以内に裁定を下す。当該裁定は、両締約国を拘束する。

7. The suspension of the application of concessions or other obligations under paragraphs 4 and 6 may only be implemented at least 30 days after the date of the notification in accordance with those paragraphs. Such suspension shall:

- (a) not be effected if, in respect of the dispute to which the suspension relates, consultations or proceedings before the arbitral tribunal are in progress;
- (b) be temporary, and be discontinued when the parties reach a mutually satisfactory resolution or where compliance with the original award is effected;
- (c) be restricted to the same level of nullification or impairment that is attributable to the failure to comply with the original award; and
- (d) be restricted to the same sector or sectors to which the nullification or impairment relates, unless it is not practicable or effective to suspend the application of concessions or other obligations in such sector or sectors.

8. If the Party complained against considers that the requirements for the suspension of the application to it of concessions or other obligations under this Agreement by the complaining Party set out in paragraph 4, 6 or 7 have not been met, it may request consultations with the complaining Party. The complaining Party shall enter into consultations within 10 days after the date of receipt of the request. If the Parties fail to resolve the matter within 30 days after the date of receipt of the request for consultations pursuant to this paragraph, the Party complained against may refer the matter to an arbitral tribunal.

9. The arbitral tribunal that is established for the purposes of this Article shall, wherever possible, have as its arbitrators, the arbitrators of the original arbitral tribunal. If this is not possible, then the arbitrators to the arbitral tribunal that is established for the purposes of this Article shall be appointed pursuant to paragraphs 3, 4 and 5 of Article 110. Unless the Parties agree a different period, the arbitral tribunal established under this Article shall issue its award within 60 days after the date when the matter is referred to it. Such award shall be binding on the Parties.

期間の変更

第百十五条 期間の変更

この章に定めるいかなる期間も、両締約国の相互の同意により変更することができる。

第百十六条 費用

各締約国は、自国が任命した仲裁人に係る費用及び自国が仲裁裁判手続に参加する費用を負担する。両締約国が別段の合意をする場合を除くほか、仲裁裁判所のその他の費用は、両締約国が均等に負担する。

第十一章 最終規定

第百十七条 目次及び見出し

この協定の目次並びにこの協定中の章及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであって、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

第百十八条 附属書及び注釈

この協定の附属書及びこの協定中の注釈は、この協定の不可分の一部を成す。

第百十九条 一般的な見直し

両締約国は、別段の合意をする場合を除くほか、この協定の実施及び運用についての一般的な見直しを、この協定が効力を生ずる暦年の後五年目の年に行うものとし、その後においては五年ごとに行う。

第百二十条 改正

- 1 この協定は、両締約国の合意により改正することができる。
- 2 その改正は、両締約国によりそれぞれの国内手続に従って承認されるものとし、また、両締約国が合意した日に効力を生ずる。

ブルネイとの経済連携協定

Article 115
Modification of Time Periods

Any time period provided for in this Chapter may be modified by mutual consent of the Parties.

Article 116
Expenses

Each Party shall bear the costs of the arbitrator appointed by it and its representation in the proceedings of the arbitral tribunal. The other costs of the arbitral tribunal shall be borne by the Parties in equal shares, unless otherwise agreed by the Parties.

Chapter 11
Final Provisions

Article 117
Table of Contents and Headings

The table of contents and headings of the Chapters and the Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

Article 118
Annexes and Notes

The Annexes and Notes to this Agreement shall form an integral part of this Agreement.

Article 119
General Review

The Parties shall undertake a general review of the implementation and operation of this Agreement in the fifth calendar year following that calendar year in which this Agreement enters into force, and every five years thereafter, unless otherwise agreed by the Parties.

Article 120
Amendment

1. This Agreement may be amended by agreement between the Parties.
2. Such amendment shall be approved by the Parties in accordance with their respective internal procedures, and shall enter into force on the date to be agreed upon by the Parties.

ブルネイとの経済連携協定

3 2の規定にかかわらず、改正が附属書二又は附属書三のみに関係する場合には、外交上の公文を両締約国政府が交換することにより当該改正を行うことができる。

第二百一十一条 効力発生

この協定は、この協定の効力発生に必要なそれぞれの国内手続が完了した旨を通告する外交上の公文を両締約国政府が交換する日の後三十日目の日に効力を生ずる。この協定は、次条の規定に基づいて終了しない限り、効力を有する。

第二百一十二条 終了

- 1 いずれの一方の締約国も、一年前に他方の締約国に対して書面による通告を行うことにより、この協定を終了させることができる。
- 2 1に規定する通告を受けた締約国は、当該通告を受けた日の後四十五日以内に、終了により生ずる問題に関する協議を書面により要請することができる。
- 3 2に規定する要請を受けた締約国は、衡平な合意に達するため、当該要請を受けた日の後三十日以内に誠実に協議を開始する。

終了

文

末

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。
二千七年六月十八日に東京で、英語により本書一通を作成した。

日本国のために

安倍晋三

ブルネイ・ダルサラーム国のために

ハサナル・ボルキア

3. Notwithstanding paragraph 2, amendments relating only to Annex 2 or 3 may be made by diplomatic notes exchanged between the Governments of the Parties.

Article 121
Entry into Force

This Agreement shall enter into force on the thirtieth day after the date on which the Governments of the Parties exchange diplomatic notes informing each other that their respective internal procedures necessary for entry into force of this Agreement have been completed. It shall remain in force unless terminated as provided for in Article 122.

Article 122
Termination

1. Either Party may terminate this Agreement by giving one year's advance notice in writing to the other Party.
2. The other Party may request in writing consultations concerning any matter that would arise from the termination within 45 days after the date of receipt of the notice referred to in paragraph 1.
3. The requested Party shall enter into consultations in good faith with a view to reaching an equitable agreement within 30 days after the date of receipt of the request referred to in paragraph 2.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorised by their respective Governments, have signed this Agreement.

DONE at Tokyo on this eighteenth day of June in the year 2007 in duplicate in the English language.

For Japan:

安倍晋三

For Brunei Darussalam:

Hassanal Bolkiah

附属書一（第二章関係） 第十六条に関する表

第一編 一般的注釈

1 第十六条の規定の適用に当たっては、次編の各締約国の表の2欄に掲げる品目について、それぞれの表の4欄に掲げる次の区分を適用する。

- (a) 表の4欄に「A」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日に撤廃する。
- (b) 表の4欄に「B3」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日から行われる基準税率から無税までの四回の毎年均等な引下げにより、撤廃する。
- (c) 表の4欄に「B5」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日から行われる基準税率から無税までの六回の毎年均等な引下げにより、撤廃する。
- (d) 表の4欄に「B7」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日から行われる基準税率から無税までの八回の毎年均等な引下げにより、撤廃する。
- (e) 表の4欄に「B10」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日から行われる基準税率から無税までの十一回の毎年均等な引下げにより、撤廃する。
- (f) 表の4欄に「B15」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、この協定の効力発生の日から行われる基準税率から無税までの十六回の毎年均等な引下げにより、撤廃する。
- (g) 表の4欄に「R」を掲げた品目に分類される原産品の関税については、両締約国が別段の合意をする場合を除くほか、五年目において交渉する。

Annex 1 referred to in Chapter 2
Schedules in relation to Article 16

Part 1
General Notes

1. For the purposes of Article 16, the following categories indicated in Column 4 in each Party's Schedule in Part 2 shall be applied:

- (a) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "A" shall be eliminated as from the date of entry into force of this Agreement;
- (b) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "B3" shall be eliminated in four equal annual instalments from the Base Rate to free, as from the date of entry into force of this Agreement;
- (c) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "B5" shall be eliminated in six equal annual instalments from the Base Rate to free, as from the date of entry into force of this Agreement;
- (d) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "B7" shall be eliminated in eight equal annual instalments from the Base Rate to free, as from the date of entry into force of this Agreement;
- (e) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "B10" shall be eliminated in 11 equal annual instalments from the Base Rate to free, as from the date of entry into force of this Agreement;
- (f) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "B15" shall be eliminated in 16 equal annual instalments from the Base Rate to free, as from the date of entry into force of this Agreement;
- (g) Customs duties on originating goods classified under the tariff lines indicated with "R" shall be subject to negotiation between the Parties in the fifth year, unless otherwise agreed by the Parties; and

ブルネイとの経済連携協定

(h) 表の4欄に「X」を掲げた品目に分類される原産品は、関税の撤廃又は引下げに関する約束及び(6)に規定する交渉に関する約束の対象から除外される。

2 この附属書の規定に従って行われる関税の撤廃又は引下げについては、従価税の場合には「 0.01 セント未満の端数は、これを四捨五入し（ 0.05 パーセントは、 0.01 パーセントとする）」、従量税の場合には、各締約国の公式貨幣単位の 0.01 未満の端数は、これを四捨五入する（ 0.05 は 0.01 とする）。ただし、この2の規定は、統一システムの第 0703.10 号に分類される原産品について課される関税であって、次編の日本国の表の3欄に規定する特定の額と課税価格との差額を用いて算定されるものについては、適用しない。

3 この附属書における記載は、二千二年一月一日に改正された統一システムに従ったものである。

4 この附属書の規定の適用上、「基準税率」とは、次編の各締約国の表の3欄に定める税率であって、専ら関税の撤廃に向けた毎年均等な引下げの開始点となるものをいう。

5 関税の毎年均等な引下げの実施に当たっては、次の規定を適用する。

(a) 一年目の引下げは、この協定の効力発生の日に行う。

(b) その後の毎年の引下げは、それぞれの年の初日に行う。

6 (a) この附属書の規定の適用上、「年」とは、一年目については、この協定の効力発生の日からその後の最初の三月三十一日までをいい、その後の各年については、当該各年の四月一日を開始する十二箇月の期間をいう。

(b) (a)の規定にかかわらず、ブルネイ・ダルサラーム国については、十月一日から三月三十一日までの間にこの協定が発効する場合には、「年」とは、次の期間をいう。

(i) 一年目については、この協定の効力発生の日から六箇月の期間

二四八

(h) The originating goods classified under the tariff lines indicated with "X" shall be excluded from any commitment of reduction or elimination of customs duties and commitment of negotiation referred to in subparagraph (g).

2. For the purposes of the elimination or reduction of customs duties in accordance with this Annex, any fraction less than 0.1 of a percentage point shall be rounded to one decimal place (in the case of 0.05 percent, the fraction is rounded to 0.1 percent) in the cases of ad valorem duties, and any fraction smaller than 0.01 of the official monetary unit of each Party shall be rounded to two decimal places (in the case of 0.005, the fraction is rounded to 0.01) in the cases of specific duties. This shall not be applied to the case of customs duties on originating goods classified in HS 0703.10, derived from the difference between the value for customs duty and the value specified in Column 3 of the Schedule of Japan in Part 2.

3. This Annex is made based on the Harmonized System, as amended on January 1, 2002.

4. For the purposes of this Annex, Base Rate, as specified in Column 3 of each Party's Schedule in Part 2, means only the starting point of equal annual installments of elimination of customs duties.

5. For the purposes of implementing equal annual installments, the following shall apply:

(a) The reduction for the first year shall take place on the date of entry into force of this Agreement; and

(b) The subsequent annual reductions shall take place on the first day of each following year.

6. (a) For the purposes of this Annex, the term "year" means, with respect to the first year, the period from the date of entry into force of this Agreement until the coming March 31 and, with respect to each subsequent year, the twelve-month period which starts on April 1 of that year.

(b) Notwithstanding subparagraph (a), in the case of Brunei Darussalam, where this Agreement enters into force between October 1 and March 31, the term "year" means:

(i) the six-month period from the date of entry into force of this Agreement with respect to the first year;